かんたん携帯８

ユーザーガイド

はじめに

このたびは、「かんたん携帯8」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- かんたん携帯8をご利用の前に、「見ながら覚えるBOOK」および「ユーザーガイド（本書）」をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- 本機は、3G方式とGSM方式に対応した携帯電話です。
- ご契約内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

ご注意

- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら**お問い合わせ先**（P.12-18）までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

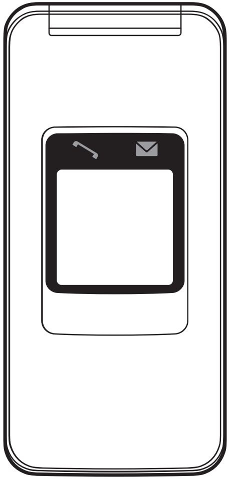
本書の最新版は、ソフトバンクモバイルのホームページよりダウンロードできます。
http://www.softbank.jp/mobile/support/product/kantan-keitai-8/

本書の構成

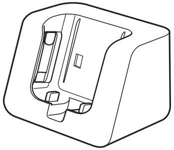
説明	章	番号
本機をご利用になるための準備や基礎的な知識、基本的な操作をまとめて説明しています。必ずお読みください。	準備／基礎知識	1
	共通操作	2
本機の代表的な機能を、章単位でまとめて説明しています。お使いになりたい機能の章をお読みください。	電話	3
	メール	4
本機で利用できる便利な機能やサービスについて説明しています。	インターネット	5
	カメラ	6
	国際電話を利用する	7
	便利機能	8
本機の安心機能／セキュリティについて説明しています。	安心機能／セキュリティ	9
本機やメモリカードに保存されるデータ、データの管理について説明しています。	データ管理	10
本機の音や表示、ネットワークなどの設定について説明しています。	カスタマイズ	11
本機についての資料や各種情報、索引などをまとめています。	資料／付録	12

お買い上げ品の確認

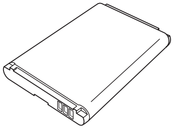
□かんたん携帯8（本体）



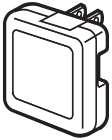
□卓上ホルダー（ZEEAW1）



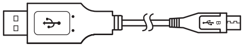
□電池パック（ZEBAT1）



□ACアダプタ（ZECAW1）



□microUSBケーブル
（ZEDAD1）



□見ながら覚えるBOOK

□保証書（本体、ACアダプタ）

- 保証書を含め付属品は大切に保管してください。
- 本機はmicroSD™／microSDHC™カードに対応しています。ご利用にあたっては、市販のmicroSDカードを購入してください。

本書の見かた

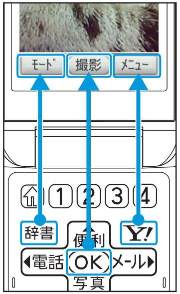
本書での表記や画面表示について

本書において、あらかじめご了承いただきたい内容

- 「かんたん携帯8」を「本機」と表記しています。
- 「microSDカード」、「microSDHCカード」を「メモリカード」と記載しています。
- 説明用画面およびイラストは、実際の画面表示や字体、形状などと異なる場合があります。また、周囲の明るさなどにより、実際の画面の階調と明るさが異なる場合があります。
- キーを押す操作は、簡略なキーイラストを使用しています。
- 特に説明がない限り待受画面から操作を開始する手順を記載しています。
- キーを1秒以上押す操作を、「長押し」と表記しています。

ソフトキーについて

ソフトキーには、対応するキーの操作が表示されます。

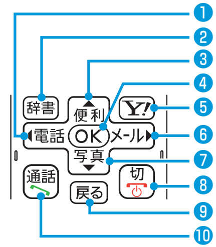


カメラ使用時

・画面は説明用のイメージのため、実際の画面とは異なります。

キーを押す表記について

本書では次のように表記しています。



キー	キーイラスト	説明
❶	電話	電話ボタンを押します。
❷	辞書	辞書ボタンを押します。
❸	便利	便利ボタンを押します。
❹	OK	決定ボタンを押します。
❺	Y!	Yahooボタンを押します。
❻	メール	メールボタンを押します。
❼	写真	写真ボタンを押します。
❽	切	切るボタンを押します。
❾	戻る	戻るボタンを押します。
❿	通話	通話ボタンを押します。

操作手順の表記について

ここで記載している操作手順の内容は説明用のイメージです。実際の内容とは異なります。

手順記載の簡略化

本書では操作手順を次のように記載しています。
例） メールを作成し、宛先を入力する例

1 メール→「メールを送る」→ OK

2 宛先欄を選択→ OK →「メールアドレスを入力」／「番号を入力する」→ OK →メールアドレス／電話番号を入力→ OK

■手順1
❶-1待受画面で メール を押します。
❶-2メニューから「メールを送る」を選択し、OK を押して、メール作成画面を表示させます。
・ 便利 または 写真 を押して、ハイライトを上下に移動します。

■手順2
❷-1メール作成画面で、宛先欄にハイライトを合わせて OK を押して、宛先メニューを表示させます。
・ 便利 または 写真 を押して、ハイライトを上下に移動します。
❷-2宛先メニューで、「メールアドレスを入力」または「番号を入力する」にハイライトを合わせて OK を押して、メールアドレスまたは電話番号の入力画面を表示させます。
・ 便利 または 写真 を押して、ハイライトを上下に移動します。

参照先の記載

「(P.●-●)」や「●-●ページ」で参照先のページを記載しています。

目次

10 データ管理

11 カスタマイズ

12 資料／付録

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本機の故障、誤動作または不具合などにより、通信などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

表示の説明

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷※2を負う可能性が想定される場合および物的損害※3のみの発生が想定される」内容です。

※1 重傷とは、失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをいう。

※2 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをいう。

※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指す。

絵表示の説明

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。
内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示します。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

本機、USIMカード、電池パック（ZEBAT1）、microUSBケーブル（ZEDAD1）、ACアダプタ（オプション品）、卓上ホルダー（ZEEAW1）の取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で充電・使用・放置しないでください。また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所（こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など）においても同様の危険がありますので、充電・放置・使用・携帯しないでください。

機器の変形・故障や電池パックの漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。

禁止

本機に電池パックを取り付けたり、microUSBプラグ・ACアダプタを接続する際、うまく接続ができないときは、無理に行わないでください。電池パックや端子の向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。また充電端子を破損·焼損させる原因となります。

禁止

本機とACアダプタ・卓上ホルダーを接続した状態で、踏みつけるなど外部から過大な力を加えないようにしてください。

端子が破損した状態で充電すると故障や火災の原因となります。充電するときは、使用場所、取り扱いにご注意ください。

分解禁止

分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。

火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。本機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。

水濡れ禁止

本機内部・電池パック・microUSBケーブル・ACアダプタ・卓上ホルダーを濡らさないでください。

本機内部に水やペットの尿などの液体が入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れた電池パックを充電すると、発熱·感電・火災・けが・故障などの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

指示

本機に使用する電池パック・microUSBケーブル・ACアダプタ・卓上ホルダーは、ソフトバンクが指定したものを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合は、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、microUSBケーブル・ACアダプタ・卓上ホルダーの発熱・発火・故障などの原因となります。

⚠警告

禁止

本機・電池パック・microUSBケーブル・ACアダプタ・卓上ホルダーを加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH調理器）の上に置いたりしないでください。

電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、本機・microUSBケーブル・ACアダプタの発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。

禁止

落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。

電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に液体（水道水、清涼飲料水、海水、ペットの尿など）や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災・やけど・故障などの原因となります。

IPコードは防水・防塵性能を表す規格ですが、この規格に準拠していても、異物や液体の付着によるショートを防止できるものではありません。また海水・プール・熱湯などは防水性能の対象外となります。異物や液体が付着した場合は、十分に取り除いてから充電してください。

指示

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本機の電源をお切りください。また、充電もしないでください。

ガスに引火する恐れがあります。プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。

1.コンセントからACアダプタを持ってプラグを抜いてください。また、高温になっている可能性があるためやけどに注意して、本機を取り外してください。
2.本機の電源を切ってください。
3.やけどやけがに注意して、電池パックを取り外してください。

異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

⚠注意

禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。** 落下して、けがや故障などの原因となります。バイブレーター設定中や充電中は、特にご注意ください。また充電中の落下は端子の破損の原因となります。
禁止	**本機をACアダプタから取り外す際は、コードを引っ張らず、ACアダプタのコネクタを持って取り外してください。** コードを引っ張るとコードが傷ついたり、端子の破損による火災や感電などの原因となります。
禁止	**充電中は、本機・ACアダプタに長時間触れないでください。** 低温やけどの原因となります。
指示	**乳幼児の手の届かない場所やペットが触れない場所に保管してください。** 誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。
指示	**子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。** けがなどの原因となります。

本機の取り扱いについて

⚠警告

禁止	**自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。** 交通事故の原因となります。乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。
禁止	**本機をズボンなどのポケットに入れたまま、座席や椅子に座らないでください。** 無理な力がかかるとディスプレイや電池パックなどが破損し、発熱・発火・けがの原因となります。
禁止	**充電中は、本機を布や布団でおおったり、包んだりしないでください。また布や布団でおおった状態で、就寝しないようにしてください。** 熱がこもって火災・やけど・故障などの原因となります。
指示	**高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。** 電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。 ※ご注意いただきたい電子機器の例 補聴器・植込み型心臓ペースメーカ・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など
指示	**屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。** 落雷や感電の原因となります。

指示
航空機内では航空会社の指示に従い適切にご使用ください。
本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

指示
心臓の弱い方は、着信時のバイブレーション（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える恐れがあります。

⚠注意

禁止
車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。
本機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。

禁止
本機に磁気カードなどを近づけたり、挟んだりしないでください。
キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

禁止
ストラップなどを持って本機をふり回さないでください。
本人や周囲の人に当たったり、ストラップが切れたりして、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止
着信音が鳴っているときや、本機でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。
難聴になる可能性があります。

指示
本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。
本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります（「使用材料」（P.12-10））。

指示
本機を長時間ご使用になる場合や充電中など、高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で充電・使用・放置しないでください。また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所（こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など）では熱くなることがありますので、ご注意ください。
長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

指示
充電しながら本機を長時間使用すると、本機やACアダプタの温度が高くなることがありますので、温度の高い部分に長時間触れないでください。
低温やけどなどの原因となります。

指示
本機を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。
けがなどの事故や破損の原因となります。

指示
イヤホンを使用するときは音量に気をつけてください。
長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳をいためたりする原因となります。

電池パック（ZEBAT1）の取り扱いについて

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類を確認したうえで、ご利用・処分をしてください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止 **火の中に投下しないでください。**
電池パックを漏液･破裂･発火させるなどの原因となります。

禁止 **釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。**
変形した電池パックを使用すると、漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。ご使用の際は、電池パックの状態をご確認ください。

禁止 **電池パックの端子に、針金などの金属類を接触させないでください。また、導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）と一緒に電池パックを持ち運んだり保管したりしないでください。**
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

指示 **電池パック内部の液が眼の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。**
失明などの原因となります。

⚠警告

指示 **電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本機の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。**
皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。

指示 **所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。**
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

指示 **電池パックの使用中･充電中･保管時に、異臭･発熱･変色･変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して電池パックを取り外し、さらに火気から遠ざけてください。**
異常な状態のまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

指示 **ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。また、ペットが噛みついた電池パックは使用しないでください。**
電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や機器の故障・火災の原因となります。

⚠注意

禁止 **不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。**
端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りの「ソフトバンクショップ」へお持ちください。電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

USIMカードの取り扱いについて

⚠注意

禁止	**USIMカードの取り付けおよび取り外し時に無理な力を加えないでください。** 故障の原因となります。また、取り外しの際、手や指などを傷つけないようにご注意ください。
禁止	**USIMカードは指定以外のものを使用しないでください。** 指定以外のカードを使用すると、データの消失・故障の原因となります。
禁止	**USIMカードのIC部分への接触は、データの消失や故障の原因となる可能性があります。不要なIC部分への接触は避けてください。**
禁止	**本機を使用中、USIMカード自体が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。**

卓上ホルダー（ZEEAW1）、microUSBケーブル（ZEDAD1）、ACアダプタ（オプション品）の取り扱いについて

⚠警告

禁止	**充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。また布や布団でおおった状態で、就寝しないようにしてください。** 熱がこもって火災・やけど・故障などの原因となります。
禁止	**指定以外の電源・電圧で使用しないでください。** 指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。 ACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流ACコンセント専用） また、海外旅行用として、市販されている「変圧器」は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
禁止	**雷が鳴りだしたら、microUSBケーブル・ACアダプタには触れないでください。** 感電などの原因となります。
濡れ手禁止	**濡れた手でmicroUSBケーブル・ACアダプタのmicroUSBプラグや電源プラグを抜き差ししないでください。** 感電や故障などの原因となります。
電源プラグを抜く	**使用しない場合は、ACアダプタを持って電源プラグをコンセントから抜いてください。** 電源プラグを差したまま放置し、ACアダプタのプラグに異物や液体が付着したり、ACアダプタのプラグを踏みつけたりすると感電・火災・故障の原因となります。

電源プラグを抜く

万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちにACアダプタを持ってコンセントからプラグを抜いてください。
感電・発煙・火災の原因となります。

指示

電源プラグにほこりがついたときは、ACアダプタを持って電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布などで拭き取ってください。
火災の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、ACアダプタの電源プラグやmicroUSBケーブルの端子に導電性異物(鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど)が触れないように注意して、確実に差し込んでください。
感電・ショートによる火災・やけど・故障などの原因となります。

指示

microUSBケーブル・ACアダプタは、本機専用の機器です。他社製品にご使用にならないでください。
万一、他社製品にご使用され、ショート、火災、故障が発生した場合、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

⚠注意

禁止

プラグや充電端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。
やけど・感電・傷害・故障の原因となります。

禁止

microUSBケーブル・ACアダプタをコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。
けがや故障の原因となります。

禁止

microUSBケーブル・ACアダプタのケーブルを引っ張ったり、無理に曲げたり、巻きつけたりしないでください。また、傷つけたり、加工したり、上に物を載せたり、加熱したり、熱器具に近づけたりしないでください。
感電・発熱・発火の原因となります。

禁止

microUSBプラグ・電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるかったりするときは使用しないでください。

禁止

充電中は卓上ホルダーの充電端子に長時間触れないでください。
低温やけどになる恐れがあります。

指示

本機からmicroUSBケーブルを取り外す際は、コードを引っ張らず、microUSBプラグを持って取り外してください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、端子の破損による感電や火災などの原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、コンセントから、必ずACアダプタを持ってプラグを抜いてください。
感電などの原因となります。

ACアダプタをコンセントから抜くときは、ACアダプタを持ってプラグを抜いてください。
指示
感電や火災などの原因となります。

microUSBケーブルおよびACアダプタは、周囲温度5～35℃、周囲湿度25～80%の範囲でご使用ください。
指示

ACアダプタをテーブルタップに接続しているときは、踏みつけるなど外部から過大な力を加えないようにしてください。
指示
火災や故障の原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針」（電波環境協議会［平成26年8月］）および「各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針」（総務省）の内容を参考にしたものです。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。
指示
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどに確認してください。
指示
電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。
指示
- 医療機関内での携帯電話の使用においては、各医療機関からの指示に従ってください。
- 手術室・集中治療室（ICU）などでは、本機の電源を必ず切ってください。
- 病室・ロビーなど使用を許可されたエリアでも、近くに医用電気機器がある場合は、必要な離隔距離を確保してください。

指示

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、身動きが自由に取れないほど混雑した状況等、15cm以上離隔距離を確保できない恐れがある場合には、事前に通信機能が使用できない状態（例：電波の停止）に切り替えるか、または本機の電源をお切りください。
電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

ご利用にあたって

●USIMカードや、USIMカード装着済みの本機を盗難・紛失された場合は、必ずお問い合わせ先（P.12-18）までご連絡のうえ、緊急利用停止の手続きを行ってください。
●本機はソフトウェアアップデートに対応しております。ソフトウェアは最新の状態でご利用ください。
●本機は電波を利用しているので、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内、自動車内などでは電波が届きにくくなり、通信が困難になることがあります。また、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
●本機を公共の場所でご使用になるときは、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。また劇場や乗り物などによっては、ご使用できない場所がありますのでご注意ください。
●本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただく場合があります。あらかじめご了承ください。
●以下の場合、登録された情報内容が変化・消失することがあります。情報内容の変化・消失については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。
・誤った使いかたをしたとき
・静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
・動作中に電源を切ったとき
・故障したり、修理に出したとき
●回線の混雑状況や通信環境などにより、通信速度が低下、または通信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
●爆発物を取り扱う場所、その近辺では本機を使用しないでください。爆発を誘発する恐れがあります。また、爆破装置などに影響を与える場合があります。
●本機で利用するUSIMカードは、一部機種（これまで当社より発売された機種を含む）ではご利用になれません。

●充電中や長時間連続でご使用された場合、本機が熱くなることがあります。
●長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。取り扱いにはご注意ください。
●充電中、microUSBケーブル・ACアダプタ・卓上ホルダーが熱くなることがあります。

通話中／通信中の制限について

●通話中／通信中は、同時に他の機能を使用している間や各種操作を行っている間も、通話料、通信料がかかりますのでご注意ください。

カメラについて

●カメラ機能は、一般的なモラルを守ってご使用ください。
●大切なシーンを撮影されるときは、必ず試し撮りを行い、画像を表示して正しく撮影されていることを確認してください。
●撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。
●カメラ機能を利用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合を除き、著作権者（撮影者）などの許可を得ることなく使用したり、転送することはできません。

画像について

●本機でメモリカードに保存した画像データは、その他の端末では使用できない場合があります。

緊急速報メールについて

●お買い上げ時、緊急速報メールの受信設定は「受信する」に設定されています。
●受信時には、マナーモードであっても警告音が鳴動します。
●通話中、通信中および電波状態が悪い場合は受信できません。
●お客様のご利用環境・状況によっては、お客様の現在地と異なるエリアに関する情報が受信される場合、または受信できない場合があります。
●緊急速報メールの受信設定を「受信する」にしている場合は、待受時間が短くなることがあります。
●当社は情報の内容、受信タイミング、情報を受信または受信できなかったことに起因した事故を含め、本サービスに関連して発生した損害については、一切責任を負いません。

メモリカードについて

●メモリカード（市販）をご利用される場合は、あらかじめメモリカードの取扱説明書をよくお読みになり、安全に正しくご使用ください。

技術基準適合証明について

●本機は、電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合しています。技術基準適合証明に関する情報（等）を確認できます（P.11-5）。

お取り扱いについて

●電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化したり、本機が使用できなくなることがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
●本機を極端な高温または低温、多湿の環境、直射日光の当たる場所、ほこりの多い場所でご使用にならないでください。
●本機を落としたり衝撃を与えたりしないでください。
●本機をお手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。

本機の防水／防じん性能

本機は、端子キャップをしっかりと閉じ、電池カバーを取り付けた状態で、IPX5（旧JIS保護等級5）※1相当の防水性能およびIP5X（JIS保護等級5）※2相当の防じん性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵挨（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

●実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。

●本機は、IPX5の防水およびIP5Xの防じん性能を有していますが、ホコリ、砂、泥、金属粉、食べこぼし、清涼飲料水などが入った場合には、故障の原因となることがあります。

本機のお取り扱いについて

- 電池カバーは確実に取り付け、端子キャップはしっかりと閉じてください。接触面に細かいゴミ（髪の毛1本、砂粒1個、微細な繊維など）が挟まると、水や粉じんが侵入する原因となります。
- 端子キャップや電池カバーが開いている状態で、水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外してください。
- 本機が濡れているときは、乾いたきれいな布で拭き取ってください。
- 手や本機が濡れているときに、電池カバーや端子キャップの開閉は絶対にしないでください。
- 常温（5℃～35℃）の真水・水道水にのみ対応しています。

使用時のご注意

●本機に次のような液体をかけたり、つけたりしないでください。
- 石けん、洗剤、入浴剤を含んだ水
- 海水、プールの水
- 温泉、熱湯　など

●海水やプールの水、清涼飲料水などがかかったり、ホコリ、砂、泥などが付着した場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、故障の原因となります。

●砂や泥などがきれいに洗い流せていない状態で使用すると、本機に傷がついたり、破損するなど故障の原因となります。

●湯船やプールなどにつけないでください。また、水中で使用しないでください（開閉、ボタン操作を含む）。

●本機は耐水圧設計ではありません。水道やシャワーなどで強い流水（6リットル／分を超える）を当てたり、水中に沈めたりしないでください。

●風呂場など湿気の多い場所には、長時間放置しないでください。また、風呂場で長時間利用しないでください。

●サウナでは使用しないでください。また、ドライヤーなどの温風は当てないでください。

●本機は温度：5℃～35℃、湿度：35%～90%の範囲でご使用ください（風呂場などでの一時的な使用に限り、温度36℃～40℃の範囲で可能）。

●コンロの脇や冷蔵庫の中など極端に高温・低温になるところに置かないでください。

●送話口やスピーカー部の穴に水が入ったときは、一時的に音量が小さくなることがあります。十分に水抜きと乾燥を行ったうえでご使用ください。

●電池パック・卓上ホルダー・ACアダプタ・microUSBケーブル・オプション品は、防水／防じん対応していません。

●落下させるなど、本機に強い衝撃を与えたり、送話口やスピーカーなどを綿棒やとがったものでつつかないでください。防水／防じん性能が損なわれることがあります。

●砂浜、砂場などの砂の上に直接置かないでください。スピーカーなどに砂が入り、音が小さくなる恐れがあります。
●ヒンジ部に砂などが入ると、開閉の感触が悪くなったり、異音がする恐れがあります。
●結露防止のため、寒い場所から風呂場などへは本機が常温になってから持ち込んでください。万一、結露が発生したときは、取れるまで常温で放置してください。
●本機は水に浮きません。
●強い雨の中では使用しないでください。
●濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。
●電池カバーや端子キャップに劣化、破損があるときは、防水／防じん性能を維持できません。これらのときは、「ソフトバンクショップ」までご連絡ください。

充電時のご注意

●ACアダプタ・microUSBケーブル・卓上ホルダーは、防水／防じん対応していません。屋外や風呂場、洗面所など湿気の強い場所や水のかかる可能性のある場所では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。また、充電しないときでも、風呂場などに持ち込まないでください。
●本機が濡れているときは絶対に充電しないでください。感電や回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。
●外部接続端子の端子キャップを開いて充電したときには、充電後しっかりと端子キャップを閉じてください。
●濡れた手で卓上ホルダー・ACアダプタに触れないでください。感電の原因となります。
●卓上ホルダー・ACアダプタは、水周りで使用しないでください。火災・感電の原因となります。

防水／防じん性能を維持するために

●端子キャップや電池パック周囲（電池カバー側）のゴムパッキンは、防水／防じん性能を維持するための重要な役割を担っています。次のことにご注意ください。
・はがしたり、傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
・端子キャップや電池カバーのすき間に、先のとがったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、水や粉じんが侵入する原因となることがあります。
・端子キャップや電池パック周囲（電池カバー側）のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりしたときは、「ソフトバンクショップ」にご相談のうえ、ゴムパッキンを交換してください。
●防水／防じん性能を維持するため、異常の有無にかかわらず、2年に1回、部品を交換することをおすすめします。

お客様ご依頼による部品の交換は、本機をお預かりして有料にて承ります。「お問い合わせ先一覧」（P.12-18）または「ソフトバンクショップ」へご相談ください。

本機の洗いかた

本機に汚れ、ホコリ、砂、清涼飲料水などが付着したときは、汚れを軽く布で除去し、やや弱めの水流［6リットル／分以下、常温（5℃～35℃）の水道水］で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。電池カバーを取り付けた状態で、端子キャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください。

●電池カバーや端子キャップが、きちんと閉まっていることを確認してから洗ってください。
●洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
●乾燥のために電子レンジには絶対入れないでください。電池パックを漏液･発熱･破裂･発火させる原因となります。また、本機を発熱･発煙・発火させたり回路部品を破壊させる原因となります。
●乾燥のためにドライヤーの温風を当てたり、高温環境に放置しないでください。本機の変形、変色、故障などの原因となります。

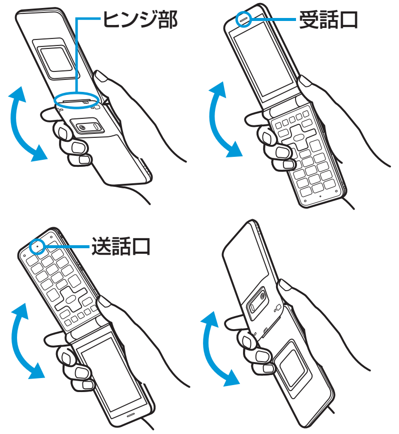
水抜きのしかた

水に濡れたあとは、必ず「ヒンジ部」、「送話口」、「受話口」の水抜きを行ってください。

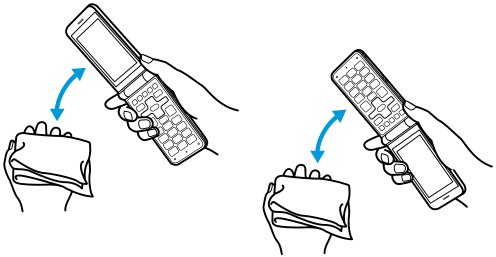
●本機を振るときは、落とさないようにしっかりと握ってください。

1 **本機の表面の水分を乾いた布などで拭く**

2 **本機のヒンジ部をしっかりと持ち、20回程度振る**



3 各部のすき間に入った水分を、乾いた布などに押し当てて拭き取る



・各部の穴に水がたまっていることがありますので、開口部に布を当て、軽くたたいて水を出してください。

4 乾いた布などを下に敷き、2～3時間程度常温で放置する

水滴が付着したまま使用すると

・通話不良となったり、衣服やカバンなどを濡らしてしまうことがあります。
・外部接続端子部がショートする恐れがあります。
・寒冷地では凍結し、故障の原因となることがあります。

肖像権について

他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮って公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラの機能のご使用を心がけてください。

著作権について

音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的または家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本機を使用して複製などをなされるときは、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本機にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

●お客様は別途著作権者の許諾なく本機に搭載されたソフトウェアの全部または一部を、複製もしくは改変、ハードウェアからの分離、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングなどの行為を自らせず第三者にさせないでください。またその利用を行わないでください。

- SoftBankおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。
- S!メール、写メール、位置ナビ、安心遠隔ロックは、ソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。
- ZTE、ZTE中興およびロゴは、ZTE Corporationの中国およびその他の国における商標または登録商標です。Copyright © 2015 ZTE Corporation. All rights reserved.
- 本機は（ソフトバンク携帯電話の一部では）、インターネットブラウザおよびメーラとして、株式会社ACCESSのNetFront BrowserおよびNetFront Messaging Clientを搭載しています。
  Copyright© 2002-2015 ACCESS CO., LTD.
  ACCESS、NetFrontは株式会社ACCESSの日本またはその他の国における商標または登録商標です。
  本機のソフトウェアの一部にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- microSD、microSDHCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 着うた®、着うたフル®は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
- 「Yahoo!」は、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

本製品の比吸収率（SAR）について

本項目における【302ZT】とは、本機【かんたん携帯8】を示しています。

この機種【302ZT】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および国際ガイドラインに適合しています。
電波の人体吸収に関する国の技術基準※1は、人体の近くで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、2W/kgの許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分に安全な値として設定されており、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインにおける値と同じ値です。
本携帯電話機【302ZT】の側頭部におけるSARの最大値は0.201W/kgであり、また下記の方法※3により身体に装着した場合のSARの最大値は0.527W/kg※2です。これらは、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満たしています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。

側頭部以外の位置におけるご使用方法※3

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用になるなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにすることで、この携帯電話機は電波の人体吸収に関する国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合します。

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）に規定されています。
※2 この値は同時送信の値です。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

また、SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm

一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html

電波ばく露の影響に関する情報として、欧州における基準および米国連邦通信委員会（FCC）の基準を掲載しています。詳細は「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」、「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。

欧州における電波ばく露の影響に関する情報

本携帯電話機【302ZT】は、国際的ガイドラインが定める電波の許容値を超えないことが確認されています。このガイドラインは、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSARの許容値は2W/kgで、本携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.175W/kg、本書に記述する所定の方法（xxiv）※3で使用した場合のSARの最大値は0.909W/kgです。

米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCC で定められている SAR の許容値は、1.6W/kg となっています。
測定試験は機種ごとにFCCが定めた位置で実施され、本携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.073W/kg、下記のとおりに従って身体に装着した場合のSARの最大値は0.765W/kg です。
身体装着の場合：この携帯電話機【302ZT】では、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.0センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.0センチの距離に携帯電話を固定できる装身具を使用し、ベルトクリップやホルスターなどには金属部品の含まれていないものを選んでください。
上記の条件に該当しない装身具は、FCCの定めるSAR許容値を満たさない場合もあるので使用を避けてください。
比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい場合は下記のホームページを参照してください。

FCC Radio Frequency Safety（英文のみ）
http://transition.fcc.gov/oet/rfsafety/

世界保健機関は、携帯機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

世界保健機関（英文のみ）
http://www.who.int/emf

SoftBank スマートフォン 各機種の電波比吸収率（SAR）一覧はこちら
http://www.softbank.jp/mobile/support/sar/

Specific Absorption Rate (SAR) for This Product (for Japan)

"302ZT" here refers to this mobile phone "Kantan Keitai 8."

This mobile phone 302ZT meets Japanese technical regulations* and international guidelines for exposure to radio waves.
The Japanese technical regulations for exposure to radio frequency energy established permitted levels of radio frequency energy, based on standards developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The regulations employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.
The SAR limit is 2 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue.
The limit includes a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The value of the limit is equal to the value given in international guidelines recommended by ICNIRP**, which is in collaboration with the World Health Organization (WHO).
The highest SAR value for this mobile phone is 0.201 W/kg when tested for used at the ear, and 0.527 W/kg*** when worn on the body in the below manner****.
While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, all phones meet the Japanese technical regulations.
Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR of the phone during operation can be well below the maximum value.

Use at positions other than at the ear****

This mobile phone may be used at positions other than at the ear. By using an accessory such as a belt clip holster that maintains a 1.5 cm separation with no metal (parts) between it and the body and the mobile phone, this mobile phone will comply with international guidelines for radio wave protection.

* The technical regulations are provided in Article 14-2 of the Ministry Ordinance Regulating Radio Equipment.
** International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection
*** The value is under simultaneous transmission use conditions.

The World Health Organization has announced that "A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

For more information about SAR, see the following websites:

Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)
http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/body/index.htm

Association of Radio Industries and Businesses (ARIB)
http://www.arib-emf.org/index02.html (Japanese)

This mobile phone [302ZT] is confirmed to comply with guidelines relating to effects of radio wave exposure as set forth by the Council of Europe (CE) and the Federal Communications Commission (FCC). Refer to the following.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health. The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2.0 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear is 0.175 W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this User Guide (See Page xxvi)****. In this case, the highest tested SAR value is 0.909 W/kg*.

* The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organization through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.
The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.
The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.073 W/kg, and when worn on the body in a holder or carry case, is 0.765 W/kg.
Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/ after searching on FCC ID SRQ-302ZT.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at http://transition.fcc.gov/oet/rfsafety/.

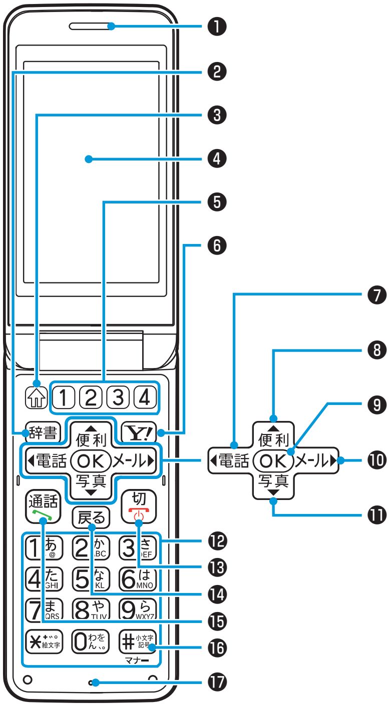
The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

World Health Organization
http://www.who.int/emf

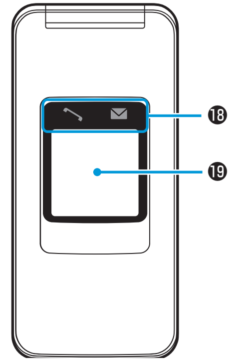
List of Specific Absorption Rates (SAR) for radio waves by smartphone/3G model
http://www.softbank.jp/mobile/support/sar/ (Japanese)

1 準備／基礎知識

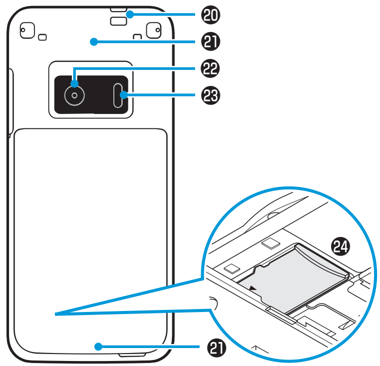
各部の名称

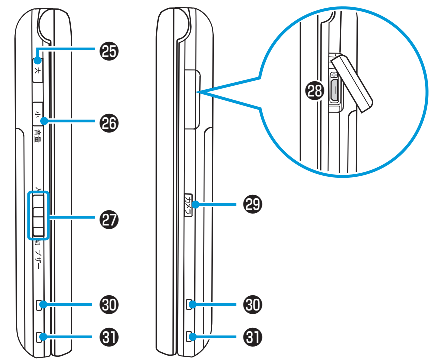


❶受話口：通話相手の声を受けます。
❷辞書ボタン 辞書：単語の意味を検索します。
❸自宅ボタン ：自宅へ簡単に連絡したり、情報を確認できます。
❹ディスプレイ
❺ワンタッチボタン 1 2 3 4：登録した相手へ簡単に連絡したり、情報を確認できます。
❻Yahooボタン Y!：インターネットへ接続します。
❼電話ボタン 電話：電話を呼び出したり、項目を選びます。
❽便利ボタン 便利：便利機能を呼び出したり、項目を選びます。
❾決定ボタン OK：選んだ項目を決定します。
❿メールボタン メール：メールを呼び出したり、項目を選びます。
⓫写真ボタン 写真：カメラを呼び出したり、項目を選びます。
⓬ダイヤルボタン：電話番号／文字を入力します。
⓭切るボタン 切：電源を入／切したり（長押し）、通話や操作を終了します。
⓮戻るボタン 戻る：前の画面に戻ったり、操作を中止します。
⓯通話ボタン 通話：電話をかけたり、受けたりします。
⓰# #（長押し）：マナーモードを設定・解除します。
⓱送話口：通話相手に声を送ります。



⓲お知らせランプ（マーク）：着信時や受信時にマークが点灯します。
⓳サブディスプレイ（背面画面）：時刻や歩数などをお知らせします。





⑳ストラップ取り付け穴
㉑内蔵アンテナ部分
㉒カメラ
㉓スピーカー
㉔メモリカードスロット

㉕音量ボタン（大）：電話やメールの着信音の音量を大きくします。
㉖音量ボタン（小）：電話やメールの着信音の音量を小さくします。
㉗緊急ブザースイッチ：緊急時にブザーを鳴らします。
㉘外部接続端子：イヤホン（別売品）やACアダプタによる充電の際にmicroUSBケーブルを接続します。
㉙カメラボタン：写真や動画を撮影します。
㉚充電端子：卓上ホルダー充電時に使います。
㉛卓上ホルダー固定穴

通信用内蔵アンテナについて

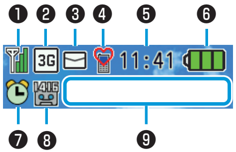
- 電波感度が弱まることがありますので、内蔵アンテナ部分を手でおおったり、シールなどを貼らないでください。

イヤホンについて

- 本機では、microUSBイヤホン（ZELAW1）をご使用ください。指定品以外のものを使用した場合は、正常に動作しなかったり、故障の原因となります。

ディスプレイ

■ディスプレイアイコンの見かた



❶ 電波状態
電波の状態を4段階で表示します。
：強　：中　：弱
：微弱　：圏外
：電波を停止中

❷ ：3G接続中
：GSM接続中
：メモリカード挿入中
：パケット送信中
：パケット通信利用中
：ソフトウェア更新

❸ ：通話中
：未読メールあり
：メール容量フル
：メール送信中
：メール受信中
：メール送信失敗
：測位中
：SSL対応サイト接続中

❹マナーモード
：マナーモード設定中

❺時刻表示

❻電池レベル
電池残量を4段階で表示します。
：十分残っています
：少なくなっています
：残りわずかです
：充電してください

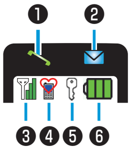
❼ ：目覚まし時計設定中

❽留守録
：電話の留守録設定中（録音メッセージなし）
／／／／：
電話の留守録設定中（録音メッセージあり）（未確認メッセージなし）
／／／／：
電話の留守録設定中（録音メッセージあり）（未確認メッセージあり）
／／／／：
電話の留守録未設定（録音メッセージあり）（未確認メッセージなし）
／／／／：
電話の留守録未設定（録音メッセージあり）（未確認メッセージあり）
：未確認のセンター留守録あり

❾文字メッセージ
「操作規制中」
「電波を停止中」
「操作規制・着信あり」

サブディスプレイ（背面画面）

■サブディスプレイアイコンの見かた



❶ ：着信中／不在着信あり
❷ ：未読メールあり

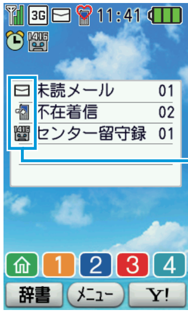
❸電波状態
電波の状態を4段階で表示します。
：強　：中　：弱　：微弱
：圏外
：電波を停止中

❹ ：マナーモード設定中
❺ ：操作規制中

❻電池レベル
電池残量を4段階で表示します。
：十分残っています
：少なくなっています
：残りわずかです
：充電してください

お知らせ画面について

出られなかった電話、読んでいないメールなどの情報があると、待受画面にお知らせメニューを表示します。



❶お知らせアイコン

- ：未読メール：新着のS!メール／SMSがあります。
- ：不在着信：不在着信があります。
- ：センター留守録：留守番電話センターに伝言メッセージをお預かりしています。
- ：電話の留守録：簡易留守録のメッセージがあります。
- ：ソフトウェア更新：ソフトウェアの更新結果をお知らせします。

光るお知らせボタンについて

出られなかった電話、読んでいないメールなどの情報があると、専用のお知らせボタンが光って教えてくれます。



❶電話ボタン ：不在着信履歴を確認します（P.3-7）。
❷メールボタン ：受信メールを確認します（P.4-11）。

電池パックとACアダプタをご利用になる前に

お買い上げ時、電池パックは十分に充電されていません。初めてお使いになるときは、必ず充電してからお使いください。
- 充電時間とご利用可能時間の目安については：（P.12-9）

電池パックについて

- 電池パックや本機、ACアダプタの金属部分（充電端子）が汚れると、接触が悪くなり、電源が切れたり、充電できないことがあります。汚れたら、乾いたきれいな綿棒で清掃をしてからご使用ください。
- 電池パックは消耗品です。電池パックを完全に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。
- 電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。電池パックが使用できなくなることがあります。長期間保管・放置されるときは、半年に1回程度、電池パックを充電してください。
- 電池パック単体を持ち運ぶときは、袋などに入れてください。

充電を行うときは

- 電池パック単体では充電できません。本機に電池パックを取り付けた状態で充電してください。
- 電源を入れたままでも充電できますが、充電時間は長くなります。
- ACアダプタを使用中、テレビやラジオなどに雑音が入る場合は、ACアダプタを雑音の入らない場所まで遠ざけてください。

電池レベルについて

電池レベル表示は、ご使用の時間経過とともに変化します。電池レベル表示とメッセージをご確認のうえ、充電または電池パック交換の目安にしてください。

電池アイコン	残量の目安
（枠が赤く点滅）	0～8%
	8～30%
	30～60%
	60～100%

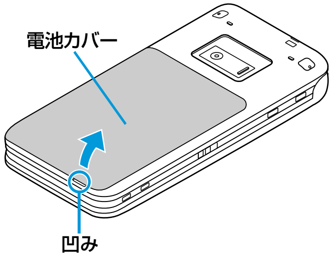
電池パックを取り付ける／取り外す

・必ず電源を切ってから、行ってください。

取り付ける

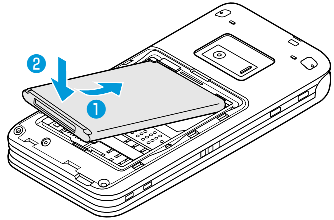
1 電池カバーを開く

・電池カバーの凹みに指をかけ持ち上げます。電池カバーと本体の間にすきまができたら、周囲に沿って少しずつ取り外します。
・爪を傷つけないようにご注意ください。



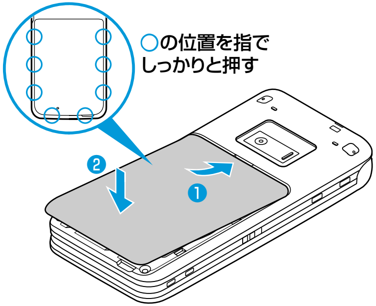
2 電池パックを取り付ける

・電池パックの端子部分と本体の端子が合うように❶の方向に差し込んでから、❷の方向にはめ込みます。



3 電池カバーを閉じる

- 電池カバーの先を本体の溝に合わせて（❶）、図の位置を指で押します（❷）。
- 電池カバーと本体の間にすきまができないよう「カチッ」と音がするまで押し込んで、完全に閉めてください。

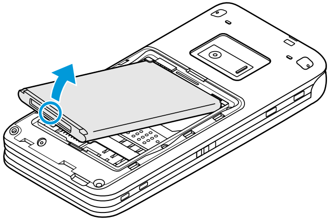


取り外す

1 電池カバーを開く（P.1-7）

2 電池パックを取り外す

- 電池パックの凹みに指をかけ、矢印の方向に持ち上げます。



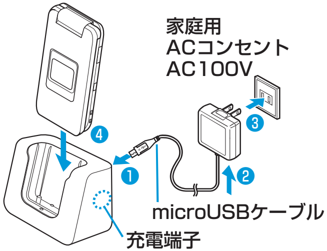
3 電池カバーを閉じる（P.1-8）

- 使用中に電池パックを取り外すと本機が正常に動作しなくなりますので、必ず電源を切ってから取り外してください。
- 本機には、リチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
- リサイクルは、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店で行っています。
- リサイクルのときは、分解したり、ショートさせないようにご注意ください。火災や感電の原因となります。

卓上ホルダーを利用して充電する

必ず指定のACアダプタを使用してください。

- 充電時間については：（P.12-9）



1 卓上ホルダーの充電端子にmicroUSBプラグを取り付ける

2 USBプラグをACアダプタに取り付ける

3 ACアダプタのプラグを起こし、家庭用ACコンセントに差し込む

4 本機を卓上ホルダーに取り付ける

矢印の方向にしっかりと止まるまで押し下げます。

- 充電中は、電池レベルのアイコンが [電池0] → [電池1] → [電池2]→ [電池3]の順に点滅します。

5 電池レベルのアイコン（[電池3]）が点滅したら本機を卓上ホルダーから取り外す

卓上ホルダーに取り付けたまま、側面のいずれかのボタンを押すと電池アイコンを確認できます。

6 ACアダプタのプラグを家庭用ACコンセントから抜く

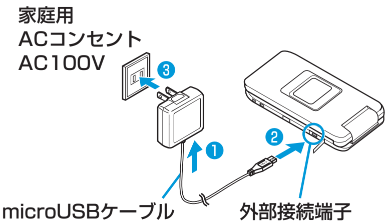
7 USBプラグをACアダプタから抜く

8 microUSBプラグを卓上ホルダーの充電端子から抜く

- 故障の原因になるため、本機の充電には指定のACアダプタ、microUSBケーブル以外は使用しないでください。
- 卓上ホルダーは家庭用AC100～240Vの電源に対応しています。
- 海外での充電に起因するトラブルについては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ACアダプタを利用して充電する

必ず指定のACアダプタを使用してください。
- 充電時間については：（P.12-9）



1 ACアダプタにmicroUSBケーブルのUSBプラグを取り付ける

2 本機の外部接続端子にmicroUSBケーブルのmicroUSBプラグを取り付ける

3 家庭用ACコンセントにACアダプタのプラグを起こし、家庭用ACコンセントに差し込む
- 充電中は、電池レベルのアイコンが → → → の順に点滅します。

4 電池レベルのアイコン（）が点滅したらプラグを家庭用ACコンセントから抜く

5 本機の外部接続端子からmicroUSBケーブルを抜く

- 本機とパソコンを付属のmicroUSBケーブルで接続すると、本機をパソコンで充電できます。
- 故障の原因になるため、本機の充電には指定のACアダプタ、microUSBケーブル以外は使用しないでください。
- ACアダプタは家庭用AC100～240Vの電源に対応しています。
- ACアダプタのプラグは日本国内用です。
- 海外での充電に起因するトラブルについては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

電源を入れる

1 切 **を長く（砂時計のアイコンが表示されるまで）押す**

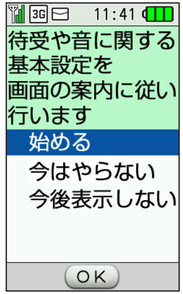
待受画面が表示されます。



- 電源を入れたときに、操作用暗証番号を入力しないと本機を使用できないようにするには：（P.9-6）
- 電源を入れたときに、PINコードを入力しないと本機を使用できないようにするには：（P.11-5）

初めて電源を入れたとき

お買い上げ後、初めて本機の電源を入れた場合や「電話をお買い上げの状態に戻す」を行ったあとには、以下の画面が表示されます。



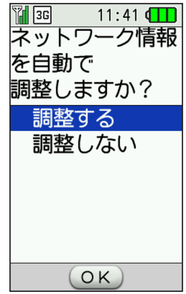
また、初めて使う時の設定（P.1-12）で、基本的な設定を一通り行うことができます。

ネットワーク自動調整

Yahoo!ケータイやメールなどをお使いになるうえで必要な情報をネットワークから取得します。

1 **お買い上げ後、最初の待受画面で OK**

ネットワーク自動調整画面が表示されます。



2 **OK（2回）**

ネットワークに接続し、情報を取得します。

- ネットワーク自動調整をすると、メールやMy SoftBankなどのネットワーク接続を伴うサービスが利用できます。
- USIMカードを差し替えた場合は、必ずネットワーク自動調整を行ってください。
- メインメニューからネットワーク自動調整をする場合は、以下の操作を行います。
  OK→便利→「設定をする」→OK→便利→「その他の設定」→OK→写真（3回）→「重要な設定をする」→OK→便利（3回）→「ネットワークを自動で調整する」→OK→「調整する」→OK

電源を切る

1 切 **を長く（SoftBankのロゴが表示されるまで）押す**

ディスプレイが消灯します。
- 電源を切った直後に電源を入れる場合は、数秒お待ちください。

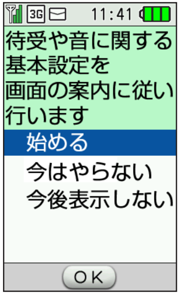
初めて本機の電源を入れると、以下の設定をまとめて行える「初めて使う時の設定をする」が起動します。ここで設定した内容は必要に応じていつでも変更できます。

- 壁紙の設定（P.11-3）
- 時計の設定（P.11-3）
- 着信音の設定（P.2-4）
- 着信音量の設定（P.11-3、P.11-4）
- バイブレーターの設定（P.2-4）
- ボタン確認音の設定（P.11-4）
- メニュー表示の設定（P.2-3）

- 上記の設定をまとめてやり直したい場合などに、メインメニューから「初めて使う時の設定をする」を行うこともできます。以下の操作を行ってください。
  OK→便利→「設定をする」→OK→「初めて使う時の設定をする」→OK

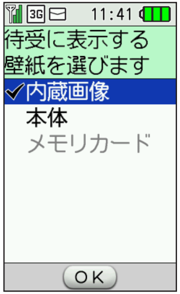
初めて使う時の設定をする

1 設定を始める



1.「始める」→ OK
- あとでまとめて設定する場合は、「今はやらない」を選択します。以降、設定を完了するまで、電源を入れるたびにこの画面が表示されます。
- あとで個別に設定する場合は、「今後表示しない」を選択します。

2 壁紙（待受画面）を設定する

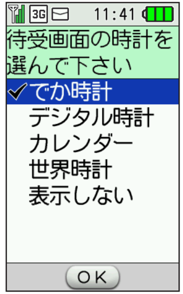


1.「内蔵画像」→ OK →画像を選択→ OK（2回）

・本体／メモリカード内の画像を設定する場合は、以下の操作を行います。
「本体」／「メモリカード」→OK→画像を選択→ OK（2回）

2.「設定する」→ OK（2回）

3 時計／カレンダーを設定する

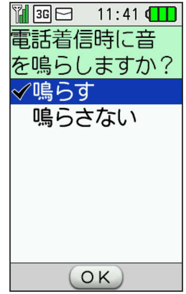


1. 時計／カレンダーを選択→ OK

・時計やカレンダーを表示しない場合は、「表示しない」を選択します。

2.「設定する」→ OK（2回）

4 着信音を設定する

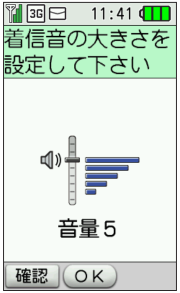


1.「鳴らす」→ OK →「内蔵メロディ」→OK→メロディを選択→OK

・メロディを確認する場合は辞書（再生）を押します。
・本体／メモリカード内のファイルを着信音に設定する場合は、以下の操作を行います。
「鳴らす」→OK→「本体」／「メモリカード」→OK→保存場所を選択→OK→ファイルを選択→OK（2回）
・着信音を鳴らさない場合は、「鳴らさない」を選択します。

2.「設定する」→ OK（2回）

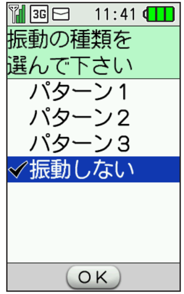
5 着信音量を設定する



1. **音量を調節→ OK**
- 音量を確認する場合は辞書（確認）を押します。
- 音量の確認画面が表示された場合は、OK を押します。

2. **「設定する」→ OK（2回）**

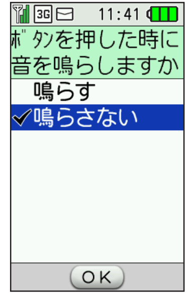
6 振動（バイブレーター）を設定する



1. **振動の種類を選択→ OK**
- 振動が不要な場合は「振動しない」を選択します。

2. **「設定する」→ OK（2回）**

7 ボタン確認音／音量を設定する

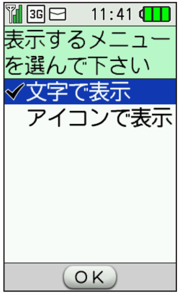


1. **「鳴らす」→ OK**
- ボタン確認音を鳴らさない場合は「鳴らさない」を選択します。

2. **音量を調節→ OK**
- 音量を確認する場合は辞書（確認）を押します。
- 音量の確認画面が表示された場合は、OK を押します。

3. **「設定する」→ OK（2回）**

8 メニュー表示を設定する



1. メニューの表示を選択→ OK（2回）

9 設定を終了する



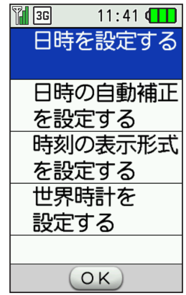
1. OK
   - これで設定は完了です。

- 設定を途中で中止する場合は、以下の操作を行います。
  戻る →「中断する」→ OK

日付／時刻を設定する

1 OK→「設定をする」→ OK →「その他の設定」→ OK →「日付と時刻の設定をする」→ OK

- お買い上げ時は、日付／時刻は自動的に補正されるように設定されています。
  以降の手順で日付／時刻を手動で設定するには、「日時の自動補正を設定する」を「自動補正しない」に設定してください。
  「日時の自動補正を設定する」→ OK →「自動補正しない」→ OK（2回）



日付／時刻の設定画面

2 「日時を設定する」→ OK

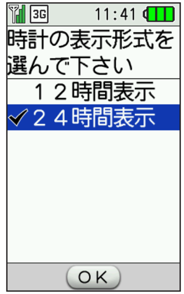


3 **日付／時刻を入力→ OK（2回）**

- 年は西暦の下2桁、月、日、時、分は、それぞれ2桁で入力します。また、時刻は24時間制で入力します。
- 日付／時刻の入力中に 電話 メール を押すと、カーソルを移動できます。また、便利 写真 を押すと、カーソル上の数字を繰り上げたり、繰り下げることができます。
- 日時設定を行うと自動的に曜日が設定されます。

時計表示を12／24時間制に切り替える

1 日付／時刻の設定画面で「時刻の表示形式を設定する」→ OK



2 「12時間表示」／「24時間表示」→ OK（2回）

マナーについて

携帯電話をお使いになるときは、周囲への気配りを忘れないようにしましょう。

- 劇場や映画館、美術館などでは、周囲の迷惑にならないように電源を切りましょう。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では周囲の迷惑にならないように気をつけましょう。
- 電車やバスなどの公共機関では、車内のアナウンスや掲示に従いましょう。
- 街の中では、通行の妨げにならない場所で使いましょう。

マナーモード設定

マナーモードを設定／解除する

着信があったりアラームが動作したりしても音が鳴らないようにします。着信やアラームは、バイブレーション（振動）でお知らせします。

- 設定すると、「」が表示されます。

1 **# を長く（1秒以上）押す**

- 解除するには、設定中に待受画面で # を長押しします。



マナーモードを設定しても、次の音は鳴ります。

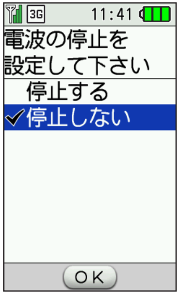
- 写真撮影時のシャッター音
- 動画撮影時の開始／停止音
- イヤホンからの着信音
- 緊急速報メールの専用受信音

マナーモード中の目覚まし音の動作を設定することができます（P.11-2）。

電波の送受信を停止する（電波停止モード）

電波停止モードを利用すると、電源を切らずに電波の送受信を停止して、電話の発着信やメールの送受信など、ネットワークサービスの利用を制限できます。
設定すると、電波状態表示が「圏」に変わります。

1 **OK →写真（4回）→「安心機能を使う」→ OK →便利 →「機能・操作を制限する」→ OK →便利→「電波を停止する」→ OK（2回）→「停止する」→ OK（2回）**



・電波停止モードを解除する場合は､「停止しない」を選択します。

・「停止する」に設定すると､電話を受けることができなくなります。また、110番（警察）、119番（消防・救急）、118番（海上保安本部）への発信もできなくなるため、通常使用するときは「停止しない」にしてください。

暗証番号

本機のご使用にあたっては、次の暗証番号が必要になります。

操作用暗証番号	パスワードキーロックの設定や解除など携帯電話機本体の操作に必要となる暗証番号です（お買い上げ時は、「9999」に設定されています）。
交換機用暗証番号（発着信規制用暗証番号）	メールアドレス設定などのメール関連設定、迷惑メール設定、お客様申し入れによる緊急中断の際に必要となる、契約時の暗証番号です。

・操作用暗証番号や交換機用暗証番号（発着信規制用暗証番号）はお忘れにならないようにご注意ください。万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先（P.12-18）までご連絡ください。
・操作用暗証番号や交換機用暗証番号（発着信規制用暗証番号）は、他人に知られないようにご注意ください。他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・入力を3回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。この場合、交換機用暗証番号（発着信規制用暗証番号）の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（P.12-18）までご連絡ください。
・以前、携帯電話から交換機用暗証番号（発着信規制用暗証番号）を変更されたお客様は、発着信規制を設定する際に、その変更された番号を入力してください。
・操作用暗証番号の設定や変更は本機で行えます（P.11-5）。

共通操作

項目選択と元画面に戻る



1 **OK → 項目を選択 → OK**
選択した項目の画面が表示されます。

2 **戻る**
元の画面に戻ります。

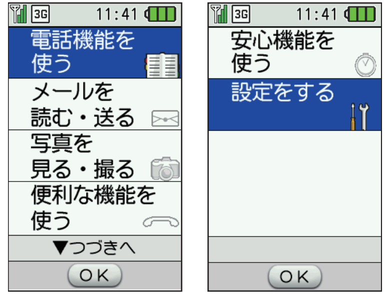
待受画面に戻る

1 **任意の画面で 切**
待受画面が表示されます。

メニュー操作

機能の呼び出し方

待受画面で OK を押すと、メインメニューが表示されます。
便利 写真で目的の機能を選択したあと OK を押すと、各項目内のメニューが表示されます。
・本書では、「横文字のメニュー」で説明しています。



メインメニュー

■電話機能を使う
本書の3章「電話」で説明しています。

■メールを読む・送る
本書の4章「メール」で説明しています。

■写真を見る・撮る
本書の6章「カメラ」で説明しています。

■便利な機能を使う
本書の8章「便利機能」で説明しています。

■安心機能を使う
本書の9章「安心機能／セキュリティ」で説明しています。

■設定をする
本書の11章「カスタマイズ」で説明しています。

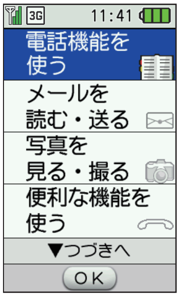
メインメニューの表示方法を切り替える

メインメニューの表示方法には横文字のメニューと文字・絵のメニューの2種類があります。

1 OK →「設定をする」→ OK →「その他の設定」→ OK

2「メニューの表示形式を設定する」→ OK

3 メニューの表示を選択→ OK（2回）



横文字のメニュー（文字で表示）

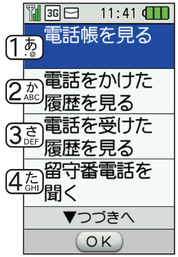


文字・絵のメニュー（アイコンで表示）

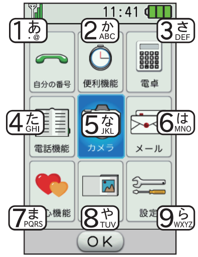
- メニューの表示形式がアイコンの場合、さらに◀電話 メール▶を使用してアイコンを選択できます。

ダイヤルボタンで項目を選択する

メインメニューや各機能の項目をダイヤルボタン（1～9）で直接選択できます。



各機能の項目（文字で表示）



メインメニュー（アイコンで表示）

メニューの表示形式が「文字で表示」の場合、メニューの表示順に上からダイヤルボタン（1～9）で選択できます。
メニューの表示形式が「アイコンで表示」の場合、アイコンの位置に対応するダイヤルボタン（1～9）で選択できます。

■操作例（「アイコンで表示」の場合）

1 OK

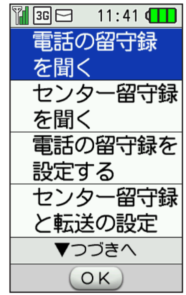
メインメニューが表示されます。

2 4

「電話機能」が選択され、電話機能のメニューが表示されます。

3 4

「留守番電話を聞く」が選択され、留守番電話のメニューが表示されます。



- メニュー下部に「▼つづきへ」と表示されている場合は、次画面以降の項目をダイヤルボタン5以降で直接選択できます。
- 待受画面でOK→0を続けて押すと、自分の電話番号を確認することができます。

共通操作

待受画面で OK →「設定をする」→ OK →「電話の音や振動を設定する」／「メール着信音や振動を設定する」

着信音を変更する

着信音を既定の音から変更します。

1 OK

2 **「着信音の種類を選ぶ」→ OK →「内蔵メロディ」／「本体」／「メモリカード」→着信音を選択→ OK（2回）**

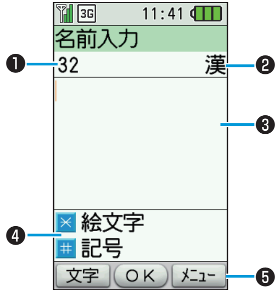
バイブレーターを設定する

着信時にバイブレーション（振動）で知らせるかどうかを設定します。

1 OK

2 **「振動の種類を選ぶ」→ OK →振動の種類を選択→ OK（2回）**

文字の入力画面について



文字の入力画面

❶あと何文字入力できるかが表示されます。
入力できる文字数は、機能によって異なります。
❷現在の文字入力モードが表示されます。
❸入力した文字が表示されます。
❹ # や * を押すと、絵文字や記号を表示します。
❺ Y! を押すと、サブメニュー画面で電話帳の情報や個人情報を入力することができます。

再度 Y! を押すと、サブメニュー画面が閉じます。

文字入力モードを変更する

1 **文字の入力画面で 辞書（文字）**
入力文字切替画面が表示されます。



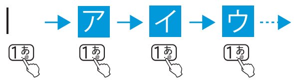
2 **文字入力モードを選択→ OK**
入力モードが変更されます。

文字種	説明
漢字	漢字・ひらがな
アイウ	全角カタカナ
ｱｲｳ	半角カタカナ
１２３［全］	全角数字
123[半]	半角数字
ＡＢＣ［全］	全角英数字
ABC[半]	半角英数字
記号	全角記号・半角記号
絵文字	絵文字
顔文字	顔文字

文字入力の基本操作

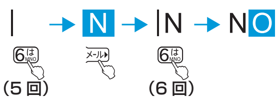
文字入力にはダイヤルボタンを利用します。1つのボタンには、ボタンに表示されているような複数の文字が割り当てられており、押す回数によって表示される文字が変わります。

1 全角カタカナモードで 1あ を繰り返し押したとき



・同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力するときは、メール または 通話 を押します。

2 全角英数字モードで「NO」と入力するとき



漢字／ひらがな／カタカナを入力する

ひらがなを入力する

漢字・ひらがなモードで「すずき」を入力する方法を例に説明します。
文字入力時のボタン割り当てについては、(P.12-6)を参照してください。

1 文字の入力画面で「すずき」と入力

・3さ(3回)→ メール → 3さ(3回)→ ＊ → 2か(2回)を押します。

2 OK

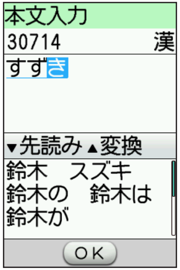
漢字を入力する

漢字・ひらがなモードで「鈴木」を入力する方法を例に説明します。

1 文字の入力画面で「すずき」と入力

・3さ(3回)→ メール → 3さ(3回)→ ＊ → 2か(2回)を押します。

2 写真



・戻るを押すと、「すずき」のあとに続けて入力できます。

3 便利 写真で「鈴木」を選択 → OK

「鈴木」が確定します。

・文字の入力を終了するときは、確定したあと OK を押します。

カタカナを入力する

全角カタカナモードで「スズキ」を入力する方法を例に説明します。

1 文字の入力画面で「スズキ」と入力

・3さ(3回)→ メール → 3さ(3回)→ ＊ → 2か(2回)を押します。
・1文字ずつ確定されます。

2 OK

2 共通操作

小文字（っ、ッなど）を入力する

漢字・ひらがなモード、全角カタカナモード、および半角カタカナモードでは、カーソル上の文字（未確定）の大文字、小文字を切り替えることができます（対応している文字のみ）。
「あ」の小文字入力を例に説明します。

1 文字の入力画面で 1

2 # → OK

「ぁ」が確定します。

だく点（゛）／半だく点（゜）を入力する

漢字・ひらがなモード、全角カタカナモード、および半角カタカナモードでは、カーソル上の文字（未確定）をだく点や半だく点に変えることができます（対応している文字のみ）。
「が」の入力を例に説明します。

1 文字の入力画面で 2

2 * → OK

「が」が確定します。

- 「は」のようにだく点と半だく点の両方をつけられる文字は、* を複数回押してだく点、半だく点を切り替えます。

英数字を入力する

全角英数字モードまたは半角英数字モードで「SoftBank」を入力する方法を例に説明します。

1 文字の入力画面で「SoftBank」と入力

- 次のように入力します。

「S」：7（4回）→ #
「o」：6（3回）
「f」：3（3回）
「t」：8（1回）
「B」：2（2回）→ #
「a」：メール → 2（1回）
「n」：6（2回）
「k」：5（2回）

- 全角英数字モードまたは半角英数字モードでキーを長押しすると数字が入力できます。

2 OK

「SoftBank」が確定します。

記号／絵文字／顔文字などを入力する

記号を入力する

1 文字の入力画面で #

記号のメニューが表示されます。

- メニューでは、履歴（以前入力した記号）、全記（全角の記号）、半記（半角の記号）を Y!（切替）で切り替えます。



2 便利 写真 電話 メール で記号を選択 → OK

選択した記号が入力されます。

- 戻る で記号のメニューが閉じます。

絵文字を入力する

1 文字の入力画面で [＊絵文字]

絵文字のメニューが表示されます。

- メニューでは、履歴（以前入力した絵文字）、共通絵（全社共通の絵文字）、全絵（すべての絵文字）を [Y!]（切替）で切り替えます。



2 [便利] [写真] [電話] [メール] で絵文字を選択 → [OK]

選択した絵文字が入力されます。

- [戻る] で記号のメニューが閉じます。

顔文字を入力する

1 文字の入力画面で [辞書] → 顔文字→ [OK]

顔文字のメニューが表示されます。

- メニューでは、履歴（以前入力した顔文字）、顔文字を [Y!]（切替）で切り替えます。



2 [便利] [写真] [電話] [メール] で顔文字を選択 → [OK]

選択した顔文字が入力されます。

- [戻る] で顔文字のメニューが閉じます。

スペースを入力する

■全角スペースを入れる

1 文字の入力画面で [辞書] →「記号」→ [OK] →「全記」→ スペースを選択 → [OK]

■半角スペースを入れる

次の2つの入れ方があります。

- 文字の入力画面で [辞書] →「記号」→ [OK] → [Y!] →「半記」→ スペースを選択 → [OK]
- 文字の入力画面で [メール]

改行する

- 文字の入力画面で文字を確定後 [写真]
- [0わをん。]（9回）（漢字入力モードのみ）

文字の変換について

候補リストが文字の入力中に表示されます。

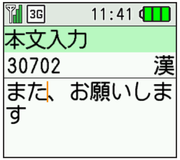
- 単語入力を繰り返すことにより、候補リストの順番は変化します。

切り替えかた	候補例「わ」の場合	説明
[OK] [写真]	「私」「わたし」など	入力した文字で始まると予測される候補
[OK] [便利]	「和」「輪」など	入力した文字と完全一致した候補リスト

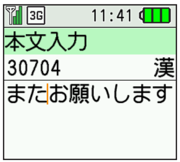
入力した文字を消去／修正する

「また、お願いします」を「また明日お願いします」に修正する方法を例に説明します。

1 文字の入力画面で 電話 メール →消去する文字を選択

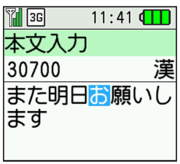


2 戻る



カーソル上の1文字が消えます。

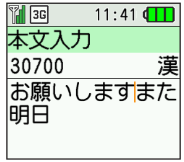
3 電話 メール で挿入位置を選択 →「明日」と入力



- 文字をすべて消去する場合は、以下の操作を行います。
  文末で 戻る を長押しします。カーソルから後ろの文字をすべて消去するときは、消去する最初の文字を選び、戻る を長押しします。

文字を移動／コピーする

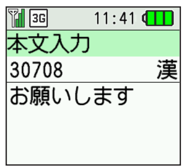
1 Y! →「切り取り」／「コピー」→ OK → 開始文字を選択 → OK



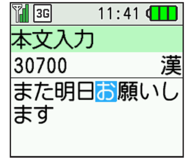
- 移動するときは「切り取り」を、複写するときは「コピー」を選びます。
- 開始文字を指定し直すときは、戻るを押します。

2 終了文字を選択 → OK

- 移動するときを例に説明します。



3 挿入位置を選択 → Y! →「貼り付け」→ OK



挿入位置に入力されます。

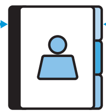
- 以前に切り取り／コピーした文字を複写する場合は、以下の操作を行います。
  挿入位置を選択 → Y! →「貼り付け」→ OK

電話帳について

よく電話をかけたり、メールをやりとりする相手の名前や電話番号、メールアドレスを登録します。

電話帳に登録できる項目

電話・メールなどの基本情報	詳細情報
名前	電話番号（2つ目、3つ目）
ヨミガナ	メールアドレス（2つ目、3つ目）
電話番号	グループ
メールアドレス	電話の着信音、メールの受信音と鳴動時間



電話帳を利用した主な機能やサービス

ワンタッチダイヤル
電話帳に登録した相手に簡単な操作で電話がかけられます。

着信拒否
電話帳に登録されていない電話番号からの着信などを拒否できます。

※メール受信の鳴動時間は、個別設定を行った場合にのみ、あとで設定できます（P.2-17）。

- 大切なデータを失わないために電話帳に登録した電話番号や名前は、電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化することがあります。また、事故や故障でも同様の可能性があります。大切な電話帳などは控えを取っておくことをおすすめします。電話帳が消失または変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

電話帳に登録する

基本情報を登録する

例：名前、電話番号、メールアドレスを設定する場合

1 **登録を始める**

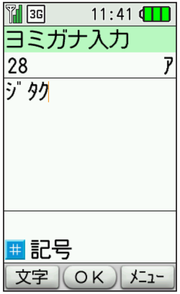
OK（2回）→「電話帳に登録する」→ OK

2 **名前を入力する**



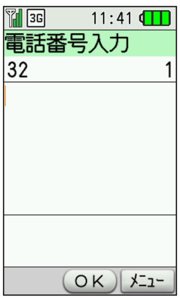
1. **名前を入力 → OK（3回）**
- 姓と名の両方を入力してください。

3 ヨミガナを入力する



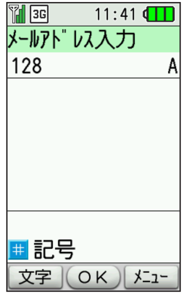
1. OK
・ヨミガナは、名前を入力すると自動的に入力されます。編集が必要な場合は、ヨミガナを編集してからOKを押します。

4 電話番号を入力する



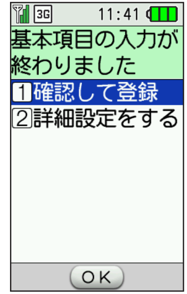
1. 電話番号を入力 → OK
・同一市内でも、市外局番から入力してください。

5 メールアドレスを入力する



1. メールアドレスを入力 → OK

6 入力内容を確認して登録する



基本設定終了画面

1. 「確認して登録」→ OK
・電話番号やメールアドレスを複数登録したい場合や電話帳の個人別に着信音を設定するには、2-11ページを参照してください。

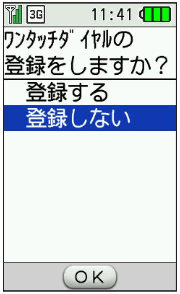


登録確認画面

2. 登録内容を確認 → OK（3回）
- すでに同姓同名の登録内容がある場合は、上書きするか新規保存するか選択する必要があります。

7 ワンタッチダイヤルに登録する

ワンタッチダイヤル（P.2-15）に登録すると、待受画面から 1 ／ 2 ／ 3 ／ 4 を押して素早く電話帳を呼び出し、電話をかけたり、メールを送信したりすることができます。



1. 登録する → OK
- 登録しない場合は「登録しない」を選択します。

2. ワンタッチダイヤルを選択 → OK → 「登録する」→ OK（2回）
- 選択したワンタッチダイヤルにすでに登録がある場合は、変更するかどうかを選択します。

- ワンタッチダイヤルへの登録はあとから行うこともできます（P.2-15）。
- 電話帳の登録を途中で中断する場合は、以下の操作を行います。
  切 →「登録して終了」／「登録せずに終了」→ OK

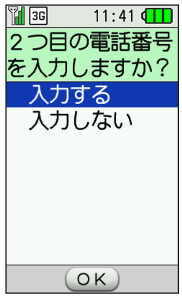
詳細情報を登録する

1 詳細情報の登録を始める

基本設定終了画面で「詳細設定をする」→ OK

2 電話番号を追加する

2つ目、3つ目の電話番号を登録できます。

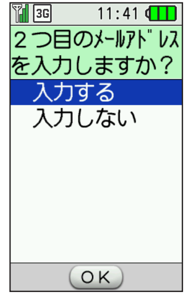


1.「入力する」→ OK
- 不要な場合は「入力しない」を選択し、メールアドレスの追加に進みます。

2. 電話番号を入力 → OK →「次へ進む」→ OK
- 3つ目の電話番号も同様に操作して登録できます。

3 メールアドレスを追加する

2つ目、3つ目のメールアドレスを登録できます。



1.「入力する」→ OK
- 不要な場合は「入力しない」を選択し、グループの設定に進みます。

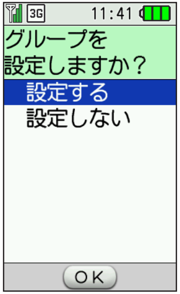
2. メールアドレスを入力 → OK →「次へ進む」→ OK
- 3つ目のメールアドレスも同様に操作して登録できます。

2

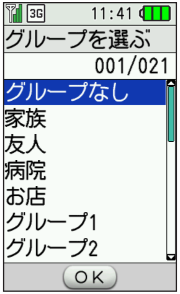
共通操作

4 グループを設定する

家族や友人など、グループを設定しておくと、電話帳から目的の相手を探しやすくなります。



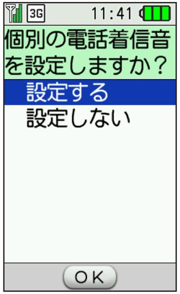
1.「設定する」→ OK
- 不要な場合は「設定しない」を選択し、個別の電話着信音の設定に進みます。



2. グループを選択 → OK
3. 「次へ進む」→ OK

5 個別の電話着信音を設定する

個別の電話着信音を設定すると、電話をかけてきた相手ごとに着信音を変えることができます。



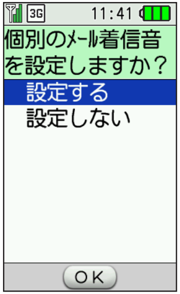
1.「設定する」→ OK
- 不要な場合は「設定しない」を選択し、個別のメール受信音の設定に進みます。
- 個別の着信音を設定しない場合は、相手に関係なく、「初めて使う時の設定をする」などで設定した着信音が鳴ります。

2.「内蔵メロディ」→ OK→ メロディを選択 → OK
- メロディを確認する場合は 辞書（再生）を押します。
- 本体／メモリカード内のファイルを着信音に設定する場合は、以下の操作を行います。
「本体」／「メモリカード」→ OK → 保存場所を選択 → OK→ メロディを選択 → OK（2回）

3.「次へ進む」→ OK

6 個別のメール受信音を設定する

個別のメール受信音を設定すると、メールを送ってきた相手ごとに受信音を変えることができます。



1.「設定する」→ OK
- 不要な場合は「設定しない」を選択し、手順7に進みます。
- 個別の着信音を設定しない場合は、相手に関係なく、「初めて使う時の設定をする」などで設定した受信音が鳴ります。

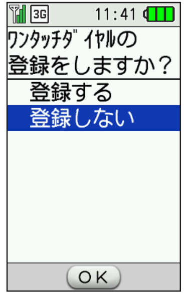
2.「内蔵メロディ」→ OK → メロディを選択 → OK
- メロディを確認する場合は 辞書（再生）を押します。
- 本体／メモリカード内のファイルを受信音に設定する場合は、以下の操作を行います。
- 「本体」／「メモリカード」→ OK→保存場所を選択 → OK→ メロディを選択 → OK（2回）

3.「次へ進む」→ OK

7 入力内容を確認して登録する

1. 登録確認画面で登録内容を確認 → OK（2回）
- すでに同じ名前の登録内容がある場合は、上書きするか新規保存するかを選択する必要があります。

8 ワンタッチダイヤルに登録する



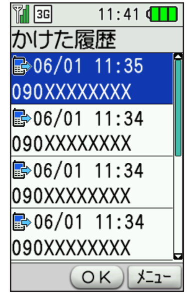
1.「登録する」→ OK
- 登録しない場合は「登録しない」を選択します。

2. ワンタッチダイヤルを選択→ OK →「登録する」→ OK（2回）
- 選択したワンタッチダイヤルにすでに登録がある場合は、変更するかどうかを選択します。

> - 電話帳の登録を途中で中断する場合は、以下の操作を行います。
> 切 →「登録して終了」／「登録せずに終了」→ OK

発信履歴／着信履歴の電話番号を登録する

1 電話 → 発信履歴／着信履歴を選択 → OK

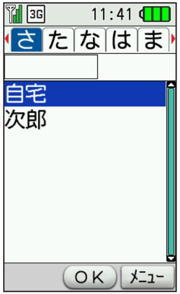


2 登録したい発信履歴／着信履歴を選択 → Y! →「電話帳に登録」→ OK →「新規登録する」→ OK
- 「新規登録する」を選択した場合は、電話帳の新規登録と同様に名前やメールアドレスなどを登録します（P.2-9）。
- 登録されている電話帳に追加する場合は、以下の操作を行います。
「追加登録する」→ OK →追加したい電話帳を選択→ OK → Y! →「編集する」→電話番号を修正→ OK

電話帳を利用する

電話帳から電話をかける

1 電話 →「電話帳を見る」→ OK



電話帳一覧画面

- 電話またはﾒｰﾙを押すと、50音順の前の行または次の行を表示できます。

2 相手を選択 → OK

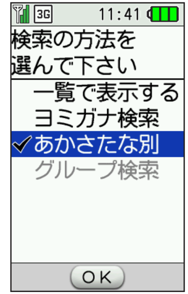


電話帳詳細画面

3 電話番号を選択 → OK（2回）

検索方法を変更する

1 電話帳一覧画面で Y! →「検索の方法」→ OK



2 検索方法を選択 → OK

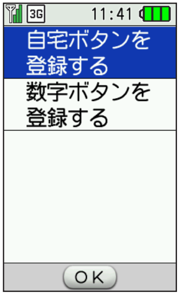
- 以下の検索方法から選択できます。
  - 「一覧で表示する」：タブリスト表示で検索する
  - 「ヨミガナ検索」：ヨミガナを入力して検索する
  - 「あかさたな別」（初回起動時）：タブリストで表示し、ヨミガナを入力して検索する
  - 「グループ検索」：グループを選択して検索する
- USIMカード内の電話帳を表示している場合は、「グループ検索」は選択できません。
- 次回、電話帳を表示するときは、最後に選択した検索方法で表示されます。

自宅ボタン／ワンタッチダイヤルを設定する

自宅ボタンを登録する

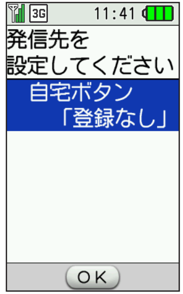
自宅の電話番号を登録しておくと、ワンタッチで電話がかけられます。すぐに自宅へ連絡できて安心です。

1 **OK →「設定をする」→ OK →「ワンタッチダイヤルを登録する」→ OK**



ワンタッチダイヤル設定画面

2 「自宅ボタンを登録する」→ OK



自宅ボタン画面

3 **「自宅ボタン」→ OK →「電話帳から選ぶ」→ OK**

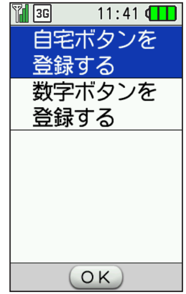
- 「新しく登録する」を選択した場合は、電話帳の新規登録と同様に名前や電話番号を登録します。

4 **電話帳を選択 → OK（3回）→ 切**

ワンタッチダイヤルを登録する

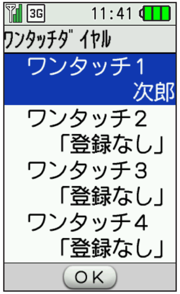
ワンタッチダイヤルに登録すると、ワンタッチボタンで相手先を呼び出して簡単に電話をかけられます。

1 **OK →「設定をする」→ OK →「ワンタッチダイヤルを登録する」→ OK**



ワンタッチダイヤル設定画面

2 「数字ボタンを登録する」→ OK



ワンタッチダイヤル一覧画面

3 **未登録のワンタッチボタンを選択 → OK → 「電話帳から選ぶ」→ OK**

・「新しく登録する」を選択した場合は、電話帳の新規登録と同様に名前や電話番号、メールアドレスなどを登録します。

4 **電話帳を選択 →（3回）→ 切**

ワンタッチダイヤルの表示を設定する

待受画面の下部に、ワンタッチボタンの登録内容を表示することができます。

1 **OK →「設定をする」→ OK →「待受画面を設定する」→「ワンタッチダイヤルの表示を設定する」→ OK**

2 **「表示する」／「表示しない」→ OK（2回）**

文字入力に関する便利な機能

単漢字に変換したい

例：「鱸」（すずき）を入力する

文字の入力画面で「すずき」を入力→ [便利] →変換候補の中から「鱸」を選択→ OK

・入力画面に「単漢字」が表示されない場合は、単漢字に変換できません。

入力した文字をカナ変換したい

例：「スズキ」を入力する

文字の入力画面で「すずき」を入力→ [便利] →変換候補の中から「スズキ」を選択→ OK

・入力画面に「カナ」が表示されない場合は、カナに変換できません。

変換予測／フレーズ予測を利用して入力したい

文字を入力したとき、次に続く単語を予測して先読み候補を表示します。

■変換予測を利用する

例：「お母さん」を入力する

文字の入力画面で [1あ]（5回）→ [2か] → [写真] →「お母さん」を選択→ OK

■フレーズ予測を利用する

例：一度確定したフレーズ「渋谷で待ち合わせ」をもう一度入力する

文字の入力画面で「し」を入力→ [写真] →「渋谷」を選択→ OK → [写真] →「で」を選択→ OK → [写真] →「待ち合わせ」を選択→ OK

入力中の文章に電話帳の情報などを挿入したい

文字の入力画面で [Y!]

■電話帳の情報を引用する

「電話帳を挿入」→ (OK) →電話帳を選択→ (OK) →引用したい項目を選択→ (OK)

■その他の情報を引用する

「例文を挿入」／「個人情報を挿入」→ (OK) →例文／個人情報の項目を選択→ (OK)

電話帳に関する便利な機能

表示する電話帳を切り替えたい

電話帳一覧画面で [Y!] →「USIM電話帳へ」／「本体電話帳へ」→ (OK)

電話帳を編集したい

電話帳一覧画面で電話帳を選択→ (OK)

■名前／ヨミガナ／電話番号／メールアドレスを編集する

項目選択→ [Y!] →「編集する」→ (OK) →項目を編集→ (OK) → [辞書] →「上書きする」／「新規登録する」→ (OK)（2回）

・詳細情報として追加した電話番号／メールアドレスも同様の手順で編集できます。

■グループ設定を編集する

グループを選択→変更後のグループを選択→ (OK) → [辞書] →「上書きする」／「新規登録する」→ (OK)（2回）

■個別の着信音を設定する

「専用の着信音」→ (OK) →「電話着信音を個別に設定する」／「メール受信音を個別に設定する」→ (OK) →「音の種類」→ (OK) →「内蔵メロディ」／「本体」／「メモリカード」／「通常と同じ」→ (OK) →メロディを選択→ (OK) → [辞書]（2回）→「上書きする」／「新規登録する」→ (OK)（2回）

・「本体」／「メモリカード」から選ぶ場合は、メロディを選択したあとに (OK) を2回押します。

■個別のメール受信音の鳴動時間を設定する

「専用の着信音」→ (OK) →「メール受信音を個別に設定する」→ (OK) →「音を鳴らす時間」→ (OK) →「時間を指定する」→ (OK) →時間を入力→ (OK) → [辞書]（2回）→「上書きする」／「新規登録する」→ (OK)（2回）

・メロディを1周期鳴らす場合は、「音を鳴らす時間」を設定する画面で「一回再生」を選択します。

電話帳の内容をコピーしたい

■本体からUSIMカードへコピーする

本体の電話帳一覧画面で [Y!] →「USIMへコピー」→ (OK) →「コピーする」→ (OK)（2回）

■USIMカードから本体へコピーする

USIMの電話帳一覧画面で [Y!] →「本体へコピー」→ (OK)（2回）

電話帳を削除したい

■1件削除する

電話帳一覧画面で電話帳を選択→ [Y!] →「削除する」→「1件削除する」→ (OK) →「削除する」→ (OK)（2回）

■全件削除する

電話帳一覧画面で電話帳を選択→ [Y!] →「削除する」→「全て削除する」→ (OK) →操作用暗証番号を入力→「削除する」→ (OK)（2回）

自宅ボタンに関する便利な機能

登録済みの自宅ボタンを変更したい

自宅ボタン画面→ (OK) → [辞書] →「電話帳から選ぶ」→ (OK) →電話帳を選択→ (OK)（3回）

・「新しく登録する」を選択した場合は、電話帳の新規登録と同様に名前や電話番号を登録します。

自宅ボタンの設定を削除したい

自宅ボタン画面→ (OK) → [Y!] →「削除する」→ (OK)（3回）

ワンタッチダイヤルに関する機能

登録済みのワンタッチダイヤルを変更したい

ワンタッチダイヤル一覧画面で登録済みのワンタッチダイヤルを選択→ OK → 辞書→「電話帳から選ぶ」→ OK →電話帳を選択→ OK （3回）

- 「新しく登録する」を選択した場合は、電話帳の新規登録と同様に名前や電話番号、メールアドレスを登録します。

ワンタッチダイヤルの設定を削除したい

ワンタッチダイヤル一覧画面で登録済みのワンタッチダイヤルを選択→ OK → Y! →「削除する」→ OK →「削除する」→ OK （2回）

3 電話

電話について

音声電話

いろいろな電話とお話しできます。

- 転送電話／留守番電話など、便利なオプションサービスも利用できます。

国際電話

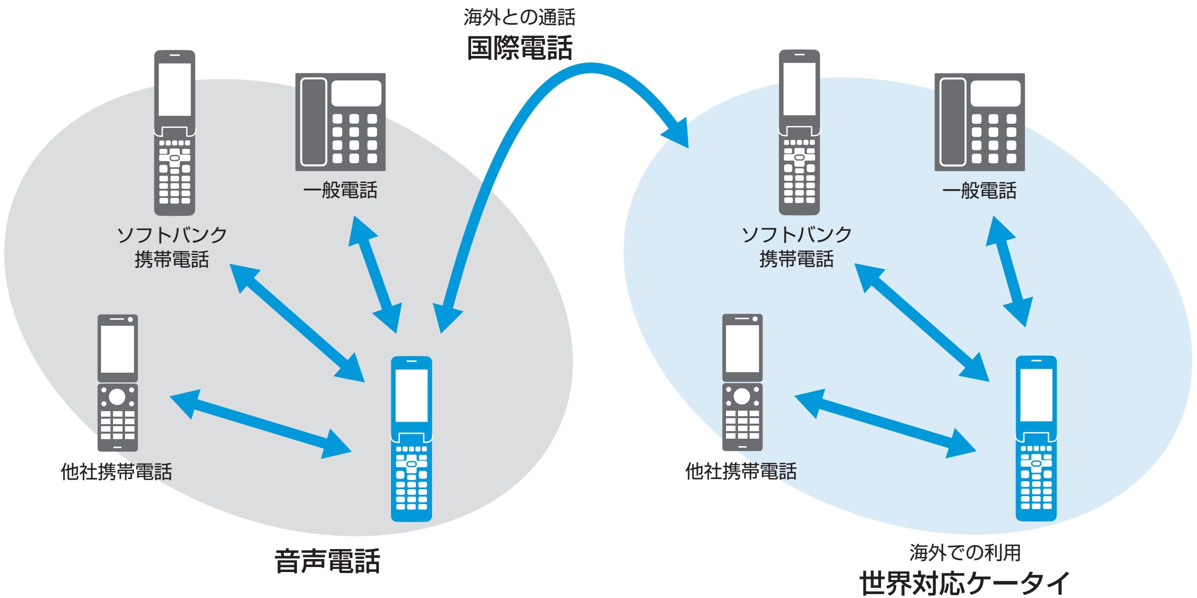
音声電話をかけたり、受けたりすることができます。

- 国際電話については、「7章 国際電話を利用する」を参照してください。

世界対応ケータイ

お使いのソフトバンク携帯電話の電話番号をそのまま海外でも利用できます。

- サービスの詳細については、お問い合わせ先（P.12-18）までご連絡ください。

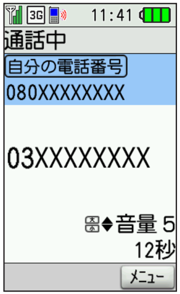


自分の電話番号を確認する

1 **(OK)→「電話機能を使う」→(OK)→「自分の電話番号を見る」→(OK)**

・(OK)→(0) で確認することもできます。

- 複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合など、詳細な情報を見る場合は (OK) を押します。
- 音声通話中は画面に「自分の電話番号」が表示されます。



自分の電話番号画面

緊急通報について

操作規制中や発着信規制設定中でも、110番(警察)、119番(消防・救急)、118番(海上保安本部)へは発信することができます。次の場合に緊急通報できます。

- PIN入力画面
- PINロック
- PUKロック
- USIM未挿入
- 圏外
- USIMロック
- キー操作ロック
- 安心遠隔ロック

海外での緊急通報

無線ネットワークや無線信号、携帯電話の機能設定状態、USIMカードの状態によって動作が異なるため、すべての国や地域での接続を保証するものではありません。

緊急通報位置通知について

「緊急通報位置通知」とは、本機から緊急通報を行った場合、発信した際の位置情報を緊急通報受理機関(警察など)に対して通知するシステムです。

通知する位置情報は基地局情報※とGPS測位情報があります。本機はGPS測位に対応しているため、発信場所などによってGPS測位機能が利用できる場合は、GPS測位情報を通知します。本機が通知したGPS測位情報は、位置履歴に残ります。

※基地局情報の精度は、数100m～10km程度となります。また、実際の位置とは異なった位置情報が通知される場合があります(遠方の基地局電波を受信した場合など)。

- GPS測位情報を通知した場合は、測位情報が位置履歴(P.8-8)に保存されます。
- 発信場所や電波の受信状況により、正確な位置が通知されないことがあります。緊急通報受理機関に対して、必ず口頭で発信場所や目標物をお伝えください。
- 「184」をつけて発信するなど、発信者番号を非通知にして緊急通報を行ったときは、位置情報は通知されません。ただし、緊急通報受理機関が人の生命などに差し迫った危険があると判断した場合には、同機関が発信者の位置情報を取得する場合があります。
- 申込料金、通信料は一切必要ありません。
- 海外で世界対応ケータイをご利用中は対象外となります。

電話をかける

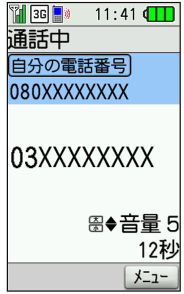
日本国内で音声電話をかける操作を説明します。

1 電話番号を市外局番から入力

- 間違えて入力したときは、[戻る]を押すと右端から1桁ずつ消去できます。また、[◀電話]／[メール▶]で間違えた場所の前へ移動し[戻る]を押すと、すぐ後ろの数字から1桁ずつ消去できます。
- [戻る]を長く（1秒以上）押すか、[切]で待受画面に戻ることができます。
- 電話帳から電話をかける方法については、「電話帳から電話をかける」（P.2-14）を参照してください。



2 [通話]

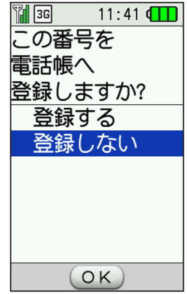


- 通話中に[大]／[小]または[便利]／[写真]を押して、受話音量を調節できます。

3 [切]→通話終了

4 [OK]

- 電話帳にない番号に電話をかけた場合、通話終了後に次の画面が表示されます。いずれかを選択して[OK]を押してください。「登録する」を選択した場合の登録方法は、「電話帳に登録する」（P.2-9）を参照してください。



- 本機の通信用アンテナは本体に内蔵されているため、アンテナの突起がありません。内蔵アンテナ部分（P.1-3）を手で触れたりおおったりすると電波感度が弱まる場合があります。特に、内蔵アンテナ部分にシールなどを貼らないでください。電波感度が弱まると、発着信、メールの送受信、ウェブの接続ができなくなる場合があります。
- 本機の向きや位置によって通話品質が変わることがあります。

自宅ボタンで電話をかける

自宅ボタンに登録した自宅に電話をかけます。

1 [切] **を押して待受画面を表示**

2 [自宅]

- 自宅ボタンが登録されていない場合、登録確認の画面が表示されます。登録する場合は「電話帳から選ぶ」／「新しく登録する」のいずれかを選択して [OK] を押すと登録画面が表示されます。登録方法は「自宅ボタンを登録する」（P.2-15）を参照してください。登録しない場合は [切] で待受画面に戻ることができます。

3 **「発信する」→** [OK]

- 相手が電話を受けると、通話できます。

4 [切] **→通話終了**

5 [OK]

ワンタッチダイヤルで電話をかける

ワンタッチダイヤルに登録した相手に電話をかけます。

1 [切] **を押して待受画面を表示**

2 [1]／[2]／[3]／[4]

- ワンタッチダイヤルが登録されていない場合、登録確認の画面が表示されます。登録する場合は「電話帳から選ぶ」／「新しく登録する」のいずれかを選択して [OK] を押すと登録画面が表示されます。登録方法は「ワンタッチダイヤルを登録する」（P.2-15）を参照してください。登録しない場合は [切] で待受画面に戻ることができます。

3 **「電話をかける」→** [OK]

- 相手が電話を受けると、通話できます。

4 [切] **→通話終了**

5 [OK]

以前かけた電話番号にもう一度かける（リダイヤル）

以前かけた電話番号を、発信履歴から選んで電話をかけます。

1 [電話]

2 **「発信履歴を見る」→** [OK]

3 **かけたい番号の履歴を選択→** [OK]

4 [OK]

- 相手が電話を受けると、通話できます。

5 [切] **→通話終了**

6 [OK]

音声電話がかかってくると、サブディスプレイが点灯し、お知らせランプ [電話]（電話）が点滅します。

1 **本機を開き、番号を確認する**

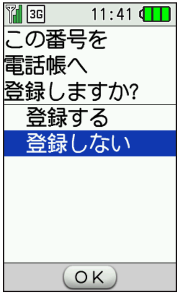
- 着信中に [大]／[小] または [便利]／[写真] を押して、着信音量を調節できます。着信音の音量設定を変更する場合は、11-3ページを参照してください。

2 [通話]

3 [切] **→通話終了**

4 [OK]

- 電話帳にない電話番号から電話を受けた場合、通話終了後に次の画面が表示されます。いずれかを選択して [OK] を押してください。「登録する」を選択した場合の登録方法は、「電話帳に登録する」（P.2-9）を参照してください。



着信を保留にする

1 **着信中に 切**
- 電話をかけてきた相手には、応答保留中のメッセージが流れます。
- 応答保留中でも、電話をかけてきた相手には通話料金がかかります。
- 応答保留中の通話に出る場合は、通話 または OK を押します。
- 応答保留中の通話を終了する場合は、再度 切 を押します。

電話の留守録を利用する

電話に出られないとき、本機で相手の用件を録音できるようにします。

電話の留守録を設定する

電話に出られないときに、自動的に留守録に切り替わるように設定できます。

1 **OK →「電話機能を使う」→ OK**

2 **「留守番電話を聞く」→ OK**

3 **「電話の留守録を設定する」→ OK**

4 **「留守録を設定する」→ OK**

5 **「設定する」→ OK（2回）**
- 電話に出られなかったとき、応答メッセージが再生されたあと録音が始まります。
- 録音可能時間が経過するか、通話が終了すると自動的に停止します。
- 電話の留守録で応答するまでの時間を変更するときは、以下の操作を行います。
  OK →「電話機能を使う」→ OK →「留守番電話を聞く」→ OK →「電話の留守録を設定する」→ OK →「留守録が応答するまでの時間」→ OK →時間を設定→ OK（2回）

- 割込通話では電話の留守録を使用できません。
- 録音されたメッセージが5件になると録音できません。メッセージを削除してください（P.3-12）。
- 電源を切っているときや電波の届かない状態では利用できません。この場合は、オプションサービスの留守番電話サービスのご利用をおすすめします（P.3-9）。

着信中に電話の留守録を設定する

1 **着信中に Y!**

2 **「留守番電話」→ OK**

録音されたメッセージを再生する

■未再生のメッセージを再生する

未再生のメッセージがある場合は、待受画面に未再生のメッセージの件数が表示され、電話 が点滅します。

1 **電話 →「電話の留守録」→ OK**

2 **未再生のメッセージを選択→ OK**

メッセージが再生されます。
- 再生中に OK を押すと、再生を一時停止できます。再生を再開するには、もう一度 OK を押してください。
- 続けて他のメッセージを再生する場合は、戻る を押すと留守番電話の録音画面に戻ります。
- 一度再生したメッセージは、カセットアイコンの色が赤からグレーに変わります。

■再生済みのメッセージを再生する

1 **OK →「電話機能を使う」→ OK**

2 **「留守番電話を聞く」→ OK**

3 **「電話の留守録を聞く」→ OK**

4 **再生済みのメッセージを選択→ OK**

メッセージが再生されます。
- 再生中に OK を押すと、再生を一時停止できます。再生を再開するには、もう一度 OK を押してください。
- 続けて他のメッセージを再生する場合は、戻る を押すと留守番電話の録音画面に戻ります。

- メッセージが5件録音された状態で「電話の留守録を聞く」を選択すると、「録音件数が一杯です　録音データをいくつか削除して下さい」というメッセージが表示されます。 OK を押すとメッセージが消えるので、録音されたメッセージを再生したあと、不要なメッセージを削除してください（P.3-12）。

着信を拒否する

1 **着信中に Y!**

2 **「着信拒否する」→ OK**

通話が終了します。
電話をかけてきた相手には「相手側の都合により通話できません」というメッセージが表示されます。

- 相手先の種類や電話番号によって着信を拒否するよう設定することもできます（P.9-7）。

通話中の操作

受話音量を調整する

1 **音声電話通話中画面で 大 ／ 小 または 便利 ／ 写真**

- 通話中に音量を変更した場合、受話音量の設定も変更されます。

スピーカーで相手の声を聞く

1 **音声電話通話中画面で Y!**

2 **「スピーカーで聞く」→ OK**

相手の声がスピーカーから聞こえるようになります。

- 受話口からの出力に戻すときは、OK を押してください。 Y! →「受話口で聞く」→ OK でも受話口からの出力に戻すことができます。

発信履歴／着信履歴を確認する

発信履歴を確認する

1 **OK →「電話機能を使う」→ OK**

2 **「電話をかけた履歴を見る」→ OK**

着信履歴を確認する

1 **OK →「電話機能を使う」→ OK**

2 **「電話を受けた履歴を見る」→ OK**

オプションサービスの概要

次のサービスが利用できます。

転送電話サービス	圏外時や電話に出られないとき、あらかじめ指定した電話番号へ転送します。
留守番電話サービス	圏外時や電話に出られないとき、留守番電話センターで伝言をお預かりします。
割込通話サービス	通話中にかかってきた電話を受けることができます。
発信者番号通知サービス	お客様の電話番号を相手に通知したり、通知しないようにしたりします。

- 転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に設定することはできません。
- 通話中の一時保留をご利用になるには、「割込通話サービス」（P.3-10）へのお申し込みが必要です。万一、何らかの損害がお客様に発生した場合でも、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- サービスによっては、別途お申し込みが必要です。各サービス内容やお申し込みなど詳しくは、「ソフトバンクモバイルホームページ」を参照してください。

転送電話サービス

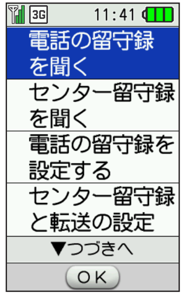
転送電話サービスを開始する

電話帳に登録している電話番号に、「呼出あり」で転送する方法を例に説明します。

- 「1」「00」「0120」「0990」から始まる電話番号は、転送先として登録できません。

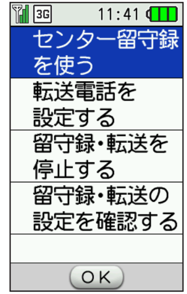
1 OK →「電話機能を使う」→ OK

2 「留守番電話を聞く」→ OK



通話サービス設定画面

3 「センター留守録と転送の設定」→ OK



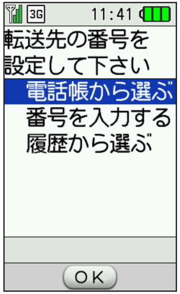
留守番電話・転送画面

4 「転送電話を設定する」→ OK

5 「呼出あり」→ OK

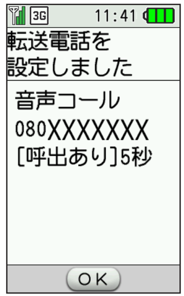
- 着信音を鳴らさずに電話を転送するときは「呼出なし」を選択します。

6 呼出の秒数を選択→ OK



7 「電話帳から選ぶ」→ OK →転送先の電話番号を選択→ OK（3回）

- 電話番号を直接入力して登録するときは、以下の操作を行います。
「番号を入力する」→ OK →電話番号を入力→ OK（2回）
- 通話履歴から登録するときは、以下の操作を行います。
「履歴から選ぶ」→ OK →「かけた履歴」／「受けた履歴」／「不在着信の履歴」→ OK →転送先を選択→ OK（2回）



8 OK

- 転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に設定することはできません。
- すでに留守番電話サービスが開始されているときに転送電話サービスを開始すると、留守番電話サービスは停止されます。
- 転送電話サービス開始後に着信した場合、着信音が鳴っている間に 通話 を押すと、そのまま通話できます。「呼出なし」に設定している場合は、着信は行われず、転送先へ転送されます。

転送電話サービスを停止する

1 留守番電話・転送画面で「留守録・転送を停止する」→ OK（2回）

留守番電話サービス

留守番電話サービスを開始する

「呼出あり」で留守番電話を利用する方法を例に説明します。

1 留守番電話・転送画面で「センター留守録を使う」→ OK

2 「呼出あり」→ OK

3 応答時間を選択→ OK（2回）

- 転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に設定することはできません。
- すでに転送電話サービスが開始されているときに留守番電話サービスを開始すると、転送電話サービスは停止されます。
- 留守番電話サービス開始後に着信した場合、着信音が鳴っている間に 通話 を押すと、そのまま通話できます。「呼出なし」に設定している場合は、着信は行われず、留守番電話センターへ転送されます。
- 留守番電話サービスには、応答メッセージの録音や不在案内メッセージの利用など、いろいろな機能があります。

着信お知らせ機能

電源を切っているときや圏外にいるときの着信を留守番電話センターで記憶し、電波の届く状態になったときにお知らせを表示します。

- 留守番電話サービスを開始しているときだけ有効になります。

1 「1414」を入力→ 通話

- 以降は、アナウンスに従って操作してください。

伝言メッセージを聞く

1 通話サービス設定画面で「センター留守録を聞く」→ OK

- 以降は、アナウンスに従って操作してください。

留守番電話サービスを停止する

1 留守番電話・転送画面で「留守録・転送を停止する」→ OK（2回）

割込通話サービス

割込通話サービスを設定する

1 通話サービス設定画面で「割込通話を設定する」→ OK

2 「設定する」→ OK

- 割込通話サービスを解除する場合は「設定しない」、設定状況を確認したい場合は「設定を確認する」を選択します。

3 OK

通話中にかかってきた電話を受ける

1 通話中に割込通話着信音が聞こえる→ 通話

通話中の相手が保留になり、割込の電話とつながります。

- 以下の操作でも、通話中にかかってきた電話を受けられます。
  Y! →「着信を応答」→ OK
- 通話中だった相手との通話を終了して、割込の電話に応答したい場合は、以下の操作を行います。
  Y! →「終話して応答」→ OK

通話中の相手を切り替える

1 割込通話中に Y! →「通話を切替」→ OK

- 上記の操作を行うたびに、通話する相手が切り替わります。
- 割込通話中に 切 を押すと、通話中の電話は切れ、保留中の相手との通話が始まります。
- 割込通話中に通話中の相手が電話を切ると、呼び出し音が鳴り、画面に「保留中」と表示されます。 通話 を押すと、保留中の相手との通話になります。

発信者番号通知サービス

電話番号の通知／非通知を事前に設定できます。

1 OK →「安心機能を使う」→ OK

2 「機能・操作を制限する」→ OK

3 「発信者番号の通知を設定する」→ OK

4 「相手に通知する」／「通知しない」→ OK（2回）

発着信規制サービス

本機は発着信規制サービスに対応していません。ただし、機種変更などで使用される場合に、以前の機種で設定していた発着信規制サービスの設定を本機から解除できます。このとき、発着信規制用暗証番号は、以前の機種での契約時に使用していたものを入力します。

発着信規制サービスを解除する

1 通話サービス設定画面で「発着信規制を解除する」→ OK（2回）

2 発着信規制用暗証番号を入力 → OK

- 発着信規制用暗証番号の入力を3回間違えたときは、発着信規制サービスの設定解除ができなくなります。このときは、発着信規制用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。

自分の電話番号に関する機能

入力項目を編集する

1 自分の電話番号画面で OK → 編集したい項目を選択 → Y! →「編集する」→ OK → 情報を編集 → OK → 辞書 → OK

入力項目を削除する

1 自分の電話番号画面で OK → 削除したい項目を選択 → Y! →「内容を消す」→ OK → 辞書 → OK

- 本機の電話番号（一番上に登録されている電話番号）は編集や削除ができません。
- 編集や削除を続けて行う場合は、辞書 を押さずに、次の項目の編集や削除を行います。すべての編集や削除が終わったら 辞書 → OKを押してください。

通話に関する設定

受話音量を調整したい

1 OK →「設定する」→ OK →「電話の音や振動を設定する」→ OK →「通話中の音量を設定する」→ OK → 大 ／ 小 または 便利 ／ 写真 で音量を調整

- 辞書 を押すと実際の音量を確認できます。音を止めるには、もう一度 辞書 を押してください。

2 OK（2回）

特定の相手先にしか発信できないようにしたい

「電話・メールの相手を制限する」（P.9-7）を参照してください。

発信時の操作

以前かけてきた相手にかけ直したい

1 OK →「電話機能を使う」→ OK →「電話を受けた履歴を見る」→ OK →かけ直したい電話番号を選択→ OK（2回）→通話が終わったら 切

- かけ直したい電話番号を選択後 Y! を押すと、番号の通知／非通知を指定してかけ直すこともできます。

出られなかった着信にかけたい

1 OK →「電話機能を使う」→ OK →「不在着信の履歴を見る」→ OK →かけたい電話番号を選択→ OK（2回）→通話が終わったら 切

3

電話

3
電話

電話番号の通知／非通知を指定してかけたい

1 ダイヤル画面で電話番号を入力→ Y! →「番号非通知」／「番号通知」→ OK → 通話 →通話が終わったら 切

通話中の操作

こちらの声を聞こえないようにしたい

1 音声電話通話中画面で Y! →「消音にする」→ OK
- 通話中に消音を解除する場合は、再度 OK を押します。

通話中にプッシュトーンを送りたい

1 音声電話通話中画面で 0 ～ 9 、# 、* のいずれかのボタンを押す

着信時の動作

着信音を設定したい

「着信音を変更する」（P.2-4）を参照してください。

バイブレーターを設定したい

「バイブレーターを設定する」（P.2-4）を参照してください。

発着信履歴

通話履歴を1件削除したい

1 OK →「電話機能を使う」→ OK →「電話をかけた履歴を見る」／「電話を受けた履歴を見る」→ OK →削除したい履歴を選択→ Y! →「削除する」→ OK →「1件削除する」→ OK →「削除する」→ OK（2回）

通話履歴を全件削除したい

1 OK →「電話機能を使う」→ OK →「電話をかけた履歴を見る」／「電話を受けた履歴を見る」→ OK → Y! →「削除する」→ OK →「全て削除する」→ OK →操作用暗証番号を入力→「削除する」→ OK（2回）

電話の留守録

録音されたメッセージを削除したい

1 OK →「電話機能を使う」→ OK →「留守番電話を聞く」→ OK →「電話の留守録を聞く」→ OK →削除したいメッセージを選択→ Y! →「削除する」→ OK →「削除する」→ OK（2回）

転送電話サービス／留守番電話サービス

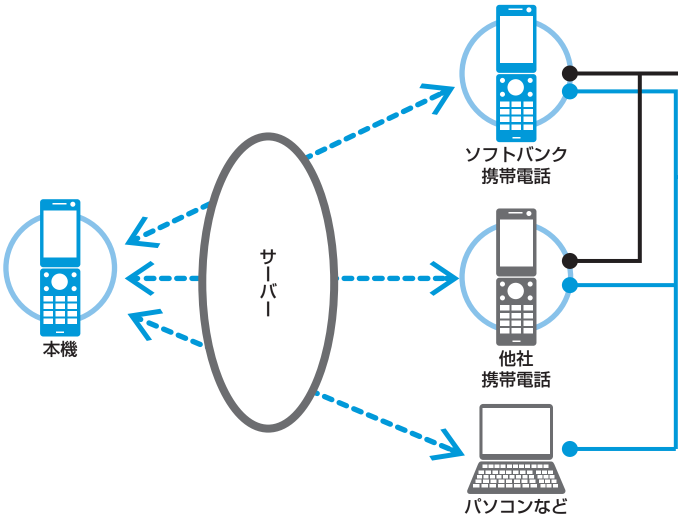
転送電話サービス／留守番電話サービスの設定状況を確認したい

1 OK →「電話機能を使う」→ OK →「留守番電話を聞く」→ OK →「センター留守録と転送の設定」→ OK →「留守録・転送の設定を確認する」→ OK →設定を確認→ OK

4 メール

メールについて

本機で利用できるメールは、次のようなしくみになっています。
・詳しくは、「ソフトバンクモバイルホームページ」を参照してください。



利用できるメール

SMS

携帯電話の電話番号を宛先に、短い文章を手軽に送受信できるメールです。

S!メール（別途契約必要）

メールアドレスを宛先に、パソコンなどとも送受信できるメールです。写真や動画を添付して送信することもできます。
・相手がソフトバンク携帯電話のときは、電話番号でも送受信できます。

■容量の大きいメールの送受信も可能
大きな画像や複数のファイルを添付することも可能です。ただし、お客様のご契約内容により通信料が高額になる可能性がありますので、ご注意ください。

メールは、サーバー経由で送受信されます。
・相手が圏外だったとき、送信したメールはサーバーに保管されて相手が受信するまで繰り返し配信されます。

メール画面の見かた

メール一覧画面の見かた



送信メール一覧の場合、次の項目が表示されます。
※ 1 送信先
※ 2 現在のメール／全件数
※ 3 送信日時

メール本文表示画面の見かた



送信メール一覧の場合、次の項目が表示されます。
※ 1 送信先
※ 2 送信日時

メールアドレスを変更する

S!メールをご利用の場合、パソコンなどとのやりとりに使用するメールアドレスのアカウント名（@の前の部分）をお好きな文字列に変更できます。

- 詳しくは、ソフトバンク3Gケータイサービスガイドをご覧ください。
- この操作は、Yahoo!ケータイを利用します。
- あらかじめネットワーク自動調整を行ってください（P.1-11）。
- ご契約時にはランダムな英数字が設定されています。迷惑メール防止に効果的なメールアドレスにするためにも、半角英数字と記号を使用して少しでも長いメールアドレスへの変更をおすすめします。

メールアドレスを変更する

1 **OK →「メールを読む・送る」→ OK →「メールの設定をする」→ OK →「メールアドレスの確認・変更」→ OK**

2 **「接続する」→ OK**

- 以降の操作は画面の指示に従ってください。

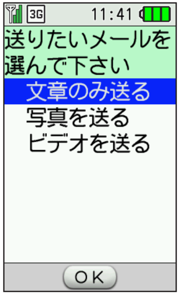
S!メールを送信する

- 相手の携帯電話がS!メールをサポートしていない場合は、絵文字などが正しく表示されないことがあります。
- メモリが不足するとメールを作成できません。不要なメールを削除（P.4-14）してください。一定の容量または件数を超えた送信メールは、自動削除されるように設定されていますが、受信メールを自動削除するかどうかは選ぶことができます（P.4-18）。お買い上げ時は自動削除されるように設定されています。

簡単操作でS!メールを送信する

画面の指示に従ってS!メールを作成します。

1 メール →「メールを送る」→ OK



簡単 S! メール作成画面

- 「メールの作り方を選ぶ」（P.4-18）の設定を「通常メール作成」に変更している場合は、通常S!メール作成画面が表示されます（P.4-6）。

2 **送信対象を選択する**

文章のほか、カメラで撮影した写真／動画や、本機／メモリカードに保存したファイルを送ることができます。

■文章のみを送る

1.「文章のみ送る」→ OK

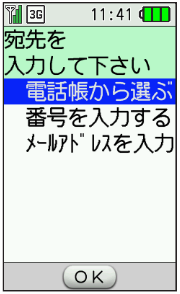
■写真／動画を撮影して添付する

1.「写真を送る」／「ビデオを送る」→ OK
2.「今から撮影する」→ OK →写真を撮影（P.6-3）／動画を撮影（P.6-4）
3.「次へ進む」→ OK

■本機／メモリカードに保存したファイルを添付する

1.「写真を送る」／「ビデオを送る」→ OK
2.「ファイルを選ぶ」→ OK →「本体」／「メモリカード」→ OK →ファイルを選択（P.10-3）
3.「次へ進む」→ OK
   - ファイルによっては、添付できない場合があります。送信できるかどうかは、ファイルの詳細表示で確認できます（P.10-9）。

3 宛先を入力する

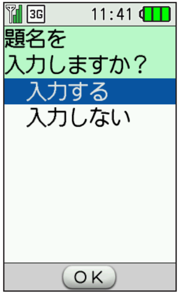


1.「番号を入力する」／「メールアドレスを入力」→ OK →電話番号／メールアドレスを入力→ OK

- 電話帳に登録した相手に送る場合、以下の操作を行います。
  「電話帳から選ぶ」→ OK →相手を選択→ OK →メールアドレス／電話番号を選択→ OK

2.「次へ進む」→ OK

4 題名を入力する

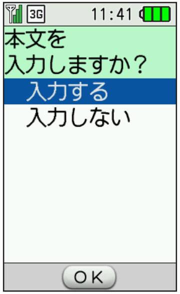


1.「入力する」→ OK →題名を入力→ OK

- 題名を省略する場合は「入力しない」を選択します。

2.「次へ進む」→ OK

5 本文を入力する

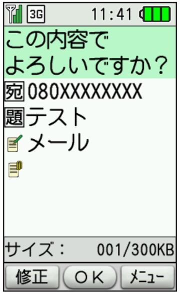


1.「入力する」→ OK →本文を入力→ OK

- 本文を省略する場合は「入力しない」を選択します。

2.「次へ進む」→ OK

6 メールの内容を確認する



簡単 S! メール確認画面

1. 内容を確認→ OK
- 送信前に宛先、題名、本文などを修正する場合は、4-15ページを参照してください。

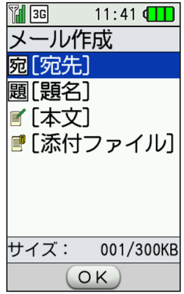
7 送信する

1.「送信する」→ OK

メールが送信されます。

通常操作でS!メールを送信する

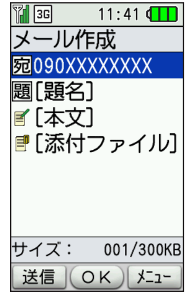
1 メール →「メールを送る」→ OK



通常 S! メール作成画面

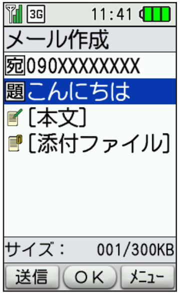
- 「メールの作り方を選ぶ」(P.4-18)の設定を「簡単メール作成」に変更している場合は、簡単S!メール作成画面が表示されます（P.4-4)。

2 宛先欄を選択→ OK →「番号を入力する」／「メールアドレスを入力」→ OK →電話番号／メールアドレスを入力→ OK

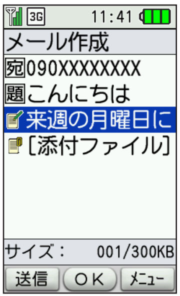


- 電話帳に登録した相手に送る場合、以下の操作を行います。
「電話帳から選ぶ」→ OK →相手を選択→ OK →メールアドレス／電話番号を選択→ OK

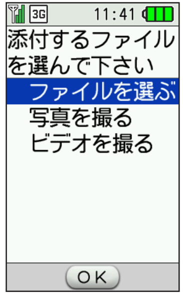
3 題名欄を選択→ OK →題名を入力→ OK



4 本文欄を選択→ OK →本文を入力→ OK

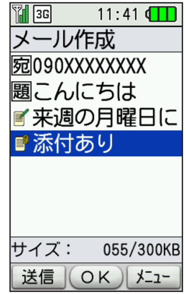


5 添付ファイル欄を選択→ OK



- ファイルを添付しない場合は、手順7に進みます。

6 「ファイルを選ぶ」→ OK →「本体」／「メモリカード」→ OK →保存先を選択→ OK →ファイルを選択（P.10-3）→ OK



- 写真／動画を撮影して添付する場合は、以下の操作を行います。
  「写真を撮る」／「ビデオを撮る」→ OK →写真を撮影（P.6-3）／動画を撮影（P.6-4）
- ファイルによっては、添付できない場合があります。送信できるかどうかは、ファイルの詳細表示で確認できます（P.10-9）。
- 送信前に宛先、題名、本文などを修正する場合は、4-16ページを参照してください。

7 辞書

メールが送信されます。

SMSを送信する

携帯電話の電話番号を宛先に、短い文章（70文字まで）を送信できます。

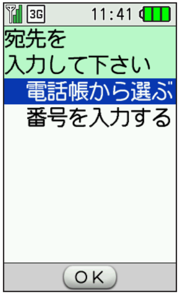
簡単操作でSMSを送信する

画面の指示に従ってSMSを作成します。

1 メール→「SMSを送る」→ OK

- 「メールの作り方を選ぶ」（P.4-18）の設定を「通常メール作成」に変更している場合は、通常SMS作成画面が表示されます（P.4-9）。

2 宛先を入力する

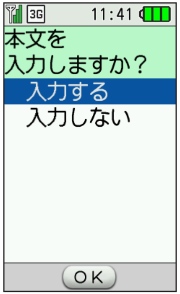


簡単 SMS 作成画面

1.「番号を入力する」→ OK →電話番号を入力→ OK
- 電話帳に登録した相手に送る場合、以下の操作を行います。
  「電話帳から選ぶ」→ OK →相手を選択→ OK →電話番号を選択→ OK

2.「次へ進む」→ OK

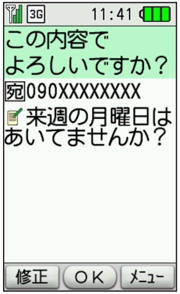
3 本文を入力する



1.「入力する」→ OK →本文を入力→ OK

2.「次へ進む」→ OK

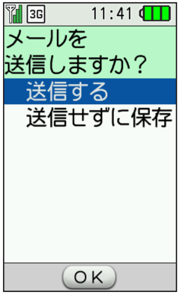
4 SMSの内容を確認する



簡単 SMS 確認画面

1. 内容を確認→ OK

5 送信する



1.「送信する」→ OK

通常操作でSMSを送信する

1 [メール] →「SMSを送る」→ (OK)



通常 SMS 作成画面

- 「メールの作り方を選ぶ」(P.4-18)の設定を「簡単メール作成」に変更している場合は、簡単SMS作成画面が表示されます(P.4-8)。

2 宛先欄を選択→ (OK) →「番号を入力する」→ (OK) →電話番号を入力→ (OK)



- 電話帳に登録した相手に送る場合、以下の操作を行います。
「電話帳から選ぶ」→ (OK) →相手を選択→ (OK) →電話番号を選択→ (OK)

3 本文欄を選択→ (OK) →本文を入力→ (OK)



4 [辞書](送信)

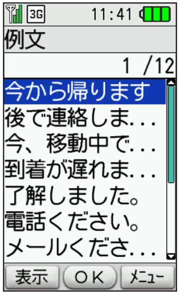
4

メール

例文を使ってS!メールを送信する

あいさつなど、よく使う文章が例文としてあらかじめ用意されています。例文を利用してメールを送信できます。

1 [メール] →「例文メールを送る」→ (OK)



例文選択画面

2 例文を選択→ [辞書] →内容を確認→ (OK)

- 簡単S!メール作成画面または通常S!メール作成画面が表示されます。以降の操作については4-4ページ、4-6ページを参照してください。

- 例文は変更して登録しておくことができます。編集する場合は、以下の操作を行います。
  例文を選択→ [Y!] →「編集する」→ (OK) →文章を変更→ (OK)

ワンタッチダイヤルでS!メールを送信する

ワンタッチダイヤルに登録した相手にS!メールを送信します。

1 [切] を押して待受画面を表示

2 [1]／[2]／[3]／[4]

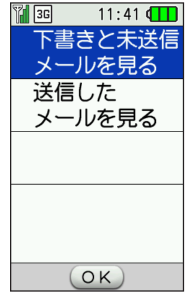
3 「メール（電話番号）」／「メール（アドレス）」→ (OK)

- 簡単S!メール作成画面または通常S!メール作成画面が表示されます。
- 「メール（写メール）」を選択した場合は、写真を撮影（P.6-3）したあと、簡単S!メール作成画面または通常S!メール作成画面が表示されます。
- 以降の操作については4-4ページ、4-6ページを参照してください。

下書き／送信したメールを利用する

作成後に送信せずに保存したメールや、送信されなかったメールを使用して、メールを送信できます。

1 [メール] →「送信メールを見る」→ (OK) →「下書きと未送信メールを見る」



2 (OK) →送信したいメールを選択→ (OK)

- メールの作成画面が表示されます。

■簡単メール作成の場合

1. 修正したい項目画面で「修正する」→ (OK) →内容を修正→ (OK)（簡単S!メール確認画面が表示されるまで）→ (OK) →「送信する」→ (OK)

■通常メール作成の場合

1. 項目を選択→ (OK) →内容を修正→ (OK) → [辞書]

新着メールを確認する

メールを受信すると、受信音などとともに、アニメーションが表示されます。受信したメールは「受信したメールを見る」で確認できます。また、受信したメールが未読の場合は、お知らせ画面で確認できます。

- S!メールを受信した場合は、その情報量や添付ファイルの有無などによって受信方法が異なります。お買い上げ時の受信方法は「自動で受信する」（P.4-18）になっていますので、すべての内容を自動的に受信します。

1 お知らせ画面を確認



2 メール



- 複数の未読メールがある場合は、以下の操作を行います。
  未読メールを選択→ OK

- 新着メールを問い合わせる場合は、以下の操作を行います。
  OK →「メールを読む・送る」→ OK →「メールがきているか問合せる」→ OK
- 待受画面以外を表示中（操作中）にメールを受信した場合は、新着メールをすぐ読むかどうかの確認画面が表示されます。「今すぐ読む」または「後で読む」を選択してください。

受信メールを確認する

1 メール →「受信メールを読む」→ OK



2 メールを選択→ OK

- 添付ファイルの表示／再生方法については、4-14ページを参照してください。

4 メール

受信メールに返信する

宛先が自動的に設定されたメール作成画面が表示されます。
- S!メールの場合は、題名も設定されます。題名には、返信を示す「Re:」がつきます。

1 メール →「受信メールを読む」→ OK

2 メールを選択→ OK



3 辞書 → OK
- メールの新規作成と同様に題名や本文を入力します（P.4-4、P.4-8）。
- 宛先が複数ある受信メールの場合は、「送信者へ返信」または「全員へ返信」を選択します。

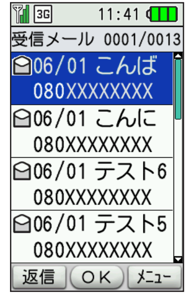
送受信メールを管理／利用する

送受信したメールは、それぞれ「受信メールを読む」「送信メールを見る」から確認できます。また、作成後に送信せずに保存したメールや送信に失敗したメールは「下書きと未送信メールを見る」から確認できます。

- 自動削除設定について
  メールを保存するメモリが足りないと、既読の古いメールから自動的に削除されます。ただし、保護されたメール（P.4-14）は削除されません。
  受信メールを自動削除したくない場合は、「古い受信メールを自動削除する」（P.4-18）を「自動削除しない」に設定してください。
  ただし、この場合は、メールが送られてきたときに保存するメモリが足りないと、警告メッセージが表示され、メールを受信できません。メモリに空きがなくなったときは、待受画面に が表示されますので、不要なメールを削除してください（P.4-14）。
- メモリ不足により受信できなかったS!メールは、メモリに空きができるまでリトライ機能による再配信がされません。

受信メールを一覧表示する

1 メール →「受信メールを読む」→ OK
- 振り分けられた迷惑メールの一覧を見る場合は、「迷惑メールを見る」を選択します。



メール一覧画面

■受信メールのアイコン

	未読メール（添付なし）
	未読メール（添付あり）
	既読メール（添付なし）
	既読メール（添付あり）
	未読S!メール通知
	既読S!メール通知
	保護メール

作成したメールを一覧表示する

1 メール → 「送信メールを見る」→ OK

2 「下書きと未送信メールを見る」／「送信したメールを見る」→ OK

■送信メールのアイコン

	送信メール（添付なし）
	送信メール（添付あり）
	送信失敗メール（添付なし）
	一部送信失敗メール（添付なし）
	送信失敗メール（添付あり）
	保護メール

■未送信メールのアイコン

	送信予約メール
	送信中メール（添付なし）
	送信中メール（添付あり）
	送信失敗メール（添付なし）
	送信失敗メール（添付あり）

■下書きメールのアイコン

	下書きメール（添付なし）
	下書きメール（添付あり）

メールを転送する

受信したメールの題名、本文、添付ファイルを流用してメールを作成できます。
- S!メールの場合は題名も設定されます。題名には転送を示す「Fw：」がつきます。

1 メール一覧画面でメールを選択→ Y! →「転送する」→ OK
- メール本文や、添付されていた場合には添付ファイルが添付されたメール作成画面が表示されます。
- 以降の操作については4-4ページ、4-8ページを参照してください。

メール内の電話番号／メールアドレス／URLを利用する

メール本文に記載されている電話番号などを利用して、電話をかけたり、メールを送信したりできます。

1 メール一覧画面でリンク情報（電話番号、メールアドレス、URL）を含むメールを表示→リンク情報を選択→ OK
- 利用できるリンク情報は、青文字で表示されています。

選択した電話番号に電話をかける

1 「電話をかける」→ OK → 通話

選択した電話番号／メールアドレスにメールを送信する

1 「メールを作る」→ OK →メール作成画面
- 以降の操作は、「メール送信」（P.4-4）を参照してください。

選択した電話番号／メールアドレスを電話帳に登録する

1 「電話帳に登録」→ OK →「新規登録する」／「追加登録する」→ OK →電話帳登録画面
- 以降の操作は、「電話帳に登録する」（P.2-9）を参照してください。

インターネットに接続する

1 「接続する」→ OK

メールを保護する

1件保護する

1 メール一覧画面でメールを選択→ Y! →「保護・解除」→ OK

2 「1件」→ OK →「保護する」→ OK（2回）

全件保護する

1 メール一覧画面でメールを選択→ Y! →「保護・解除」→ OK

2 「全て」→ OK →「保護する」→ OK →「保護する」→ OK（2回）

- 保護を解除するときは「解除する」を選択します。
- 下書きメールと未送信メールは保護できません。

メールを削除する

1件削除する

1 メール一覧画面で削除したいメールを選択→ Y! →「削除する」→ OK

2 「1件削除する」→ OK →「削除する」→ OK（2回）

全件削除する

1 メール一覧画面で Y! →「削除する」→ OK →「全て削除する」→ OK

2 操作用暗証番号を入力→「削除する」→ OK（2回）

添付ファイルを利用する

1 メール一覧画面でファイルが添付されているメールを表示→ファイルを選択→ OK

表示／再生する

1 「表示する」／「再生する」→ OK

保存する

1 「保存する」→ OK →ファイル名を入力→ OK →「本体」／「メモリカード」→ OK

- 添付ファイルの種類によって、「表示する」または「再生する」が表示されます。ファイルによっては正しく表示／再生できない場合があります。
- ファイルによってはコンテンツキー（コンテンツの使用権）を取得しないと表示／再生できません。また、コンテンツキー以外の理由で表示／再生できない場合、「保存する」を選択すると、10-3ページの方法で再生できる場合があります。
- ファイルによっては保存できない場合があります。

簡単S!メール／SMS作成時に利用できる機能

宛先を追加する

1 **簡単S!メール確認画面／簡単SMS確認画面で 辞書 →「宛先」→ OK →「宛先を追加する」→ OK →宛先を入力→ OK →「次へ進む」→ OK →「修正を完了する」→ OK**

- 宛先の入力方法については4-5ページ、4-8ページを参照してください。

宛先を削除する

1 **簡単S!メール確認画面／簡単SMS確認画面で 辞書 →「宛先」→ OK →「宛先を削除する」→ OK →「削除する」→ OK（2回）**

- 削除後に宛先が1件も入力されていない場合は、「宛先を追加する」以外の項目を選択できません。選択後、宛先を追加してください。
- 複数の宛先がある場合は、以下の操作を行います。
  「宛先を削除する」→ OK →削除する宛先を選択→ OK →「削除する」→ OK（2回）

宛先を編集する

1 **簡単S!メール確認画面／簡単SMS確認画面で 辞書 →「宛先」→ OK →「宛先を編集する」→ OK →宛先を編集→ OK →「次へ進む」→ OK →「修正を完了する」→ OK**

- 複数の宛先がある場合、以下の操作を行います。
  「宛先を編集する」→ OK →編集する宛先を選択→ OK →宛先を編集→ OK →「次へ進む」→ OK →「修正を完了する」→ OK

宛先のタイプ（To／Cc／Bcc）を変更する

1 **簡単S!メール確認画面で辞書 →「宛先」→ OK →「Toへ変更する」／「Ccへ変更する」／「Bccへ変更する」→ OK（3回）**

- 「Cc」に設定した宛先にはメールのコピーが送信され、その宛先が他の宛先にも表示されます。「Bcc」に設定した宛先にはメールのコピーが送信され、その宛先が他の宛先には表示されません。

題名を編集する

1 **簡単S!メール確認画面で 辞書 →「題名」→ OK →題名を編集→ OK →「次へ進む」→ OK**

本文を編集する

1 **簡単S!メール確認画面／簡単SMS確認画面で 辞書 →「本文」→ OK →本文を編集→ OK →「次へ進む」→ OK**

添付ファイルを追加／削除する

■添付ファイルを追加する

1 **簡単S!メール確認画面で 辞書 →「添付」→ OK →「添付を追加する」→ OK →ファイルを選択／写真や動画を撮影→ OK →「次へ進む」→ OK →「修正を完了する」→ OK**

- ファイルの選択方法については4-4ページを、写真／動画の撮影方法については6-3ページ、6-4ページを参照してください。

■添付ファイルを1件／全件削除する

1 **簡単S!メール確認画面で 辞書 →「添付」→ OK →「添付を削除する」→ OK →「はい」→ OK（2回）→「修正を完了する」→ OK**

- 複数のファイルが添付されている場合は、「添付を削除する」を選択したあとに、削除する添付ファイルを選択します。
- 複数のファイルが添付されている場合は、以下の操作でファイルの内容を確認できます。
  ファイルを選択→ OK →「表示する」

送信せずに下書きとして保存する

1 簡単S!メール確認画面で OK →「送信せずに保存」→ OK （2回）

通常S!メール／SMS作成時に利用できる機能

宛先を追加する

1 通常S!メール作成画面／通常SMS作成画面で宛先欄を選択→ OK → Y! →「追加する」→ OK →宛先を入力→ OK → 辞書

- 宛先の入力方法については4-6ページ、4-9ページを参照してください。

宛先を削除する

■1件削除する

1 通常S!メール作成画面／通常SMS作成画面で宛先欄を選択→ OK → Y! →「削除する」→ OK →「1件削除する」→ OK （2回）

■全件削除する

1 通常S!メール作成画面／通常SMS作成画面で宛先欄を選択→ OK → Y! →「削除する」→ OK →「全て削除する」→ OK （2回）

宛先を編集する

1 通常S!メール作成画面／通常SMS作成画面で宛先欄を選択→ OK →宛先を選択→ OK （2回）→宛先を編集→ OK → 辞書

宛先のタイプ（To／Cc／Bcc）を変更する

1 通常S!メール確認画面で宛先欄を選択→ OK → Y! →「Toへ変更」／「Ccへ変更」／「Bccへ変更」→ OK → 辞書

- 「Cc」に設定した宛先にはメールのコピーが送信され、その宛先が他の宛先にも表示されます。「Bcc」に設定した宛先にはメールのコピーが送信され、その宛先が他の宛先には表示されません。

題名を編集する

1 通常S!メール作成画面で題名欄を選択→ OK →題名を編集→ OK

本文を編集する

1 通常S!メール作成画面／通常SMS作成画面で本文欄を選択→ OK →本文を編集→ OK

添付ファイルを追加／削除する

■添付ファイルを追加する

1 通常S!メール作成画面で添付ファイル欄を選択→ OK →ファイルを選択／写真や動画を撮影

・ファイルの選択方法については4-4ページを、写真や動画の撮影方法については6-3ページ、6-4ページを参照してください。

■添付ファイルを1件／全件削除する

1 通常S!メール作成画面で添付ファイル欄を選択→ OK →ファイルを選択 → Y! →「削除する」→ OK →「1件削除する」／「全件削除する」→ OK （2回）

・添付ファイルの内容を確認する場合は、以下の操作を行います。
ファイルを選択→ OK

送信せずに下書きとして保存する

1 通常S!メール作成画面／通常SMS作成画面で Y! →「下書きへ保存」→ OK →「保存する」→ OK （2回）

メール受信／確認に関する便利な機能

S!メールの続きを手動で受信する

1 S!メール通知を選択→ OK →「続きを受信」→ OK

・メールを手動で受信する設定方法については、「メールの受信方法を選ぶ」（P.4-18）を参照してください。

メール管理／利用に関する便利な機能

メール利用に関する機能

■送信者／宛先に電話をかける

1 メール一覧画面でメールを選択→ Y! →「電話をかける」→ OK → 通話

・下書きメールと未送信メールからは電話をかけられません。

■送信したメールを編集して送信する

●簡単メール作成の場合

1 メール →「送信メールを見る」→ OK →「送信したメールを見る」→ OK →メールを選択→ OK → 辞書 → 修正したい項目画面で「修正する」→ OK →内容を修正→ OK （簡単S!メール確認画面／簡単SMS確認画面が表示されるまで）→ OK →「送信する」→ OK

●通常メール作成の場合

1 メール →「送信メールを見る」→ OK →「送信したメールを見る」→ OK →メールを選択→ OK → 辞書 → 項目を選択→ OK →項目を編集→ OK → 辞書

・宛先を追加／編集した場合は 辞書 を押します。

■メールの詳細を確認する

1 メール一覧画面でメールを選択→ OK → Y! →「詳細を見る」→ OK

■迷惑メールに振り分けられたメールを受信メールに移動する

1 メール→「迷惑メールを見る」→ OK →メールを選択→ Y! →「受信メールへ」→ OK →「移動する」→ OK （2回）

メール設定に関する便利な機能

共通操作

待受画面で OK →「メールを読む・送る」→ OK →「メールの設定をする」

文字の大きさを設定する

1 OK →「文字の大きさを設定する」→ OK

2 文字の大きさを選択→ OK （2回）

メールの作り方を選ぶ

1 OK →「メールの作り方を選ぶ」→ OK

2 「簡単メール作成」／「通常メール作成」→ OK （2回）

古い受信メールを自動削除する

1 OK →「古い受信メールを自動削除する」→ OK

2 「自動削除する」／「自動削除しない」→ OK （2回）

メールの受信方法を選ぶ

1 OK →「メールの受信方法を選ぶ」→ OK →「日本でのメール受信方法を選ぶ」／「海外でのメール受信方法を選ぶ」→ OK

2 「自動で受信する」／「手動で受信する」→ OK （2回）

サーバーメールを全て削除する

1 OK →「サーバーメールを全て削除する」→ OK →操作用暗証番号を入力→ OK

2 「削除する」／「削除しない」→ OK

迷惑メールを振り分ける

1 OK →「迷惑メールを振り分ける」→ OK

2 「振り分ける」／「振り分けない」→ OK （2回）

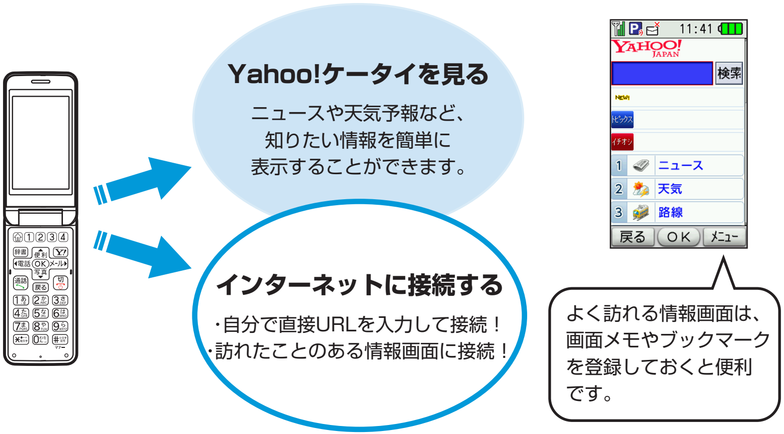
5

インターネット

インターネットのしくみ

本機では、携帯電話専用ポータルサイト「Yahoo!ケータイ」を利用して、手軽にインターネットを楽しむことができます。

- インターネットの利用には、別途ご契約が必要です。また、あらかじめネットワーク自動調整を行ってください。
- 海外では、Yahoo!ケータイを利用できません。



SSL／TLS

SSL／TLSについて

SSL（Secure Sockets Layer）とTLS（Transport Layer Security）とは、データを暗号化して送受信するためのプロトコル（通信規約）です。SSL／TLS接続時の情報画面では、データを暗号化し、プライバシーにかかわる情報やクレジットカード番号、企業秘密などを安全に送受信でき、盗聴、改ざん、なりすましなどのネット上の危険から保護します。本機には、あらかじめ認証機関から発行されたサーバー証明書が登録されていて、確認することもできます（P.5-8）。

SSL／TLS利用に関するご注意

お客様ご自身によるSSL／TLSの利用に際し、ソフトバンクおよび認証会社である合同会社シマンテック・ウェブサイトセキュリティ、サイバートラスト株式会社、エントラストジャパン株式会社、GMOグローバルサイン株式会社、EMCジャパン株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社、株式会社コモドジャパン、Go Daddy, Inc.は、お客様に対しSSL／TLSの安全性などに関して何ら保証を行うものではありません。万一、何らかの損害がお客様に発生した場合でも一切責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承ください。

1 Y!



情報画面

2 項目を選択→ OK

3 閲覧を終了するときは 切 または 戻る →「終了する」→ OK

- 辞書 を押すと前の画面に戻ります。
- 通信中に Y! を押すと、中止できます。

ストリーミングについて

- インターネット上の動画や音声などのデータをダウンロードしながら同時に再生することをストリーミングといいます。
- ストリーミングご利用中は、一時停止した場合でも通信は継続されますのでパケット通信料が発生します。

メインメニューから接続する

1 OK →「便利な機能を使う」→ OK →「インターネットを使う」→ OK

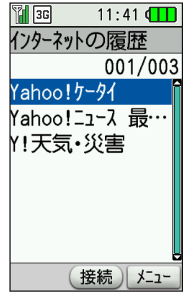


インターネットメニュー画面

2「Yahoo!ケータイを見る」→ OK

インターネットの履歴から接続する

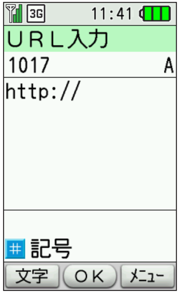
1 インターネットメニュー画面で「閲覧したページの履歴を見る」→ OK



2 履歴を選択→ OK

URLを入力して接続する

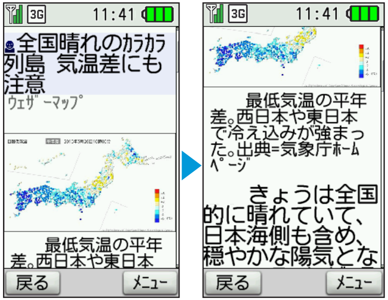
1 インターネットメニュー画面で「URLを入力する」→ (OK)



2 URLを入力→ (OK)（2回）

スクロール／カーソル移動

情報画面内に選択可能な項目がある場合は、[写真]／[便利] や [電話] ／ [メール] でカーソルを移動できます。
[写真]／[便利] を長押しすると、連続して画面がスクロールします。

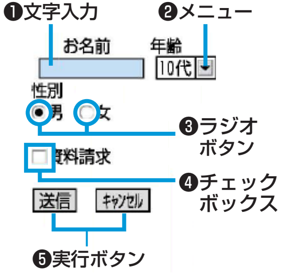


次の画面に進む／前の画面に戻る

表示した情報画面のデータは一時的に本機に記録されています。
情報画面で[辞書]を押すと前の画面に戻り、[Y!]を押して「次のページへ」を選択すると次の画面に進みます。

文字入力、項目選択、ボタンなどの操作

入力欄や選択項目が表示された場合は、次のように操作します。
※下記の画面は実際の画面とは異なります。



❶文字入力
文字入力欄を選択→ (OK) →文字を入力→ (OK)

❷メニュー
メニュー欄を選択→ (OK) →項目を選択→ (OK)

❸ラジオボタン／❹チェックボックス
ラジオボタン（○）やチェックボックス（□）を選択→ (OK)
・ラジオボタン（○）やチェックボックス（□）が（◉）や（☑）に変わります。

❺実行ボタン
実行ボタンを選択→ (OK)

ブックマークを利用する

よく利用する情報画面のブックマークを登録しておくと、簡単な操作でインターネットに接続できます。

ブックマークを登録する

1 情報画面で Y! →「ブックマーク」→ OK

2「登録する」→ OK

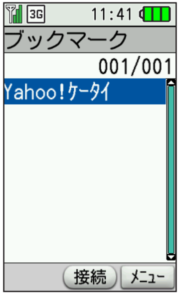
・登録しようとしている情報画面にタイトルがつけられている場合は、タイトルが入力された状態になっています。編集の必要がなければそのまま OK を押してください。

3 タイトルを入力→ OK （2回）

・「登録する」の画面で「一覧を見る」を選択すると登録済みのブックマークを確認できます。

ブックマークから接続する

1 インターネットメニュー画面で「ブックマークを見る」→ OK



ブックマーク一覧画面

2 ブックマークを選択→ OK

画面メモに登録する

よく利用する情報画面を画面メモに登録しておくと、あとでインターネットに接続しなくても簡単に参照できます。

1 情報画面で Y! →「画面メモ」→ OK

2「登録する」→ OK

・登録しようとしている情報画面にタイトルがつけられている場合は、タイトルが入力された状態になっています。編集の必要がなければそのまま OK を押してください。

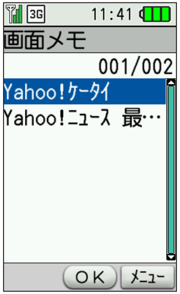
3 タイトルを入力→ OK （2回）

・「登録する」の画面で「一覧を見る」を選択すると登録済みの画面メモを確認できます。

・著作権などの制限により情報が保存できないことがあります。

登録した情報画面を確認する

1 インターネットメニュー画面で「画面メモを見る」→ OK



画面メモ一覧画面

2 画面メモを選択→ OK
- 情報画面から画面メモを利用するときは、以下の操作を行います。
  情報画面で Y! →「画面メモ」→ OK →「一覧を見る」→ OK →画面メモを選択→ OK

インターネット履歴に関する機能

インターネット履歴を1件削除したい

1 インターネットメニュー画面で「閲覧したページの履歴を見る」→ OK

2 項目を選択→ Y! →「削除する」→ OK

3 「1件削除する」→ OK →「削除する」／「削除しない」→ OK（2回）

インターネット履歴を全件削除したい

1 インターネットメニュー画面で「閲覧したページの履歴を見る」→ OK

2 項目を選択→ Y! →「削除する」→ OK

3 「全て削除する」→ OK →操作用暗証番号を入力→「削除する」／「削除しない」→ OK（2回）

インターネット履歴の詳細を確認したい

1 インターネットメニュー画面で「閲覧したページの履歴を見る」→ OK

2 項目を選択→ Y! →「詳細を見る」→ OK

ブックマーク／画面メモに関する機能

ブックマーク／画面メモを1件削除したい

1 ブックマーク／画面メモ一覧画面で項目を選択→ Y! →「削除する」→ OK

2 「1件削除する」→ OK →「削除する」／「削除しない」→ OK（2回）

ブックマーク／画面メモを全件削除したい

1 ブックマーク／画面メモ一覧画面で項目を選択→ Y! →「削除する」→ OK

2 「全て削除する」→ OK →操作用暗証番号を入力→「削除する」／「削除しない」→ OK（2回）

ブックマーク／画面メモのタイトルを変更したい

1 ブックマーク／画面メモ一覧画面で項目を選択→ Y! →「タイトル編集する」→ OK

2 タイトルを編集→ OK（2回）

ブックマーク／画面メモを並べ替えたい

1 ブックマーク／画面メモ一覧画面で項目を選択→ Y! →「並び替える」→ OK

2 移動先を選択→ OK （2回）

ブックマーク／画面メモの詳細を確認したい

1 ブックマーク／画面メモ一覧画面で項目を選択→ Y! →「詳細を見る」→ OK

・タイトル、保存日時（画面メモのみ）、URLが表示されます。

ブックマークをメールで送りたい

1 ブックマーク一覧画面で項目を選択→ Y! →「URLメール送信」→ OK

・以降の操作は、「メール送信」（P.4-4）を参照してください。

情報画面の操作に関する機能

情報画面を最新の内容にしたい

1 情報画面で Y! →「画面を更新」→ OK

情報画面のURLをメールで送りたい

1 情報画面で Y! →「便利な機能」→ OK

2 「URLメール送信」→ OK

・以降の操作は、「メール送信」（P.4-4）を参照してください。

情報画面のファイルを利用したい（ファイル再生・表示／ファイルの保存／詳細確認）

1 情報画面で Y! →「ファイルの保存」→ OK →ファイルを選択→ OK

■ファイルを再生する

「再生・表示する」→ OK

・ファイルによっては正しく表示／再生できない場合があります。

・戻る（3回）で情報画面に戻ります。

■ファイルを保存する

「保存する」→ OK →「本体」／「メモリカード」→ OK （2回）

・著作権などの制限によりファイルが保存できない場合があります。

・戻る（3回）で情報画面に戻ります。

■詳細を確認する

「詳細を見る」→ OK

・戻る（3回）で情報画面に戻ります。

情報画面の表示を変更したい

1 情報画面で Y! →「ブラウザ設定」→ OK

■文字の大きさを変更する

「文字の大きさ」→ OK →大きさを選択→ OK （2回）

■音量を変更する

「音量の調節」→ OK →音量を変更→ OK （2回）

情報画面の詳細を確認したい

1 情報画面で Y! →「便利な機能」→ OK

2 「詳細を見る」→ OK

情報画面に適用されているサーバー証明書を確認したい

1 情報画面で Y! →「便利な機能」→ OK

2 「サーバー証明書」→ OK → 証明書を選択 → OK

Yahoo!ケータイの設定に関する機能

共通操作

待受画面で OK →「便利な機能を使う」→ OK →「インターネットを使う」→ OK →「インターネットの設定をする」→ OK

情報画面に関する設定

■情報画面の文字の大きさを変更する

1 「文字の大きさを設定する」→ OK →大きさを選択→ OK（2回）

■情報画面内の画像やメロディの取得に関する設定をする

1 「画像・音の取得を設定する」→ OK →「画像の取得」／「音の取得」→ OK →「取得する」／「取得しない」→ OK（2回）

重要な設定をする

■製造番号の通知を設定する

1 「重要な設定をする」→ OK →「製造番号を要求された時の設定」→ OK →「通知する」／「通知しない」→ OK（2回）

■ルート証明書を確認する

1 「重要な設定をする」→ OK →「ルート証明書を見る」→ OK →証明書を選択→ OK

■サーバー証明書の表示を設定する

1 「重要な設定をする」→ OK →「サーバー証明書の表示を設定する」→ OK →「表示する」／「表示しない」→ OK（2回）

ダウンロードしたファイルの保存先を設定する

1 「ダウンロードしたファイルの保存場所」→ OK →「本体」／「メモリカード」→ OK（2回）

6 カメラ

カメラ利用時のご注意

カメラについて

- カメラ機能は、一般的なモラルを守ってご使用ください。
- 大切なシーンを撮影されるときは、必ず試し撮りを行い、画像を表示して正しく撮影されていることを確認してください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。
- カメラ機能を利用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合を除き、著作権者（撮影者）などの許可を得ることなく使用したり、転送することはできません。

画像について

- 本機でメモリカードに保存した画像データは、その他の端末では使用できない場合があります。

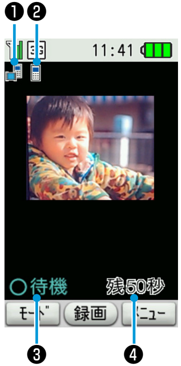
撮影画面の見かた

写真撮影画面で表示されるマーク



❶撮影モード
❷保存先
❸保存可能枚数

動画撮影画面で表示されるマーク



❶撮影モード
❷保存先
❸状態
❹保存可能秒数

- カメラ起動後、撮影する前にしばらく操作しないでおくと、自動的に終了し、待受画面に戻ります。
- 撮影時には、マナーモード設定やその他の設定にかかわらず、一定の音量で撮影音が鳴ります。音を消したり、音量を変更することはできません。

写真撮影モード

写真の撮影モードには、「ケータイカメラ」、「デジタルカメラ」があります。
- ケータイカメラ
  メール添付や壁紙設定用の写真を撮影します。
- デジタルカメラ
  パソコンなどの外部接続機器へ表示する場合の高画質な写真を撮影します。

写真を撮影する

1 **写真→「写真を撮る」→ OK**

「ケータイカメラ」モードで写真撮影画面が表示されます。
- 待受画面で カメラ を押すと、同じように「ケータイカメラ」モードでカメラが起動します。
- 便利 ／ 写真でズーム調整します。
- 電話 ／ メールで露出補正します。



写真撮影画面

2 **ディスプレイに被写体を表示→ OK ／ カメラ**

撮影前にオートフォーカス調整を行います（フォーカス枠が表示される）。
シャッター音が鳴り、写真確認画面が表示されます。



写真確認画面

3 **OK ／ カメラ → OK**

撮影した写真が保存され、写真撮影画面に戻ります。
- 撮影した写真を保存しない場合は、写真確認画面で以下の操作を行います。
  Y! →「撮り直す」→ OK
  撮影した写真を保存せずに写真撮影画面に戻ります。

撮影した写真を確認する

撮影した写真は、以下の場所で確認できます。確認方法については、「写真・ビデオを見る」（P.10-3）を参照してください。

保存先設定が「本体」の場合

撮影モード	確認できる場所
ケータイカメラ	「写真」
デジタルカメラ	

保存先設定が「メモリカード」の場合

撮影モード	確認できる場所
ケータイカメラ	「写真」
デジタルカメラ	「デジタルカメラ」

撮影モードを切り替える

「デジタルカメラ」モードで撮影したい場合には、撮影モードを切り替えます。

1 **写真撮影画面で 辞書 →「デジタルカメラ」→ OK （3回）**

- 「ビデオ撮影」を選択するとビデオ撮影モードに切り替わります。

写真撮影で利用できる機能

■フレームを付けて撮影する

1 写真撮影画面で [Y!] →「フレーム撮影」→ [OK] →「使用する」→ [OK] →「本体」／「メモリカード」→ [OK]（2回）→ [便利] ／ [写真] でフレームを切り替える→ [OK]（3回）

- フレーム撮影は「ケータイカメラ」のみ行えます。
- メモリカードにあるフレームを選ぶ場合、「メモリカード」選択後→ [OK] を1回押したあとにフレームを切り替えます。

動画撮影モード

動画の撮影モードには、「ビデオ（小）」、「ビデオ（大）」があります。

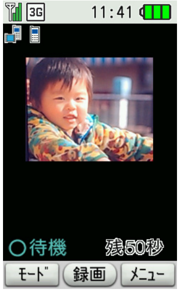
- ビデオ（小）
  メール添付用の動画を録画します。
- ビデオ（大）
  長時間録画します。

動画を撮影する

撮影した動画は、「本体」または「メモリカード」の「ビデオ」に保存されます。

1 [写真] →「ビデオを撮る」→ [OK]

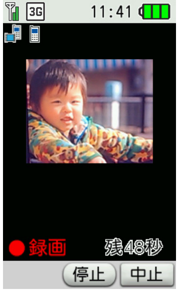
- 「ビデオ（小）」モードで動画撮影画面が表示されます。
- [便利] ／ [写真] でズーム調整します。
- [電話] ／ [メール] で露出補正します。



動画撮影画面

2 メインディスプレイに被写体を表示→ [OK]

開始音が鳴り、録画が開始されます。



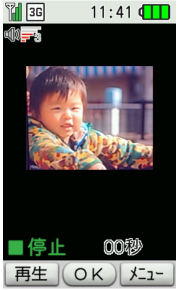
- 撮影モードを「ビデオ（大）」にしている場合は、[辞書]（休止）を押すと録画が一時停止します。[辞書]（録画）を押すと録画が再開します。
- 録画を中止する場合は、[Y!] を押します。動画は保存されず、動画撮影画面に戻ります。

3 [OK]

終了音が鳴り、撮影した動画が、自動的に保存されます。

6 カメラ

4 OK



動画確認画面

動画確認画面には、動画の先頭の画像が表示されます。

- 撮影した動画を削除する場合は、以下の操作を行います。
  Y! →「削除する」→ OK →「削除する」→ OK（2回）

撮影した動画を確認する

撮影した動画は、以下の場所で確認できます。確認方法については、「写真・ビデオを見る」（P.10-3）を参照してください。

撮影モード	確認できる場所
ビデオ（小）	「ビデオ」
ビデオ（大）	

撮影モードを切り替える

「ビデオ（大）」モードで撮影したい場合には、撮影モードを切り替えます。

1 **動画撮影画面で 辞書 →「ビデオ（大）」→ OK（3回）**

- 「写真撮影」を選択すると写真撮影モードに切り替わります。

動画撮影で利用できる機能

録画を途中で終了（保存）したい

1 **動画撮影画面で 切**

- 動画を保存する場合は、以下の操作を行います。
  「保存して終了」→ OK（2回）
- 録画を中止する場合は、以下の操作を行います。
  「保存せずに終了」→ OK

動画確認画面で動画を操作したい

動画確認画面では以下の操作が行えます。

ボタン	操作
辞書	再生／停止（動画の先頭に戻る）
OK	再生中の一時停止／再生
Y!	サブメニュー表示
便利 大 ／ 写真 小	音量の上げ下げ
電話 ／ メール 長押し	巻き戻し／早送り

6 カメラ

7 国際電話を利用する

国際電話について

日本から海外、海外から日本、海外から海外でも音声電話を使用できます。
世界対応ケータイである本機は、通信事業者がサービスを提供している国であれば世界中のどこでもお使いの電話番号をそのまま利用できます。
サービスの詳細、お客様のお申し込み状況に関しては、お問い合わせ先（P.12-18）までご連絡ください。

日本では

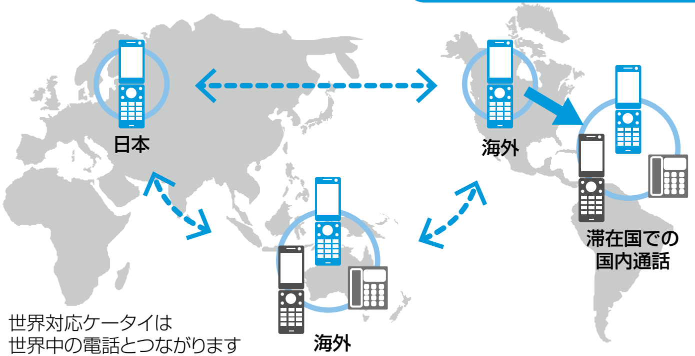
日本から海外へ電話をかける
海外までの通話料金がかかります（P.7-3）。

海外では

海外から日本へ電話をかける
電話をかけた人に日本までの通話料金がかかります（P.7-3）。

海外から他の海外へ電話をかける
電話をかけた場合に日本までの通話料金、受けた場合に日本からの着信料金がかかります（P.7-3）。

海外で滞在国内へ電話をかける
電話をかけた場合に日本までの通話料金、受けた場合に日本からの着信料金がかかります（P.7-3）。



海外へ出かける前には、国際電話が利用できるように以下の設定をしておくと便利です（海外に到着してから設定することもできます）。
- 通信方式を設定する（P.7-5）
- 通信事業者を設定する（P.7-5）

- 海外へお出かけになるときは、「世界対応ケータイサービスガイド」を携帯してください。
- 海外への電話および海外からの電話は、国内と同様の操作で使用できます。
- 海外ではパケット定額サービスの対象外となり、通信料が高額になる可能性があります。メールやYahoo!ケータイをご利用の際は、ご注意ください。
- 海外での充電に起因するトラブルについては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 緊急通報位置通知など国内向けのサービスを海外で利用することはできません。
- 機内ケータイサービスを利用できます（対応航空会社のみ）。

国際電話をかける（日本国内→海外）

日本国内で国際電話をかける操作を説明します。

1 電話番号を入力→ [Y!] →「国際発信」→ [OK]

2 国番号リスト画面で相手の国を選択→ [OK] → [通話]

3 通話が終わったら、[切] を押す

詳しくは最寄りのソフトバンクショップまたはお問い合わせ先（P.12-18）までご連絡ください。

海外で電話をかける（世界対応ケータイ）

滞在国から滞在国内外の一般電話や携帯電話へ電話をかけます。

- お客様のいる国や地域によっては、通信方式の設定（自動／3G／GSM選択）（P.7-5）を切り替える必要があります。
- 滞在している国の一般電話／携帯電話へかける場合は、日本国内にいるときと同様の操作で電話をかけることができます。国番号を入力したり、相手の市外局番の最初の「0」を除いたりする必要はありません。

海外から日本へ電話をかける

1 電話番号を入力→ [Y!] →「国際発信」→ [OK]

2 国番号リスト画面で日本を選択→ [OK] → [通話]

3 通話が終わったら、[切] を押す

海外から他の海外へ電話をかける

1 電話番号を入力→ [Y!] →「国際発信」→ [OK]

2 国番号リスト画面で相手の国を選択→ [OK] → [通話]

3 通話が終わったら、[切] を押す

海外で滞在国内へ電話をかける

1 電話番号を入力→ [通話]

2 「このまま発信」→ [OK]

3 通話が終わったら、[切] を押す

国番号を手動で入力してかける場合

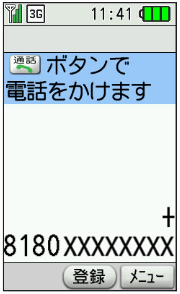
1 [通話] → [＊] （2回）

「＋」が入力されます。

2 国番号を入力

- 国番号については、世界対応ケータイサービスガイドをご覧ください。

3 市外局番の最初の「0」を除いた相手の電話番号を入力→ [通話]



海外から日本の携帯へ電話

4 通話が終わったら、[切] を押す

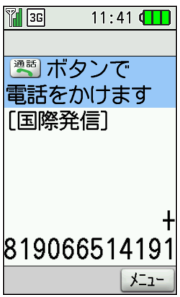
海外でも国内と同様に留守番電話サービスを利用できます。ただし、「着信お知らせ機能」および「伝言メッセージを聞く」を利用するには、専用の番号に電話をする必要があります。

- 海外の滞在国から日本へ電話をかけると通話料金が発生します。

着信お知らせ機能

留守番電話の設定中に電波の届かない場所や、電源が入っていなかったために受けられなかった着信をお知らせ画面でお知らせします。また、通話中に留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりした場合もお知らせします。
海外からこのサービスを利用するには、以下の番号をダイヤルする必要があります。

1 「+819066514191」（有料）を入力→通話

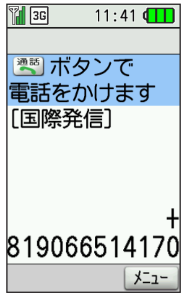


- 以降の操作は、音声ガイダンスに従ってください。

伝言メッセージを聞く

留守番電話センターにお預かりした伝言メッセージを再生します。
海外からこのサービスを利用するには、以下の番号をダイヤルする必要があります。

1 「+819066514170」（有料）を入力→通話



- 以降の操作は、音声ガイダンスに従ってください。
- 留守番電話サービスなどのオプションサービスに関する詳細については、「オプションサービスを利用する」（P.3-8）を参照してください。

共通操作

待受画面で OK →「設定をする」→ OK →「その他の設定」→ OK →「海外利用する時の設定をする」→ OK

通信方式を設定する

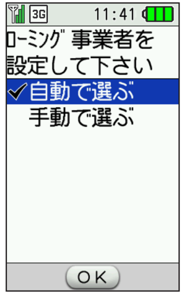
1 「通信方式を設定する」→ OK



2 「自動で選ぶ」／「3G（日本・海外）」／「GSM（海外）」→ OK（2回）

通信事業者を設定する

1 「通信事業者を設定する」→ OK



2 「自動で選ぶ」／「手動で選ぶ」→ OK（2回）

- 「手動で選ぶ」を選択した場合は、以下の操作を行います。
  検索されたローミング事業者を選択→ OK →「設定する」→ OK（2回）

8 便利機能

いろいろな機能について

本機では、以下の便利な機能を利用できます。

歩数計

歩数計を有効にして本機を身に着けて歩くと、歩数が計測できます。

目覚まし時計

簡単な操作で、本機を目覚まし時計として使用できます。

地図

現在地の地図を表示したり、目的地までのルートを確認したりできます。

電卓

本機を電卓として利用できます。

カレンダー

カレンダーを表示して日付を確認できます。

ラジオ

イヤホン（別売品）を使ってラジオを聴くことができます。

辞書

国語辞典、英和辞典、和英辞典を利用して用語を調べられます。

バーコードリーダー

バーコードやQRコードをカメラで読み取って、情報を入手できます。

世界時計

世界の現地時間を確認できます。

歩数計を利用する

1日に歩いた歩数や距離などを表示することができます。

歩数計をご利用になる前に

- 平地での一定した歩行動作（1分間に100歩～140歩程度の速度）が基本となります。歩数計で算出される各数値は、あくまでも目安としてご活用ください。
- ポケットやカバンに入れたり、市販のネックストラップ、キャリングケースを利用してください。
- 次のときは、カウントされません。
  - 電源を切っているとき
  - 歩行開始後の数歩
- 歩行場所や歩行動作などによっては、正しく計測できないことがあります。
- 次のような場合は、正確に歩数が測定できない可能性があります。
  - 本機の画面が地面に対して約60°以下や水平のとき
  - バイブレーターが振動したとき
  - カバンやポケットの中で本機が不規則に動いたとき
  - 腰やバッグに本機をぶらさげていたとき
  - 本機を首からぶらさげて使用した場合に、本機のゆれ幅が小さすぎるとき
  - 同一箇所で回転するなど、不規則に歩行したとき
  - 極端にゆっくり歩行したとき
  - すり足のような歩き方をしたとき
  - サンダル、下駄、草履などの履き物で歩行したとき
  - 混雑した街中を歩行したとき
  - 上下運動や振動が多いところで使用したとき
  - 階段や急斜面を昇り降りしたとき
  - 立ったり座ったりする動作を繰り返したとき
  - 歩行以外のスポーツをしたとき
  - 乗り物（電車・バス・自動車・自転車など）でゆれが発生したとき
  - ジョギングや山登りなど
- 操作中は、正しく計測できないことがあります。

歩幅を設定する

1 便利 →「歩数計を使う」→ OK



歩数計画面

2 Y! →「歩幅設定」→ OK

3 歩幅を入力 → OK（2回）

歩数計を有効にする

1 **歩数計画面で Y! →「歩数計ON／OFF」→ OK**

2 **「ON」→ OK（2回）**

・歩数計を無効にする場合は「OFF」を選択します。

歩数計の感度を設定する

実際の歩数と計測結果の差が大きい場合は、感度設定を見直してください。

1 **歩数計画面で Y! →「感度設定」→ OK**

歩数計の感度の目安は、次のとおりです。

・高感度：ゆっくり歩く人向き（1分間に100歩程度の速度）
・標準：普通に歩く人向き（1分間に100歩～140歩程度の速度）
・低感度：小刻みに歩く人向き

2 **感度を選択→ OK（2回）**

歩行の履歴を確認する

1 **歩数計画面で OK**

週単位の履歴一覧が表示されます。



履歴画面

・歩数の情報がない日は0歩と表示されます。
・辞書 を押すたびに距離／歩数の表示が切り替わります。
・画面下部に「前の週」や「次の週」と表示されているときには、電話 や メール でその週の履歴を表示することができます。
・背面画面の時計の種類として「歩数計＋時計」を設定すると、背面画面で歩数を確認することもできます（P.11-3）。

歩行の記録を削除する

■本日の歩行記録を削除する

1 **歩数計画面で Y! →「本日記録削除」→ OK**

2 **「削除する」→ OK（2回）**

・削除しない場合は「削除しない」を選択してください。

■累積の歩行記録を削除する

1 **歩数計画面で Y! →「累積記録削除」→ OK**

2 **「削除する」→ OK（2回）**

・削除しない場合は「削除しない」を選択してください。

■歩数の履歴を削除する

1 **履歴画面で Y! →「削除する」→ OK（2回）**

・削除しない場合は「削除しない」を選択してください。

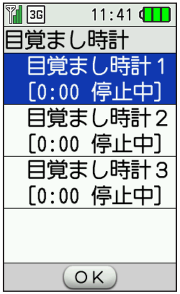
目覚まし時計を利用する

目覚まし時計を設定する

目覚まし時計は3つまで設定でき、それぞれ別の時間に鳴らすことができます。

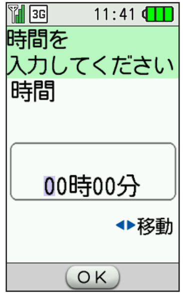
1 便利 →「目覚ましを使う」→ OK

目覚まし時計が表示されます。

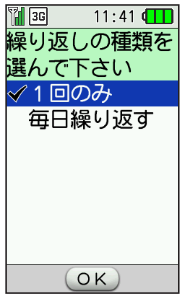


2 目覚まし時計を選択→ OK →「設定する」→ OK

3 時間を入力→ OK →「次へ進む」→ OK

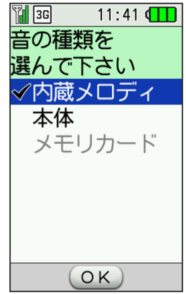


4 「1回のみ」／「毎日繰り返す」→ OK →「次へ進む」→ OK



5 「内蔵メロディ」→ OK →内蔵メロディを選択→ OK

- メロディを確認する場合は 辞書（再生）を押します。
- 本体／メモリカード内のファイルを設定する場合は、以下の操作を行います。
  「本体」／「メモリカード」→ OK →「着うた・メロディ」→ OK →着うた・メロディを選択→ OK（2回）
- ミュージックやビデオも音の種類として選択できます。



6 「次へ進む」→ OK

7 **音量を設定→ OK**

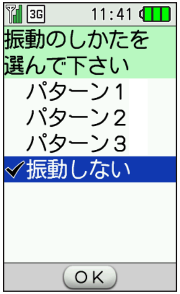
- 音量を確認する場合は [辞書]（確認）を押します。
- 音量の確認画面が表示された場合は OK を押します。



8 **「次へ進む」→ OK**

9 **振動の種類を選択→ OK →「次へ進む」→ OK**

- 振動が不要な場合は「振動しない」を選択します。



10 **「設定する」→ OK（2回）**

設定が完了します。

目覚まし時計を止める

1 **設定した時間に音が鳴る→ OK**

- [切] を押しても止まります。



2 **[切]**

目覚まし時計を解除する

1 **[便利] →「目覚ましを使う」→ OK**

2 **解除する目覚まし時計を選択→ OK →「停止する」→ OK（2回）**

目覚まし時計の設定を編集する

1 便利 →「目覚ましを使う」→ OK

2 **設定を編集する目覚まし時計を選択→ OK**

- 以降の操作は、「目覚まし時計を設定する」（P.8-5）を参照してください。

地図を見る

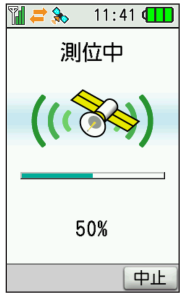
現在地の地図を見る

1 **便利 →「地図を見る」→ OK →「現在地の地図を見る」→ OK**

位置情報送信の確認画面が表示されます。

2 **「送信する」→ OK**

現在位置の測位が開始されます。



- 精度が低い場合は再測位の確認画面が表示されます。必要に応じて「測位する」を選択して OK を押し、再測位してください。再測位しない場合は「このまま進む」を選択してください。

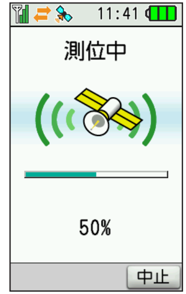
3 OK

インターネットに接続され、地図が表示されます。

現在地をメールで送る

1 **便利 →「地図を見る」→ OK →「現在地をメールで送る」→ OK**

現在位置の測位が開始されます。



- 精度が低い場合は再測位の確認画面が表示されます。必要に応じて「測位する」を選択して OK を押し、再測位してください。再測位しない場合は「このまま進む」を選択してください。

2 OK

以降の操作は、「メール送信」（P.4-4）を参照してください。

位置ナビを利用する

ほかの人が今どこにいるかを検索したり、本機をなくしたときに、本機のおおよその位置を検索することができます。

1 便利 →「地図を見る」→ OK

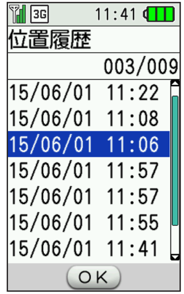
2 「位置ナビを使う」→ OK

- 以降の操作は、画面の指示に従ってください。

- 位置ナビをご利用になるには、位置情報要求をする側がサービスに加入する必要があります。
- 位置情報要求を受ける側は、あらかじめYahoo!ケータイ上で位置情報要求を許可する相手（位置情報を知らせる相手）を登録する必要があります。
- GPS衛星または基地局の信号による電波の受信状況が悪い場所でご利用の場合は、位置情報の精度が低くなることがあります。
- 正しい位置情報が取得できない場合は、屋外など見晴らしのよい場所へ移動してください。
- 紛失時の検索は、事前のお申し込み・設定が必要で、パソコンからのみご利用いただけます。
- 提供した位置情報に起因する障害については、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 測位機能禁止中は、本機からの測位は行えません。

位置履歴を確認する

1 便利 →「地図を見る」→ OK →「位置履歴を見る」→ OK



2 位置履歴を選択→ OK

位置履歴が表示されます。



- 位置履歴から地図を確認するには以下の操作を行います。
  Y! →「地図で表示」→ OK →「送信する」→ OK
- 位置履歴をメールで送信するには以下の操作を行います。
  Y! →「メールで送る」→ OK
  以降の操作は、「メール送信」（P.4-4）を参照してください。
- 位置履歴を削除するには以下の操作を行います。
  Y! →「削除する」→ OK →「削除する」→ OK

測位機能を禁止する

1 [便利]→「地図を見る」→(OK)→「測位機能を禁止する」→(OK)

2 操作用暗証番号を入力→「禁止する」／「禁止しない」→(OK)（2回）

地図のURL表示名を編集する

1 [便利]→「地図を見る」→(OK)→「地図のURLを設定する」→(OK)

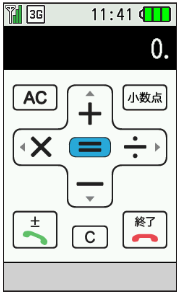
2 地図URLを選択→[Y!]→「表示名を編集」→(OK)→表示名を編集→(OK)（2回）

電卓を利用する

本機を電卓として使用して計算ができます。

1 [便利]→「電卓を使う」→(OK)

電卓画面が表示されます。



●電卓画面での操作

数字を入力	[0]～[9]
＋	[便利]
−	[写真]
×	[電話]
÷	[メール]
＝	(OK)
±（＋／−切替）	[通話]
AC（オールクリア）	[辞書]
C（クリア）	[戻る]
.（小数点）	[Y!]
Exit（電卓を終了）	[切]

8

便利機能

カレンダーを見る

カレンダー画面では、土曜日が青文字、日曜祝日は赤文字で表示されます。

1 [便利] →「カレンダーを見る」→ [OK]

今日の日付がハイライト（青色）で表示されます。

- [電話] や [メール] で月を変更できます。



ラジオを聴く

イヤホン（別売品）を接続するとFMラジオを聴くことができます。

- イヤホン（別売品）を接続していない場合は、ラジオを起動できません。

ラジオを聴く

1 イヤホン（別売品）をコネクタに接続する

2 [便利] →「ラジオを聴く」→ [OK]

- [便利]／[写真]、[大]／[小] で音量を調節できます。
- [電話]／[メール] で選局します。

選局モードを切り替える

1 FMラジオ画面で [Y!] →「選局モード」→ [OK]

2 「自動」／「手動」→ [OK]

- 「自動」では聴くことができるチャンネルが自動的に選択されます。
- 「手動」では周波数を変更できます。

ラジオの出力先を切り替える

1 FMラジオ画面で [Y!] →「出力先」→ [OK]

2 「スピーカ」／「イヤホン」→ [OK]

- FMラジオ画面で [辞書] を押しても切り替えられます。

チャンネルを保存する

1 FMラジオ画面で [Y!] →「チャンネルを保存」→ [OK]

チャンネルを選択する

1 FMラジオ画面で [Y!] →「チャンネル一覧」→ [OK]

2 チャンネルを選択→ [OK]

- [辞書] を押すとチャンネルを削除できます。

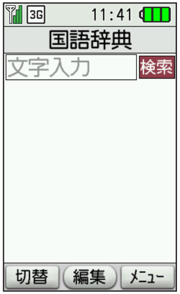
電子辞書を利用する

電子辞書を利用して用語を調べられます。

用語を調べる

1 [辞書]

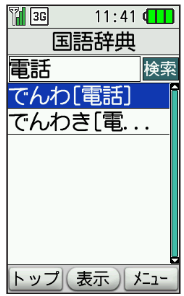
電子辞書画面が表示されます。



2 [OK] →調べたい用語を入力→ [OK]



3 検索結果を選択



4 [OK]

用語の説明が表示されます。

- 用語説明にしおりを付けるには、[Y!] を押します。
- 用語説明の内容をコピーするには、[OK] を押し、コピーの開始位置、終了位置で [OK] を押します。
- 用語の説明が見つからない場合は、画面の指示に従って辞書を切り替えて検索することができます。
- 別の用語を検索するには [辞書]（トップ）を押します。用語を入力していない状態の電子辞書画面に戻ります。

辞書を切り替える

1 電子辞書画面で 辞書

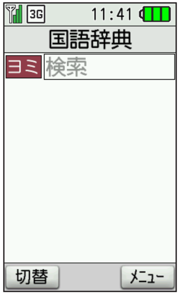


2 切り替えたい辞書を選択→ OK

検索方法を切り替える

1 電子辞書画面で Y! →「検索方法切替」→ OK

2「読み検索」／「キーワード検索」→ OK



- 読み検索を選択した場合の画面です。

検索履歴を表示する

1 電子辞書画面で Y! →「履歴一覧」→ OK →履歴一覧から用語を選択→ OK

過去に検索した用語の説明が表示されます。

しおりの一覧を表示する

1 電子辞書画面で Y! →「しおり一覧」→ OK →しおり一覧から用語を選択→ OK

しおりを付けた用語の説明が表示されます。

用語説明からコピーしたキーワードで検索する

1 電子辞書画面で Y! →「コピーした文字で検索」→ OK（2回）

コピーした文字で用語が検索されます。

バーコードリーダー

バーコード／QRコードを読み取る

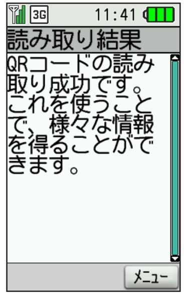
1 OK →「便利な機能を使う」→ OK →「バーコードを読み取る」→ OK

2 注意事項を確認→ OK



3 読み取りたいコードをメインディスプレイに合わせる→ OK

- 読み取ったQRコードが分割データの場合は、「読み込む」を選択し、読み取りを繰り返してください。すべて読み取るとQRコードデータが表示されます。



- 読み取り結果をコピーするには、Y! を押して「コピーする」を選択し、コピーの開始位置、終了位置で OK を押します。

4 切 →「終了する」→ OK

- 読み取り結果を破棄して他のバーコードを読み取る場合は、読み取り結果画面で以下の操作を行います。
  戻る →「破棄する」→ OK

世界時計

世界時計を利用する

本機に表示される時刻は、ホーム都市の時刻です。お買い上げ時は､「日本､韓国等」がホーム都市として設定されています。世界時計では、ホーム都市／第2都市にそれぞれ時刻を設定し、待受画面に表示できます。

- 時差がない海外の国へ到着したときに現地時間を設定すると、世界時計の現地時間がホーム都市に自動調整されます。

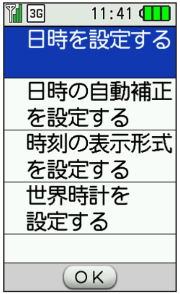
世界時計を表示する

1 OK →「便利な機能を使う」→ OK →「世界時計を見る」→ OK



世界時計を設定して待受画面に表示させる

1 (OK) →「設定をする」→ (OK) →「その他の設定」→ (OK) →「日付と時刻の設定をする 」→ (OK)



2 「世界時計を設定する」→ (OK)



3 (OK)

設定されているホーム都市の時刻が表示されます。

- ホーム都市を変更する場合は、(電話)／(メール)を押し、青い縦線を移動させて位置を設定します。
- サマータイムに設定する場合は、(写真)を押します。



4 OK

設定されている第2都市の時刻が表示されます。

- 第2都市を変更する場合は、電話／メールを押し、オレンジの縦線を移動させて位置を設定します。
- サマータイムに設定する場合は、写真を押します。



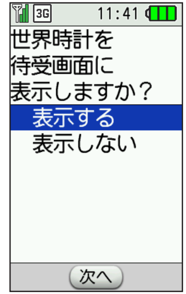
5 OK

新しく設定されたホームと第2都市の時刻が表示されます。



6 OK

待受画面に表示するかの確認画面が表示されます。



7 「表示する」／「表示しない」→ OK

世界時計が設定されます。



9 安心機能／セキュリティ

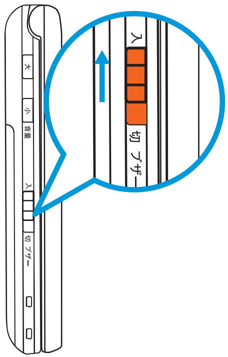
緊急ブザーを利用する

緊急時にブザーを鳴らすことができます。

緊急ブザーを鳴らす

1 **緊急ブザースイッチを「入」にする**

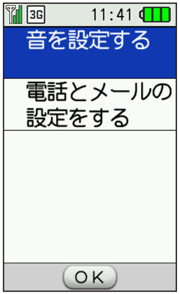
ブザーが大きな音量で鳴動します。
- 緊急ブザースイッチは、完全に端までスライドしてください。
- 緊急ブザースイッチを下げると、ブザーが停止します。



- 緊急ブザーを動作させるには、本機の電源がONになっている必要があります。
- ブザーと連動した電話の発信やメールの送信など、より安全な緊急ブザーの機能を利用するためには、本機を電波の届くところでご使用ください。
- 位置情報の取得にはGPS機能（P.3-3）を利用しています。
- 「測位機能を禁止する」（P.8-9）を「設定する」に設定している場合でも、緊急ブザースイッチの操作でメールを送信するときには、位置情報を取得してお知らせします。
- 各種お知らせメールの送信には、メール送信料と測位時の通信料がかかります。
- 緊急ブザーは停止操作を行うか、電池残量がなくなるまで鳴り続けます。
- 周囲の環境などによっては、周辺の第三者にブザーの音が聞き取りにくい場合があります。
- ブザーの音量は調節できません。電池残量によっては音量が小さくなる場合があります。
- 緊急ブザーは必ずしも犯罪防止や安全を保証するものではありません。
- 耳元で緊急ブザーを鳴らさないでください。耳に障害を起こす原因となります。
- 通話中に緊急ブザーを鳴らすと、レシーバー（受話口）から相手の音声が聞こえなくなります。
- 「簡易留守録」「着信応答保留中」「着信拒否」の音声ガイダンス中に、緊急ブザーを動作させると、通話が切断され、緊急発信されます。

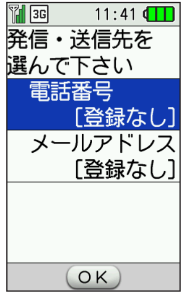
緊急時に電話をかける相手を設定する

1 OK →「安心機能を使う」→ OK →「緊急ブザーの設定をする」→ OK →操作用暗証番号を入力



緊急ブザー設定画面

2 「電話とメールの設定をする」→ OK



連絡先設定画面

3 「電話番号」→ OK

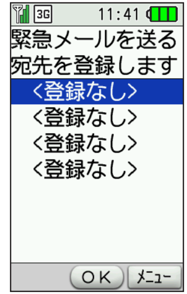
4 「電話帳から選ぶ」→ OK →電話帳を選択→ OK →電話番号を選択→ OK （2回）

- 電話番号を直接入力して設定する場合は、以下の操作を行います。
  「番号を入力する」→ OK →電話番号を入力→ OK （3回）

- 緊急電話番号（110番（警察）、119番（消防・救急）、118番（海上保安本部））は登録できません。

緊急時にメールを送る相手を設定する

1 連絡先設定画面で「メールアドレス」→ OK



2 未登録の宛先欄を選択→ OK

3 「電話帳から選ぶ」→ OK →電話帳を選択→ OK →電話番号／メールアドレスを選択→ OK （3回）

- 電話番号／メールアドレスを直接入力して設定する場合は、以下の操作を行います。
  「番号を入力する」／「メールアドレスを入力」→ OK →電話番号／メールアドレスを入力→ OK （3回）

緊急時にブザーを鳴らす設定をする

1 **緊急ブザー設定画面で「音を設定する」→ OK**

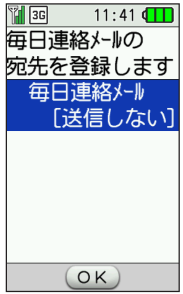
2 **「鳴らす」→ OK（2回）**

毎日連絡メールを設定する

1日1回本機を開閉することで、家族などよく連絡する相手先へ自動でメールを送信します。常にご家族が見守ってくれるので安心です。

毎日連絡メールを有効にする

1 **OK →「安心機能を使う」→ OK →「毎日連絡メールの設定をする」→ OK**



毎日連絡メール画面

2 **「毎日連絡メール」→ OK →「送信する」→ OK**

3 **「電話帳から選ぶ」→ OK**

- 電話番号／メールアドレスを直接入力して設定する場合は、以下の操作を行います。
  「番号を入力する」／「メールアドレスを入力」→ OK →電話番号／メールアドレスを入力→ OK（3回）

4 **電話帳を選択→電話番号またはメールアドレスを選択→ OK（3回）**

- 毎日連絡メールの登録を途中で中断する場合は、以下の操作を行います。
  切→「登録して終了」／「登録せずに終了」→ OK
- メールの送信は、1日1回、本機を閉じたときに行われます。圏外だったときは、電波の届く状態になったときに送信されます。
- メールを送信したときに保存するメモリが足りないと、警告メッセージが表示され、メールを送信できません。メモリに空きがなくなったときは、不要なメールを削除してください（P.4-14）。

毎日連絡メールを停止する

1 **OK →「安心機能を使う」→ OK →「毎日連絡メールの設定をする」→ OK**

2 **「毎日連絡メール」→ OK →「送信しない」→ OK（2回）**

- 「送信しない」を選択すると、登録した内容を削除し、送信を停止します。

緊急速報メールを見る

緊急速報メールを受信して確認することができます。

緊急速報メールを見る

1 OK →「安心機能を使う」→ OK →「緊急速報メールを見る」→ OK

2 メールを選択→ OK

緊急速報メールの受信設定をする

1 OK →「安心機能を使う」→ OK →「緊急速報メールを見る」→ OK

2 Y!→「受信設定」→ OK →「受信する」／「受信しない」→ OK（2回）

災害用音声お届けを利用する

災害時に音声メッセージを送信すると相手側にSMSでメッセージが届いたことをお知らせできます。

災害用音声お届けを利用する

1 OK →「安心機能を使う」→ OK →「災害用音声お届けを使う」→ OK

2 「はい」／「いいえ」／「はい（以降非表示）」→ OK

3 メッセージ送信先の電話番号を入力→ OK

4 問い合わせが完了したら OK（2回）→ メッセージを録音→ OK

5 「送信」→ OK

- メッセージを再録音する場合は「再録音」を選択して、再度録音します。

6 メッセージの送信が完了したら OK

- 送信先の相手がメッセージを確認すると、その旨を伝えるSMSが届きます。

災害用伝言板を利用する

災害時に直接相手に電話やメールで連絡できない場合に、安否の確認や連絡内容を登録することができます。

災害用伝言板を利用する

1 OK →「安心機能を使う」→ OK →「災害用伝言板を使う」→ OK

2 「登録」→ OK →状態を選択→ OK →コメントを入力→ OK →「登録」→ OK

3 「自動Eメール送信設定」→ OK →送信したいアドレスを入力→ OK

PIN設定を有効にする

USIMカードを取り付けた状態で本機の電源を入れたときに、PINの入力による照会を行うよう設定できます。

1 OK →「設定をする」→ OK →「その他の設定」→ OK →「重要な設定をする」→ OK

2 「暗証番号を変更する」→ OK →「PIN設定をする」→ OK



3 「PINを有効にする」→ OK →「有効にする」を選択→ OK （2回）

- 解除する場合は「無効にする」を選択します。

キー操作ロックを設定する

操作用暗証番号を入力しないと、本機を操作できないようにします（キー操作ロック）。設定できる内容は、次のとおりです。

電話を閉じた時	電話を閉じるたびに自動的にキー操作ロックが設定されます。
電源を入れた時	電源を切り、再度、電源を入れ直すと自動的にキー操作ロックが設定されます。
両方とも	上記の両方でキー操作ロックが設定されます。

1 OK →「安心機能を使う」→ OK →「機能・操作を制限する」→ OK →「キー操作ロックを設定する」→ OK →操作用暗証番号を入力

2 ロックする条件を選択→ OK （2回）

- 使用時にキー操作ロックを解除する場合は、待受画面で操作用暗証番号を入力します。

キー操作ロックの設定を解除する

1 OK →「安心機能を使う」→ OK →「機能・操作を制限する」→ OK →「キー操作ロックを設定する」→ OK →操作用暗証番号を入力

2 「ロックをしない」→ OK （2回）

安心遠隔ロックを利用する

安心遠隔ロックサービスを利用することで、本機を紛失したときなどに、パソコンや携帯電話から遠隔操作して、本機の操作をロックすることができます。ロックを設定すると、電源を入れる以外のボタン操作ができなくなります。「安心遠隔ロック」の詳細とご利用規約につきましては、「ソフトバンクモバイルホームページ」を参照するか、お問い合わせ先（P.12-18）までご連絡ください。

インターネットを制限する

インターネットのアクセスを制限できます。

1 OK →「安心機能を使う」→ OK →「機能・操作を制限する」→ OK →「インターネットを制限する」→ OK

2 操作用暗証番号を入力→「全て禁止」／「公式以外を禁止」／「制限しない」→ OK （2回）

- 「全て禁止」を選択した場合、すべてのインターネットアクセスが制限されます。
- 「公式以外を禁止」を選択した場合、公式サイト以外へのアクセスが制限されます。

電波を停止する

「電波の送受信を停止する（電波停止モード）」（P.1-18）を参照してください。

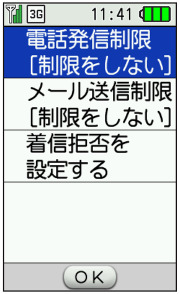
電話・メールの相手を制限する

電話やメールの発信／送信相手を制限できます。

電話の相手を制限する

1 **OK →「安心機能を使う」→ OK →「機能・操作を制限する」→ OK →「電話・メールの相手を制限する」→ OK**

2 **操作用暗証番号を入力**



電話・メール制限画面

3 **「電話発信制限」→ OK →「ワンタッチのみ」／「電話帳のみ」／「制限をしない」→ OK（2回）**

- 「ワンタッチのみ」を選択した場合、ワンタッチダイヤルに登録されている相手にのみ電話できます。
- 「電話帳のみ」を選択した場合、電話帳に登録されている相手にのみ電話できます。

メールの相手を制限する

1 **電話・メール制限画面で「メール送信制限」→ OK**

2 **「ワンタッチのみ」／「電話帳のみ」／「制限をしない」→ OK（2回）**

- 「ワンタッチのみ」を選択した場合、ワンタッチダイヤルに登録されている相手にのみメールを送信できます。
- 「電話帳のみ」を選択した場合、電話帳に登録されている相手にのみメールを送信できます。

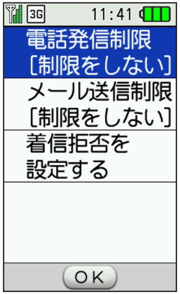
着信拒否を設定する

電話帳に登録していない相手や番号通知がされない相手からの電話を自動的に拒否することができます。

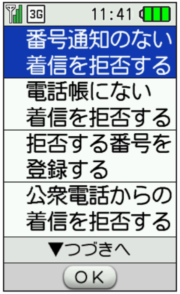
番号通知のない着信を拒否する

1 **OK →「安心機能を使う」→ OK →「機能・操作を制限する」→ OK →「電話・メールの相手を制限する」→ OK**

2 **操作用暗証番号を入力**



3 「着信拒否を設定する」→ (OK)



着信拒否設定画面

4 「番号通知のない着信を拒否する」→ (OK) →「拒否する」／「拒否しない」→ (OK)（2回）

電話帳にない着信を拒否する

1 着信拒否設定画面で「電話帳にない着信を拒否する」→ (OK)

2 「拒否する」／「拒否しない」→ (OK)（2回）

拒否リストを登録／編集する

■電話帳から選択する

1 着信拒否設定画面で「拒否する番号を登録する」→ (OK)

2 「番号を登録する」→ (OK) →拒否リストに登録する場所を選択→ (OK)

3 「電話帳から選ぶ」→ (OK) →電話帳を選択→ (OK) →電話番号を選択→ (OK)（3回）

■電話番号を直接入力する

1 着信拒否設定画面で「拒否する番号を登録する」→ (OK)

2 「番号を登録する」→ (OK) →拒否リストに登録する場所を選択→ (OK)

3 「番号を入力する」→ (OK) →電話番号を入力→ (OK)（3回）

■通話履歴から選択する

1 着信拒否設定画面で「拒否する番号を登録する」→ (OK)

2 「番号を登録する」→ (OK) →拒否リストに登録する場所を選択→ (OK)

3 「履歴から選ぶ」→ (OK) →履歴の種類を選択→ (OK) →履歴を選択→ (OK)（3回）

拒否リストの着信を拒否する

1 着信拒否設定画面で「拒否する番号を登録する」→ (OK)

2 「拒否する」→ (OK)（2回）

公衆電話からの着信を拒否する

1 着信拒否設定画面で「公衆電話からの着信を拒否する」→ (OK)

2 「拒否する」／「拒否しない」→ (OK)（2回）

通知不可能の着信を拒否する

1 着信拒否設定画面で「通知不可能の着信を拒否する」→ (OK)

2 「拒否する」／「拒否しない」→ (OK)（2回）

10 データ管理

データ管理のしくみ

撮影した写真や動画、インターネットからダウンロードしたファイルなどは、下図のようにそれぞれ決まった場所に保存されます。

写真を見る

撮影した写真などの画像ファイル

デジタルカメラ
「デジタルカメラ」モードで撮影した写真（※メモリカードのみ表示）

ビデオを見る

撮影した動画などのファイル

その他のデータを見る

ミュージック
ダウンロードした音楽ファイル、着うたフル®

着うた・メロディ
メロディなどのサウンド

その他ファイル
テキストファイルなど

- 本機に保存されているファイルは、誤った使いかたをしたり、事故や故障によって変化・消失する場合があります。大切なファイルはバックアップを取っておくことをおすすめします。
- コンテンツの使用権が必要なファイルは、そのファイルを選択したときに色が表示されます。このようなファイルは再生時にコンテンツ・キーの取得を要求されることがあります。

ファイルを確認する

マナーモード中に音声を伴うファイルを再生した場合は、音を出すかどうかを確認する画面が表示されます。

写真・ビデオを見る

1 (OK) →「写真を見る・撮る」→ (OK)



カメラ・データ画面

2 「写真を見る」／「ビデオを見る」→ (OK) →「本体」／「メモリカード」→ (OK)



- メモリカード（P.10-8）が挿入されていない場合は、「メモリカード」を選択できません。
- 「デジタルカメラ」モードで撮影し、メモリカードに保存した写真を見る場合は、以下の操作を行います。
  「写真を見る」→ (OK) →「メモリカード」→ (OK) →「デジタルカメラ」→ (OK) →任意の保存場所→ (OK)

3 ファイルを選択→ (OK)

■写真・画像ファイル表示時の操作

写真や画像のファイルを表示した場合は、以下の操作が行えます。

[辞書]	通常表示／全画面表示を切り替えます。
[電話]／[メール]	複数のファイルが保存されている場合、前のファイル／次のファイルを表示します。
[Y!]	サブメニューを表示します。壁紙への登録などができます。

■ビデオ・動画ファイル再生時の操作

(OK)	再生／一時停止します。
[辞書]	停止して動画の先頭に戻ります。
[便利]／[写真] [大]／[小]	音量を上げ下げします。
[電話]／[メール]	複数のファイルが保存されている場合、前のファイル／次のファイルを表示します。
[電話]／[メール]（長押し）	巻き戻し／早送りします。
[Y!]	サブメニューを表示します。動画の表示を拡大表示と通常表示に切り替えるには、以下の操作を行います。[Y!] →「拡大表示する」／「縮小表示する」→ (OK)

- ファイルによっては、再生終了後にインターネット接続を行うかどうかを確認する画面が表示されます。

その他のファイルを見る

1 カメラ・データ画面で「その他のデータを見る」→ OK

2 「音楽を聴く」／「着うた・メロディを聴く」／「テキスト・その他を見る」→ OK

3 「本体」／「メモリカード」→ OK

4 ファイルを選択→ OK

音楽ファイル再生時の操作

着うた・メロディやミュージックのファイルを再生した場合は、以下の操作が行えます。

OK	再生／一時停止します。
辞書	停止してファイルの先頭に戻ります。
便利／写真 大／小	音量を上げ下げします。
電話／メール	複数のファイルが保存されている場合、前のファイル／次のファイルを表示します。
電話／メール（長押し）	巻き戻し／早送りします。
Y!	サブメニューを表示します。ファイルに歌詞が添付されている場合は前の歌詞／次の歌詞に表示を切り替えたり、複数のジャケット画像が添付されている場合は画像を切り替えたりできます。

- ファイルによっては、再生終了後にインターネット接続を行うかどうかを確認する画面が表示されます。

ファイルを管理する

ファイルを移動する

1 カメラ・データ画面で「写真を見る」／「ビデオを見る」／「その他のデータを見る」→ OK →保存場所を選択→ OK

2 ファイルを選択→ Y! →「移動する」→ OK

3 「1件」→ OK （2回）

- 全件移動する場合は、以下の操作を行います。
  「全て」→ OK →操作用暗証番号を入力
- 通常は自動的に本体からメモリカード、またはメモリカードから本体への移動になりますが、ファイルの種類によっては移動先（「本体」／「メモリカード」）を選択する必要がある場合があります。
- 画像ファイルを移動する場合は、以下のように保存場所を選択する必要がある場合があります。
  「写真」／「デジタルカメラ」→ OK
- 音楽ファイルを移動する場合は、以下のように保存場所を選択する必要がある場合があります。
  「着うた・メロディ」／「ミュージック」→ OK
- 「詳細を見る」でメモリカード転送が「できない」となっているファイルは、移動できません。
- メモリカードバックアップ（P.10-6）を使うと、保存場所を意識せずにデータを本体からメモリカードへ、またはメモリカードから本体へ一度にコピーすることができます。

メモリカードを利用する

本機で撮影した写真や動画、ダウンロードしたさまざまなファイルを保存できます。

- 電池残量が少ないとファイルの読み込みや書き込みができない場合があります。
- ファイルの読み込み中、書き込み中、または初期化中にメモリカードを取り外したり、電池パックを取り外したりしないでください。ファイル消失もしくはメモリカードが故障する原因になります。
- メモリカード内のファイルは誤った使いかたをしたり、事故や故障によって変化・消失する場合があります。大切なファイルはバックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモリカードに新たにラベルやシールを貼らないでください。
- メモリカードへのファイルの保存方法については、各機能の説明を参照してください。
- 本機では市販の2GバイトまでのmicroSDカード、32GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています（2015年6月現在）。

メモリカードの構成と各ファイルの保存場所

保存場所名	保存されるファイル
DCIM	「デジタルカメラ」で撮影した写真
PRIVATE	
└ MYFOLDER	
└ My Items	各種保存ファイル（写真を見る、ビデオを見る、着うた・メロディ、ミュージックを見る、その他のファイルを見る）
└ Utility	
└ Contacts	電話帳のデータやバックアップファイル
└ Rights	コンテンツ・キーのバックアップファイル

メモリカードバックアップ

メモリカードバックアップについて

電話帳など各種データをファイルにして、本体からメモリカードへバックアップできます。
また、バックアップしたファイルをメモリカードから本体に読み込むこともできます。

メモリカードバックアップ利用時のご注意

- データの内容によっては、メモリカードへ転送できないデータもあります。
- メモリカードに転送したファイルをパソコンなどで参照したり、書き替えたりしないでください。ファイルが破損する恐れがあります。
- 著作権で保護されているデータは、メモリカードへ転送／本体へ読み込みができない場合や、転送時／読み込み時に本体／メモリカードから削除される場合があります。

コンテンツ・キーのバックアップについて

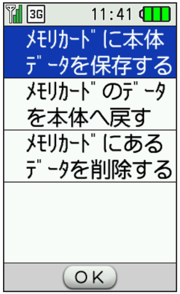
コンテンツ・キーのバックアップファイルは、メモリカードに1つしか保存できません。再度別のコンテンツ･キーをバックアップすると、前回のバックアップで保存したファイルが上書きされます。前回バックアップしたコンテンツ・キーも残したいときは、メモリカードからコンテンツ・キーのバックアップファイルを本体へ読み込んだあと、あらためてバックアップの操作を行ってください。

- コンテンツ・キーはバックアップにより本体からメモリカードへ移動するため、コンテンツ・キーを移動したファイルは使用できなくなります。
- コンテンツ・キーのバックアップファイルを本体へ読み込むと、本体内のコンテンツ･キーは上書きされず､別ファイルとして追加されます。

メモリカードにバックアップする

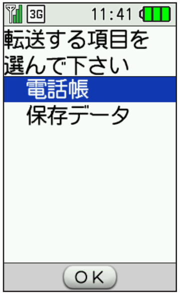
1 OK →「設定をする」→ OK →「その他の設定」→ OK →「重要な設定をする」→ OK

2 「メモリカードを操作する」→ OK



バックアップ画面

3 「メモリカードに本体のデータを保存する」→ OK



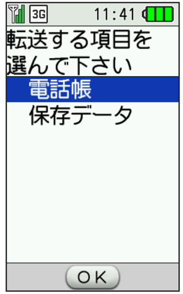
4 「電話帳」／「保存データ」→ OK

- 「保存データ」を選択した場合、コンテンツ・キーが含まれるときは、コンテンツ・キーも一緒に転送するかどうかを確認する画面が表示されます。

5 操作用暗証番号を入力→ OK （2回）

メモリカードから読み込む

1 バックアップ画面で「メモリカードのデータを本体へ戻す」→ OK



2 「電話帳」／「保存データ」→ OK

- 「保存データ」を選択した場合、コンテンツ・キーが含まれるときは、コンテンツ・キーも一緒に転送するかどうかを確認する画面が表示されます。

3 操作用暗証番号を入力

- 電話帳を読み込む場合は、以下の操作を行います。
  OK →データを選択→ OK （3回）
- 保存データ内のデータを読み込む場合は、以下の操作を行います。
  「追加登録する」／「全て削除し登録」→ OK （2回）
  - 「追加登録する」を選択すると、本体の登録内容を削除せずに追加登録できます。
  - 「全て削除し登録」を選択すると、削除してよいかを確認する画面が表示されます。

メモリカードを取り付ける／取り外す

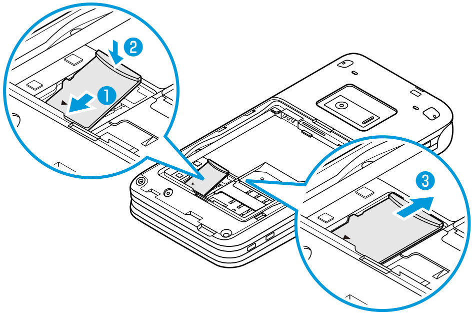
必ず電源を切ってから、行ってください。

メモリカードを取り付ける

1 電池カバーを開く（P.1-7）

2 電池パックを取り外す（P.1-8）

3 メモリカードの端子部分を下にして、❶の方向へ差し込む



4 メモリカードを❷の方向へ押し付けた状態で、❸の方向へスライドする

・メモリカードが完全に取り付けられていることを確認してください。

5 電池パックを取り付ける（P.1-7）

6 電池カバーを閉じる（P.1-8）

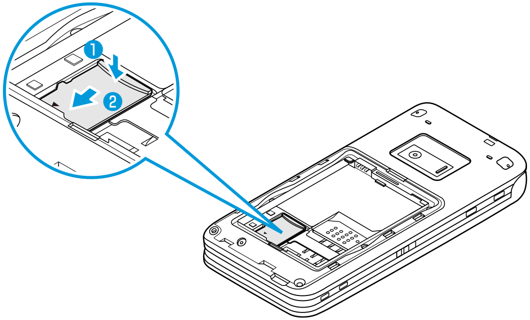
・電源を入れると「 」が表示されます。「 」が表示されていない場合は、次の「メモリカードを取り外す」を参照してメモリカードを取り外し、再度取り付けてください。

メモリカードを取り外す

1 電池カバーを開く（P.1-7）

2 電池パックを取り外す（P.1-8）

3 メモリカードを❶の方向へ押し付けた状態で、❷の方向へスライドする



4 メモリカードを取り外す

5 電池パックを取り付ける（P.1-7）

6 電池カバーを閉じる（P.1-8）

ファイル確認に関する機能

ファイルの表示方法を変更したい

1 カメラ・データ画面で保存場所を選択→ OK

2 Y! →「表示を切替る」→ OK →「一覧で表示する」／「縮小版で表示」→ OK

- 保存場所の選択方法については、「ファイルを確認する」（P.10-3）を参照してください。

ファイルの詳細を確認したい

1 カメラ・データ画面で保存場所を選択→ OK

2 ファイルを選択→ Y! →「詳細を見る」→ OK

- 保存場所の選択方法については、「ファイルを確認する」（P.10-3）を参照してください。

ファイル利用に関する機能

画像を壁紙にしたい

1 カメラ・データ画面で保存場所を選択→ OK

2 ファイルを選択→ Y! →「待受に設定」→ OK（3回）

- 保存場所の選択方法については、「ファイルを確認する」（P.10-3）を参照してください。
- 待受画面のサイズよりも大きな画像を選択した場合は、自動的に縮小されます。縦横のサイズによっては余白ができることがあります。
- 待受画面のサイズより小さな画像を選択した場合は、画像が中央に配置され、周囲に余白ができます。
- ファイルによっては設定できない場合があります。

音楽を着信音にしたい

1 カメラ・データ画面で「その他のデータを見る」→ OK →「着うた・メロディを聴く」→ OK

2 保存場所を選択→ファイルを選択→ Y! →「着信音にする」→ OK →「電話を受けた時」／「メールが届いた時」→ OK（3回）

- 保存場所の選択方法については、「ファイルを確認する」（P.10-3）を参照してください。
- ファイルによっては設定できない場合があります。

ファイル管理に関する機能

ファイルの名前を変更したい

1 カメラ・データ画面で保存場所を選択→ OK

2 ファイルを選択→ Y! →「名称編集する」→ OK →ファイル名を入力→ OK（2回）

ファイルをコピーしたい

■ファイルを1件コピーする

1 カメラ・データ画面で保存場所を選択→ OK

2 ファイルを選択→ Y! →「コピーする」→ OK →「1件」→ OK →「本体」／「メモリカード」→ OK（2回）

■ファイルを全件コピーする

1 カメラ・データ画面で保存場所を選択→ OK

2 ファイルを選択→ Y! →「コピーする」→ OK →「全て」→ OK →操作用暗証番号を入力→「本体」／「メモリカード」→ OK（2回）

ファイルを削除したい

■ファイルを1件削除する

1 カメラ・データ画面で保存場所を選択→OK

2 ファイルを選択→Y!→「削除する」→OK→「1件」→OK→「削除する」→OK（2回）

■ファイルを全件削除する

1 カメラ・データ画面で保存場所を選択→OK

2 ファイルを選択→Y!→「削除する」→OK→「全て」→OK→操作用暗証番号を入力→「削除する」→OK（2回）

バックアップに関する機能

バックアップファイルを削除したい

1 バックアップ画面で「メモリカードにあるデータを削除する」→OK

■1件削除する

1 「データを選ぶ」→OK→データを選択→OK→「削除する」→OK（2回）

■全件削除する

1 「全てのデータ」→OK→「削除する」→OK→操作用暗証番号を入力→OK

11 カスタマイズ

初めて使う時の設定をする

本機では、設定メニューから次の設定ができます。

共通操作

待受画面で OK →「設定をする」→ OK →「初めて使う時の設定をする」→ OK

待受画面に画像を設定する	OK →「内蔵画像」／「本体」／「メモリカード」→ OK →画像を選択→ OK →「設定する」／「修正する」→ OK（2回）
時計の種類を設定する	OK →時計／カレンダーの種類を選択→ OK →「設定する」／「修正する」→ OK（2回） ・時計やカレンダーを表示しない場合は、種類として「表示しない」を選択します。
電話の音や振動を設定する	OK **音の種類を選択**：「鳴らす」→ OK →「内蔵メロディ」→ OK →メロディを選択→ OK →「設定する」→ OK（2回） ・「本体」／「メモリカード」を着信音に設定する場合は、以下の操作を行います。 「鳴らす」→ OK →「本体」／「メモリカード」→ OK →保存場所を選択→ OK →ファイルを選択→ OK（2回）→「設定する」→ OK（2回） **音量を選択**：音量を調節→ OK →「設定する」→ OK（2回） **振動の種類を選択**：振動の種類を選択→ OK →「設定する」→ OK（2回）
ボタンを押した時の音量を設定	OK →「鳴らす」→ OK →音量を調整→ OK →「設定する」→ OK（2回）
メニューの表示形式を設定する	（P.2-3）

マナーモードを設定する

本機では、設定メニューから次の設定ができます。

共通操作

待受画面で OK →「設定をする」→ OK →「マナーモードを設定する」→ OK

マナーモードを設定する	「設定する」→ OK **マナーモード中の目覚まし時計の音**：「鳴らす」／「鳴らさない」→ OK（2回）

待受画面を設定する

本機では、設定メニューから次の設定ができます。

共通操作

待受画面で OK →「設定をする」→ OK →「待受画面を設定する」→ OK

壁紙を設定する	OK →「内蔵画像」／「本体」／「メモリカード」→ OK → 画像を選択→ OK（3回） ・表示された壁紙を変更したいときは 戻る を押すと、壁紙の一覧に戻ります。
時計の種類を設定する	OK →時計／カレンダーを選択→ OK（2回）
画面の照明時間を設定する	「照明時間」→ OK →時間を入力→ OK（2回）→「省電力」→ OK →時間を選択→ OK（2回） ・照明時間とは画面を暗くするまでの時間、省電力とは画面を消すまでの時間です。電池の消耗を抑えることができます。
ワンタッチダイヤルの表示を設定する	（P.2-16）
事業者名表示を設定する	OK →「表示する」／「表示しない」→ OK ・「表示する」を選択すると待受画面に事業者名が表示されます。

背面画面を設定する

本機では、設定メニューから次の設定ができます。

共通操作

待受画面で OK →「設定をする」→ OK →「背面画面を設定する」→ OK

壁紙を設定する	OK →画像を選択→ OK（3回） ・表示された壁紙を変更したいときは 戻る を押すと、画面の一覧が表示されます。
時計の種類を設定する	OK →時計を選択→ OK（2回）

電話の音や振動を設定する

本機では、設定メニューから次の設定ができます。

共通操作

待受画面で OK →「設定をする」→ OK →「電話の音や振動を設定する」→ OK

着信音の種類を選ぶ	（P.2-4）
着信音の音量を設定する	OK →音量を調節→ OK（2回）
振動の種類を選ぶ	（P.2-4）
通話中の音量を設定する	（P.3-11）

メールの着信音や振動を設定する

本機では、設定メニューから次の設定ができます。

共通操作

待受画面で OK →「設定をする」→ OK →「メールの着信音や振動を設定する」→ OK

着信音の種類を選ぶ	（P.2-4）
着信音の音量を設定する	OK →音量を調節→ OK （2回）
着信音を鳴らす時間を設定する	「時間を指定する」→ OK →時間を入力→ OK （2回）
振動の種類を選ぶ	（P.2-4）

光るお知らせボタンの設定

本機では、設定メニューから次の設定ができます。

共通操作

待受画面で OK →「設定をする」→ OK →「光るお知らせボタンの設定」→ OK

電話着信のお知らせランプ	OK →「光らせる」／「光らせない」→ OK （2回）
不在着信のお知らせランプ	OK →「光らせる」／「光らせない」→ OK （2回）
未読メールのお知らせランプ	OK →「光らせる」／「光らせない」→ OK （2回）

ボタンを押した時の音量を設定

本機では、設定メニューから次の設定ができます。

共通操作

待受画面で OK →「設定をする」→ OK →「ボタンを押した時の音量を設定」→ OK

ボタンを押した時の音量を設定	音量を調節→ OK （2回）

ワンタッチダイヤルを登録する

本機では、設定メニューから次の設定ができます。

共通操作

待受画面で OK →「設定をする」→ OK →「ワンタッチダイヤルを登録する」

自宅ボタンを登録する	(P.2-15)
数字ボタンを登録する	(P.2-15)

その他の設定

本機では、設定メニューから次の設定ができます。

共通操作

待受画面で OK →「設定をする」→ OK →「その他の設定」→ OK

メニューの表示形式を設定する	(P.2-3)
日付と時刻の設定をする	**日時を設定する** (P.1-15)
	OK →「日時の自動補正を設定する」→ OK →「自動補正する」／「自動補正しない」→ OK (2回)
	時刻の表示形式を設定する (P.1-16)
	世界時計を設定する (P.8-13)
海外利用する時の設定をする	(P.7-5)
重要な設定をする	**暗証番号を変更する** OK →「暗証番号を変更する」→ OK →「電話の暗証番号を変更する」→ OK →現在（または、お買い上げ時）の暗証番号を入力→新しい暗証番号を入力→ OK →確認画面で再度、同じ暗証番号を入力→ OK （2回）
	PINを有効にする (P.9-6)
	PINを変更する OK →「暗証番号を変更する」→ OK →「PINを設定する」→ OK →「PINを変更する」→ OK ・「PINを有効にする」でPINを「有効にする」にした場合のみ変更ができます。
	メモリカードのデータを操作する (P.10-7)(P.10-9)(P.10-10)
	メモリカードを初期化する OK →「メモリカードを初期化する」→ OK →操作用暗証番号を入力→「初期化する」／「初期化しない」→ OK （2回）
	ネットワークを自動で調整する (P.1-11)
	ソフトウェアの更新をする (P.12-4)
	購入時の状態にする OK →「購入時の状態に初期化する」→ OK →操作用暗証番号を入力→「戻す」／「戻さない」→ OK
認証情報	OK

12

資料／付録

USIMカードのお取り扱い

USIMカードをご利用になる前に

本機をご利用になるお客様にソフトバンクから貸与されているICカードのことをUSIMカードといい、お客様の電話番号などの情報が記録されています。本機を使用するためにはUSIMカードを取り付けてください。USIMカードに付属の説明書も参照してください。



- USIMカードに保存したデータは、他のUSIMカード対応のソフトバンク携帯電話でもご利用いただけます。
- USIMカードはソフトバンクが指定したものを使用してください。指定以外のものを使用すると、正常に動作しない場合があります。他社製品のICカードリーダーなどにUSIMカードを挿入して故障したときは、お客様ご自身の責任となり、当社では一切責任を負いかねますのでご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- IC部分を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失、故障の原因となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- USIMカードにラベルなどを貼り付けないでください。故障の原因となります。
- 本機を落としたり、強い衝撃を与えると、USIMカードを正しく認識しなくなり、本機がリセットされる場合があります。その場合、リセット終了後に待受画面に戻りますが、故障ではありません。また､「USIM未挿入です」と表示された場合は､電源を切り､USIMカードが正しく装着されているか確認のうえ、電源を入れ直してください。

その他ご注意

- USIMカードの所有権は当社に帰属します。
- 解約・休止などの際は、USIMカードを当社にご返却ください。
- 紛失・破損などによるUSIMカードの再発行は有償となります。
- USIMカードや、USIMカード装着済みの本機を盗難・紛失された場合は、必ずお問い合わせ先（P.12-18）までご連絡のうえ、緊急利用停止の手続きを行ってください。
- お客様ご自身でUSIMカードに登録された情報内容は、別途、メモなどに控えて保管することをおすすめします。万一、登録された情報内容が消失した場合でも、当社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。
- お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされています。

- 解約／機種変更をしたときやUSIMカードを変更したとき、本機を修理したときは、本機やメモリカードに保存した音楽／写真／動画などのファイルが利用できなくなることがあります。あらかじめご了承ください。

USIMカードの暗証番号（PIN）

USIMカードには、PINと呼ばれる暗証番号があります。大切な暗証番号ですので、忘れないように別にメモなどに取り、他人に知られないように保管してください。

- PINは変更できます（P.11-5）。
- お買い上げ時は「9999」に設定されています。

PIN

PINとは、第三者による本機の無断使用を防ぐための4～8桁の暗証番号です。「PINを設定する」を「PINを有効にする」に設定している場合は、電源を入れたときにPINを入力しないと本機を使用することができません。
PINの入力を3回間違えると、PINロックが設定され、本機の使用が制限されます。
PINロックを解除するには、お問い合わせ先（P.12-18）で「PINロック解除コード（PUK）」をご確認のうえ次の操作を行ってください。

1 PINロック状態でPINの入力が必要な操作をする→PINロック解除コード（PUK）を入力→ OK →新しいPINを入力→ OK →新しいPINを再度入力→ OK （2回）

PINロック解除コード（PUK）は、お忘れにならないようメモに控えるなどしてください。

PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コード（PUK）とは、PINロック状態を解除するために使用する暗証番号です。
PINロック解除コード（PUK）の入力を10回続けて間違えるとUSIMカードがロック（USIMロック）されます。USIMカードがロックされた場合は、解除することができません。お問い合わせ先（P.12-18）までご連絡ください。

USIMカードを取り付ける／取り外す

必ず電源を切ってから、行ってください。

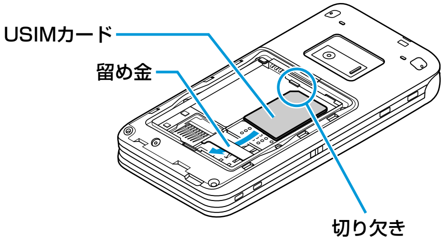
取り付ける

1 電池カバーを開く（P.1-7）

2 電池パックを取り外す（P.1-8）

3 USIMカードのIC部分を下にして、留め金との間をスライドさせながら、奥まで挿入する

- USIMカードが完全に取り付けられていることを確認してください。



4 電池パックを取り付ける（P.1-7）

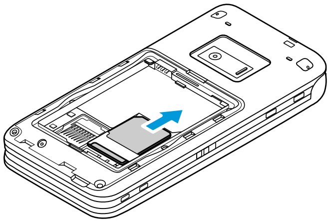
5 電池カバーを閉じる（P.1-8）

取り外す

1 電池カバーを開く（P.1-7）

2 電池パックを取り外す（P.1-8）

3 USIMカードをスライドさせながら、ゆっくりと引き抜く



4 電池パックを取り付ける（P.1-7）

5 電池カバーを閉じる（P.1-8）

ソフトウェア更新

ネットワークを利用して本機のソフトウェア更新が必要かどうかを確認し、必要なときには更新ができます。

- 確認／更新には、通信料はかかりません。
- ソフトウェア更新には、30分程度かかる場合があります。更新が完了するまで、本機は使用できません。
- ソフトウェア更新を実行する前に電池残量が十分かご確認ください。
- ソフトウェア更新は電波状態のよいところで、移動せずに行ってください。
- 必要なデータはソフトウェア更新前にバックアップすることをおすすめします（一部ダウンロードしたデータなどは、バックアップできない場合もあります）。ソフトウェア更新前に本機に登録されたデータはそのまま残りますが、本機の状況（故障など）により、データが失われる可能性があります。データ消失に関しては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェア更新中は絶対に電池パックやUSIMカードを取り外したり、電源を切らないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本機が使用できなくなることがあります。その場合はお問い合わせ先（P.12-18）までご連絡ください。

1 **OK→「設定をする」→OK→「その他の設定」→OK→「重要な設定をする」→OK→「ソフトウェアの更新をする」→OK→「ソフトウェア更新」→OK**

2 **辞書（はい）→画面の指示に従って操作**

更新用データのダウンロード完了後、自動的に再起動を行い、ソフトウェア更新が開始されます。
「ソフトウェア更新完了しました。」と表示されたあと、再起動を行い、更新完了のお知らせが表示されます。

更新結果を確認するには

- (OK) →「設定をする」→ (OK) →「その他の設定」→ (OK) →「重要な設定をする」→ (OK) →「ソフトウェアの更新をする」→ (OK) →「更新結果」→ (OK)

予約更新について

ソフトバンクから配信されるお知らせメールより、予約更新を利用できます。予約更新を利用すると、予約時刻にソフトウェア更新の確認画面が表示されます。確認画面からソフトウェア更新ができます。

- ソフトウェア更新後に再起動しなかったときは、電池パックをいったん取り外したあと再度取り付け、電源を入れ直してください。それでも起動しないときは、ソフトバンクの故障受付（P.12-18）にご相談ください。
- 本機に保存されているデータがソフトウェア更新によって消失した場合、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

文字入力時のボタン割り当て

文字入力モード／ボタン	漢字・ひらがな	全角カタカナ 半角カタカナ	全角英数字 半角英数字	全角数字 半角数字
1 あ .@	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	. @ , / _ 1	1
2 か ABC	かきくけこ	カキクケコ	abcABC2	2
3 さ DEF	さしすせそ	サシスセソ	defDEF3	3
4 た GHI	たちつてとっ	タチツテトッ	ghiGHI4	4
5 な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	jklJKL5	5
6 は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	mnoMNO6	6
7 ま PQRS	まみむめも	マミムメモ	pqrsPQRS7	7
8 や TUV	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	tuvTUV8	8
9 ら WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	wxyzWXYZ9	9
0 わを ん、。	わをん、。ー？！ 改行文字	ワヲンヮ、。ー ※1	, . - 0	0
＊ ゛゜ 絵文字	だく点・半だく点 絵文字（文字確定中）	だく点・半だく点 絵文字（文字確定中）	絵文字	絵文字 ＊, ＋, ー, P（待受画面時）
＃ 小文字 記号	記号 大文字／小文字切り替え	記号 大文字／小文字切り替え	記号 大文字／小文字切り替え	記号 ＃（待受画面時）

※1「ヮ」は全角カタカナ入力モード時にのみ入力できます。

以下の項目を確認して、それでも正常に戻らない場合は、お問い合わせ先（P.12-18）までご連絡ください。

電源が入らない
- 切 を長く（1秒以上）押していますか？
- 電池切れになっていませんか？
- 電池パックは正しく取り付けられていますか？
  正しく取り付けてください。（P.1-7）

電源を入れたのに操作できない
- 「操作規制中」と表示されていませんか？
  キー操作ロックが設定されています。待受画面で暗証番号を入力して解除してください。（P.9-6）

電源を入れたときや機能の操作時に「USIM未挿入です。電源Off後、USIMを挿入して下さい」と表示される
- USIMカードを正しく取り付けていますか？（P.12-3）
- 誤ったUSIMカードを取り付けていませんか？
  使用できないUSIMカードが取り付けられている可能性があります。正しいUSIMカードであることを確認してください。
- USIMカードのIC部分に指紋などの汚れが付いていませんか？
  乾いたきれいな布で汚れを落として、正しく取り付けてください。

電話がつながらない、またはメールやMy SoftBankが利用できない
- 「 圏外 」が表示されていませんか？サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？
  電波の届く場所に移動してから再度操作してください。
- 「 」と「電波を停止中」が表示されていませんか？
  電波の停止を解除してください。（P.9-6）

電話がかけられない
- 市外局番を忘れていませんか？
- 発信規制を設定していませんか？（P.3-11）

電話をかけても話中音（プープー…）が鳴ってつながらない
- 市外局番を忘れていませんか？
- 発信規制を設定していませんか？（P.3-11）

時計表示がリセットされた
- 設定した時刻は、電池パックを交換しても保持されますが、長い間電池パックを外していたり電池残量が空の状態で放置しているとリセットされることがあります。もう一度、日時設定または自動時刻更新を行ってください。（P.1-15）

充電できない
- ACアダプタと本機がmicroUSBケーブルで確実に接続されていますか？
- ACアダプタのプラグがしっかりとコンセントに差し込まれていますか？（P.1-9、P.1-10）
- 電池パックが本機に取り付けられていますか？（P.1-7）
- 端子部が汚れていませんか？（本機のUSBプラグ、電池パックの端子、ACアダプタの接続コネクタ、microUSBケーブルの端子）
  端子部をきれいにしてください。
- 周囲温度が5℃～35℃以外になると、充電できないことがあります。

熱くなる
- 充電中に、ACアダプタが発熱することがあります。また、長時間利用すると、本機が熱くなることがあります。手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。ただし、本機を長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

電池の消耗が早い
- 使用環境（気温／充電状況／電波状態）、操作や設定状態によっては、電池パックの消耗が早くなります。
  「主な仕様」（P.12-9）を参照してください。

イヤホンから音が聞こえない、音が小さい、または雑音が入る
- microUSBイヤホン（ZELAW1）（オプション品）以外のマイクロフォン付きイヤホンを使用していませんか？（P.1-3）

こんなときはご利用になれません

「圏外」が表示されている

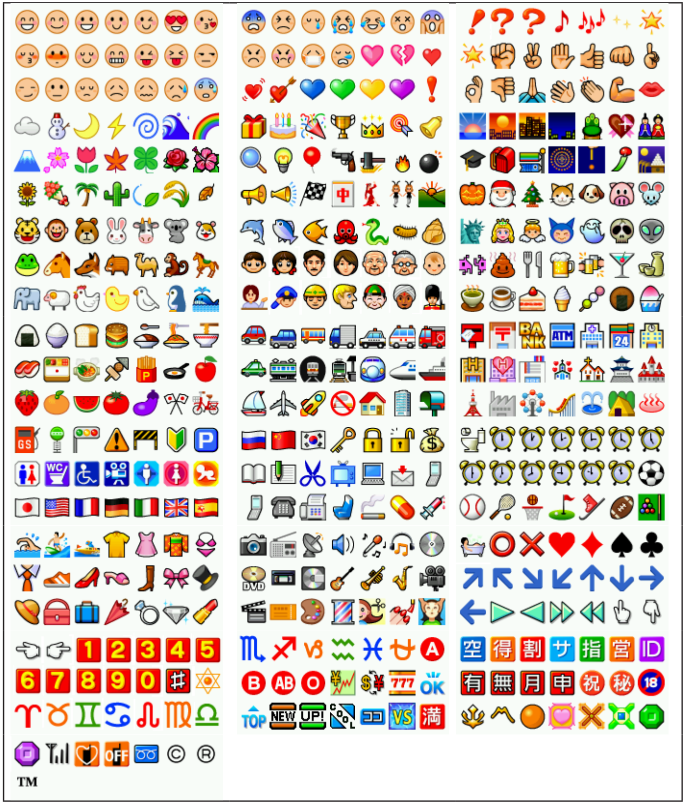
・サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいるためです。受信電波の強さを示すバーが1本以上表示される場所へ移動してください。

「操作規制中」が表示されている

・キー操作ロックが設定されています（P.9-6）。キー操作をするためには、キー操作ロックの設定を解除してください。ただし、設定中でもかかってきた電話に出ることはできます。

電池残量が不足している旨のメッセージが表示されている

・電池残量がなくなっています。電池パックを充電してください（P.1-9、P.1-10）。



メモリ容量一覧

データフォルダ		最大80MB （下記データと共用）
メール	受信メール	2MB、1000件
	下書きと未送信メール	0.3MB、60件
	送信済みメール	0.7MB、650件
写真	ケータイカメラ	約1000枚
	デジタルカメラ	約35枚
動画	短時間撮影 （ビデオ（小））	約50秒
	長時間撮影 （ビデオ（大））	約20分
電話帳		1000件

主な仕様

かんたん携帯8

質量	本体：約110g
	電池パック装着時：約130g
連続通話時間	約350分（3Gモード）
	約320分（GSMモード）
連続待受時間	約570時間（3Gモード）
	約410時間（GSMモード） （クローズポジション時）
充電時間 （本機の電源を切って充電した場合）	卓上ホルダー：約180分
	ACアダプタ：約180分
サイズ	約109(H)×52(W)×19.8(D)mm （最薄部19.8mm） （クローズポジション時、突起部除く）

電池パック（ZEBAT1）

電圧	3.7V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	1100mAh
サイズ	約54.5(W)×34(H)×5.7(D)mm

ACアダプタ（ZECAW1）

質量	40g
定格電圧	DC5.0V±0.25V
定格電流	DC1000mA±100mA

microUSBケーブル（ZEDAD1）

ケーブルの長さ	1200mm
使用プラグ	Standard-A、micro-B
充電温度範囲	0-55℃

使用材料

かんたん携帯8

表面	PC+GF／塗装
サブディスプレイ	ガラス
画面・レンズ	PMMA
側面ボタン（音量、カメラ）	PC+GF／塗装、印刷
緊急ブザースイッチ	POM
メインボタン	PC+PET／塗装、レーザー印刷、UV塗装
USBプラグ	PC+GF／塗装
受話口	ステンレス鋼／電気メッキ
充電端子	銅／金メッキ

卓上ホルダー（ZEEAW1）

外装	PC+ABS+耐火プラスチック
接地部/ストッパ	ゴム
microUSBケーブル差込口	鋼+亜鉛メッキ
充電端子	銅+金メッキ

電池パック（ZEBAT1）

本体	ABS+PC
端子	銅合金／ニッケルメッキ

ACアダプタ（ZECAW1）

外装	PC
microUSBケーブル差込口	ステンレス鋼+PBT+銅合金／ニッケルメッキ
プラグ	銅合金／ニッケルメッキ

microUSBケーブル（ZEDAD1）

外装	PVC
プラグ	ステンレス鋼／ニッケルメッキ

英字・50音順

き

こ

さ

し

す

せ

そ

た

も

よ

ら

り

る

れ

わ

目的別

保証について

かんたん携帯8をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。

本機の故障、または不具合などにより、通話や通信などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

- 本機の故障、誤動作または不具合などにより、通話や通信などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合があります。なお、故障または修理の際に本機に登録されているデータや設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合および外装ケース内のネジを覆っているシールをはがされた場合は、修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。
- アフターサービスについてご不明な点は、最寄りのソフトバンクショップまたはお問い合わせ先（P.12-18）までご連絡ください。

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。
電話番号はお間違いのないようおかけください。

ソフトバンクカスタマーサポート

総合案内

ソフトバンク携帯電話から　157（無料）
一般電話から　フリーコール 0800-919-0157（無料）

紛失・故障受付

ソフトバンク携帯電話から　113（無料）
一般電話から　フリーコール 0800-919-0113（無料）

IP電話などでフリーコールが繋がらない場合は、恐れ入りますが下記の番号へおかけください。

東日本地域	022-380-4380（有料）	東海地域	052-388-2002（有料）
関西地域	06-7669-0180（有料）	中国・四国・九州・沖縄地域	092-687-0010（有料）

ソフトバンクモバイル国際コールセンター

海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失については、下記の番号へおかけください。
+81-92-687-0025（有料、ソフトバンク携帯電話からは無料）

ZTEジャパンお客様サポートホームページ

http://www.zte.co.jp/products/handsets/handsets_gallery/

かんたん携帯８ ユーザーガイド

2015年6月　第1版発行

ソフトバンクモバイル株式会社

※ご不明な点はお求めになられたソフトバンク携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：かんたん携帯８
製造元：ZTEコーポレーション

かんたん携帯８　ユーザーガイド

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS 事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる
電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。
※回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
※プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（アドレス帳・通信履歴・メール等）は事前に消去願います。